

ARCACLAVIS NEXT

V2.1
セットアップガイド

株式会社両備システムズ

改訂履歴

2024/11/30 17 版

目次

1. 本書について	8
1.1. 本書の表記	8
1.2. 用語	9
2. 概要	10
2.1. システム構成	10
2.2. 動作環境	10
3. セットアップの準備	11
3.1. 本書でセットアップする構成例	11
3.2. ご準備いただくもの	14
3.3. システム構築手順	16
4. NEXT サーバー	17
4.1. NEXT サーバーのインストーラーの種類	17
4.2. NEXT オールインワンサーバーの1台構成	18
4.2.1. インストールされるミドルウェア、設定について	18
4.2.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする	19
4.2.3. NEXT オールインワンサーバーをインストールする	20
4.3. NEXT オールイン Web サーバーと NEXT オールイン DB サーバーの2台構成	25
4.3.1. インストールされるミドルウェア、設定について	25
4.3.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする	26
4.3.3. NEXT オールイン Web サーバーをインストールする	27
4.3.4. NEXT オールイン DB サーバーをインストールする	32

4.3.5. NEXT マネージャーのクライアント設定を変更する	37
4.4. NEXT 管理サーバーと NEXT ログサーバーの 2 台構成	38
4.4.1. インストールされるミドルウェア、設定について	38
4.4.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする	39
4.4.3. NEXT 管理サーバーをインストールする	40
4.4.4. NEXT ログサーバーをインストールする	45
4.4.5. NEXT マネージャーのクライアント設定を変更する	50
4.5. NEXT サーバーをバージョンアップする.....	51
4.6. スタートメニューからデータベース移行を実行する	60
4.7. 証明書の設定をする.....	64
4.8. NEXT サーバー再設定ツール.....	69
4.8.1. NEXT サーバー再設定ツールで再設定が可能な項目	69
4.8.2. NEXT サーバー再設定ツールを使用するケース	70
4.8.3. 接続先データベースのパスワードを変更する	71
4.8.4. 接続先データベースのホスト名を変更する	72
4.8.5. データベースへの接続を許可する IP アドレスを変更する	73
4.8.6. 接続先データベースのポート番号を変更する	74
4.8.7. 接続先データベースのユーザー名を変更する	75
4.8.8. 現在の設定を確認する	76
5. NEXT クライアント	77
5.1. インストールされるミドルウェア.....	77
5.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする.....	78
5.3. NEXT クライアントをインストールする.....	79

5.4.	NEXT クライアントにサインインする.....	84
5.5.	NEXT クライアントをバージョンアップする	84
5.6.	NEXT クライアントのインストールオプション	90
5.6.1.	サイレント新規インストール	91
5.6.2.	サイレントバージョンアップインストール	93
6.	NEXT 離席モニター	94
6.1.	NEXT 離席モニターをインストールする.....	94
6.2.	NEXT 離席モニターをバージョンアップする	98
6.3.	NEXT 離席モニターのインストールオプション	102
6.3.1.	サイレント新規インストール	103
6.3.2.	サイレントバージョンアップインストール	105
7.	NEXT 自動認証クリエイター	106
7.1.	NEXT 自動認証クリエイターをインストールする	106
7.2.	NEXT 自動認証クリエイターをバージョンアップする.....	110
7.3.	NEXT 自動認証クリエイターのインストールオプション.....	114
7.3.1.	サイレント新規インストール	115
7.3.2.	サイレントバージョンアップインストール	117
8.	NEXT 自動認証プレイヤー.....	118
8.1.	NEXT 自動認証プレイヤーをインストールする	118
8.2.	NEXT 自動認証プレイヤーをバージョンアップする.....	122
8.3.	NEXT 自動認証プレイヤーのインストールオプション.....	126
8.3.1.	サイレント新規インストール	127

8.3.2. サイレントバージョンアップインストール 129

9. NEXT 自動認証スタンドアロン版130

9.1. NEXT 自動認証スタンドアロン版をインストールする 130

9.2. NEXT 自動認証スタンドアロン版をバージョンアップする 133

9.3. NEXT 自動認証スタンドアロン版のインストールオプション 137

9.3.1. サイレント新規インストール 138

9.3.2. サイレントバージョンアップインストール 139

付録140

アンインストール方法 140

NEXT サーバー 140

NEXT クライアント 143

NEXT 離席モニター 145

NEXT 自動認証クリエイター 147

NEXT 自動認証プレイヤー 148

NEXT 自動認証スタンドアロン版 149

NEXT の各種ツール 150

インストーラーのエラーメッセージ 151

NEXT サーバーインストーラー 151

NEXT クライアントインストーラー 157

NEXT 離席モニターインストーラー 161

NEXT 自動認証クリエイターインストーラー 163

NEXT 自動認証プレイヤーインストーラー 166

NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラー 168

インストール要件チェック	171
インストール要件の確認項目	171
インストール要件を満たしていない場合の詳細確認	172

1. 本書について

株式会社両備システムズ 認証セキュリティ製品「ARCACLAVIS NEXT」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ARCACLAVIS NEXT（アルカクラヴィス ネクスト、以下、NEXT）は、パスワードによる認証に IC カード認証や生体認証を組み合わせた二要素認証により、多くの情報を扱うコンピューター利用時の確実な本人認証を実現し、なりすまし、不正行為、情報漏えいを防ぐための認証強化を行うことができるセキュリティ製品です。

本書は、ARCACLAVIS NEXT のセットアップ方法について説明するガイドです。

1.1. 本書の表記

本書は、以下に示す表記、記号、四角囲い付きスタイルで記載しています。

表記例	説明
<OK>、<キャンセル>、<次へ>、<適用>	ボタン名は、“<>”で囲んで表しています。
[ファイル]-[開く]	メニューのコマンドの選択順を表しています。
「ダイアログ名」、「入力値」、「画面名」、「ファイル名」	“ ” で囲んでいる箇所は、ダイアログ名や入力値などを表しています。
チェックする、チェックしない、チェックをはずす、オンする、オフする	チェックボックスなどを選択する/選択しない、ON/OFF することを表しています。
[Ctrl]キー	キーは、“[]”で囲んで表しています。
[Ctrl]+[Alt]+[Del]キー	“+”で連結しているキー表記は、同時に複数のキーを押すことを表しています。
※	注釈を表しています。補足説明、コメントを記載しています。
サインイン/サインアウト	「サインイン/サインアウト」「ログオン/ログオフ」の操作、機能名称は「サインイン/サインアウト」を使用して記載しています。



ご利用にあたり、注意いただきたい事項について説明します。



補足的な情報について説明します。

1.2. 用語

ARCACLAVIS NEXT の用語については、「ARCACLAVIS NEXT 用語集」を参照してください。

2. 概要

2.1. システム構成

ARCACLAVIS NEXT のシステムの構成は以下のとおりです。

1. NEXT オールインワンサーバーの 1 台構成
2. NEXT オールイン Web サーバーと NEXT オールイン DB サーバーの Web と DB 分離の 2 台構成
3. NEXT 管理サーバーと NEXT ログサーバーの管理とログ分離の 2 台構成
4. NEXT オールインワンサーバーと NEXT クライアントを一体化した 1 台構成

Info 「4. NEXT オールインワンサーバーと NEXT クライアントを一体化した 1 台構成」については、「ARCACLAVIS NEXT 無料版ガイド」を参照してください。

システム構成の詳細な説明は、「3.1. 本書でセットアップする構成例」を参照してください。

ARCACLAVIS NEXT で使用するコンポーネントと役割は、「ARCACLAVIS NEXT 用語集」を参照してください。

2.2. 動作環境

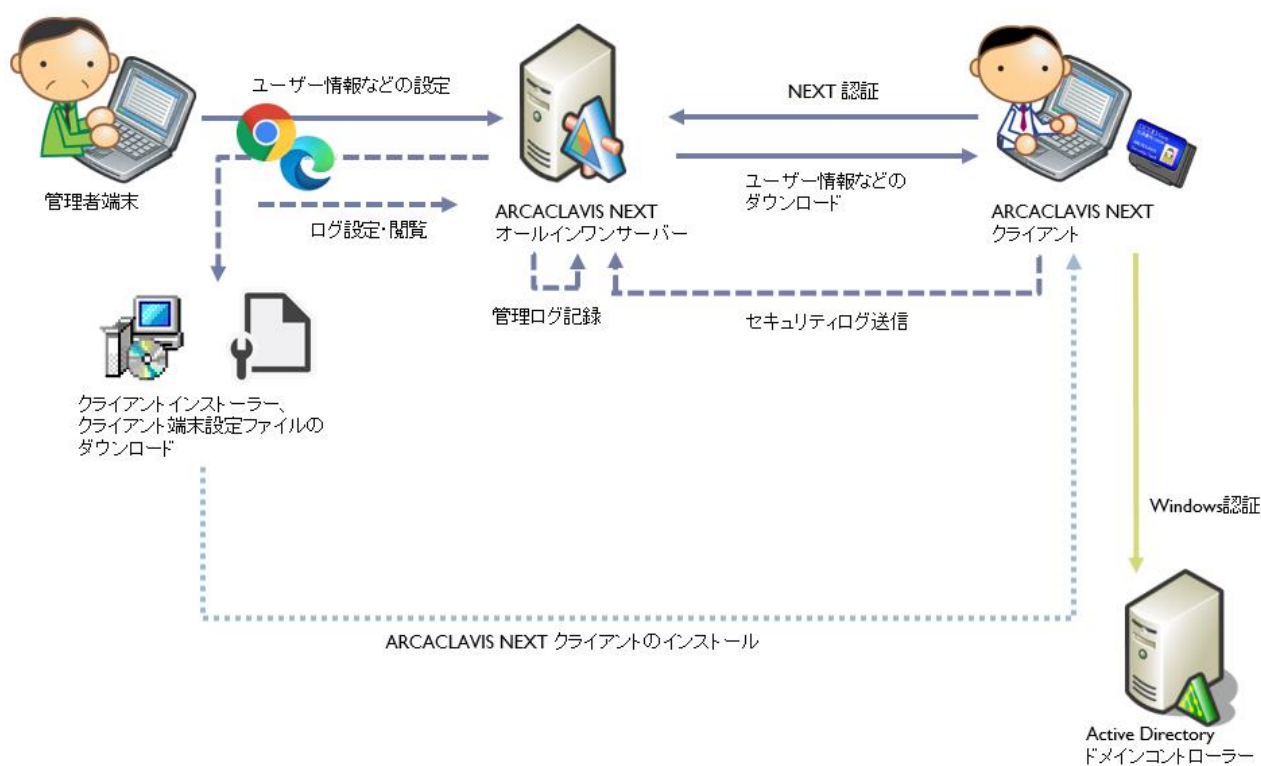
動作環境については、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。

3. セットアップの準備

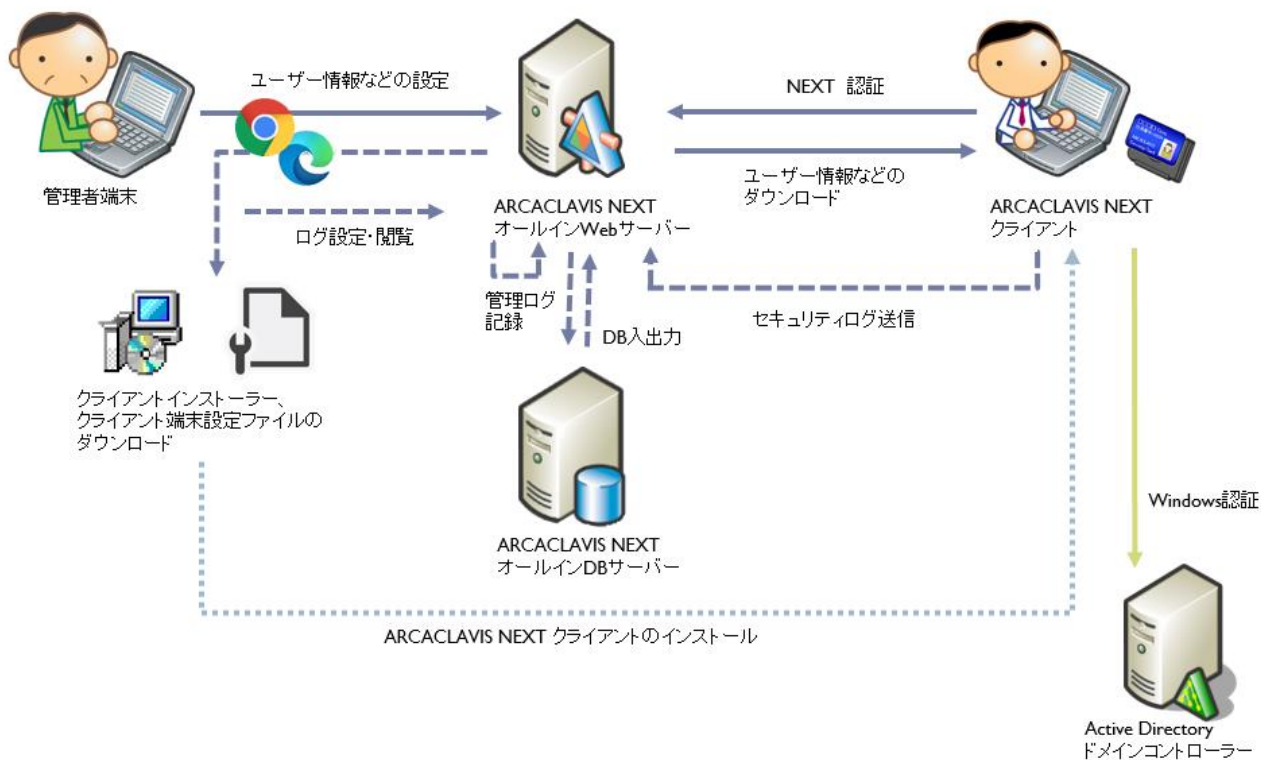
3.1. 本書でセットアップする構成例

ARCACLAVIS NEXT のシステムの構成例を構成パターン毎に説明します。

1. NEXT オールインワンサーバーの1台構成
Webサーバーとデータベースをサーバー1台で構築します。
当構成がNEXTサーバーの最小構成となります。



2. NEXT オールイン Web サーバーと NEXT オールイン DB サーバーの Web と DB 分離の 2 台構成 Web サーバーとデータベースを分離した 2 台で構成します。
 NEXT オールイン Web サーバーには Web サーバー、NEXT オールイン DB サーバーにはデータベースがインストールされます。

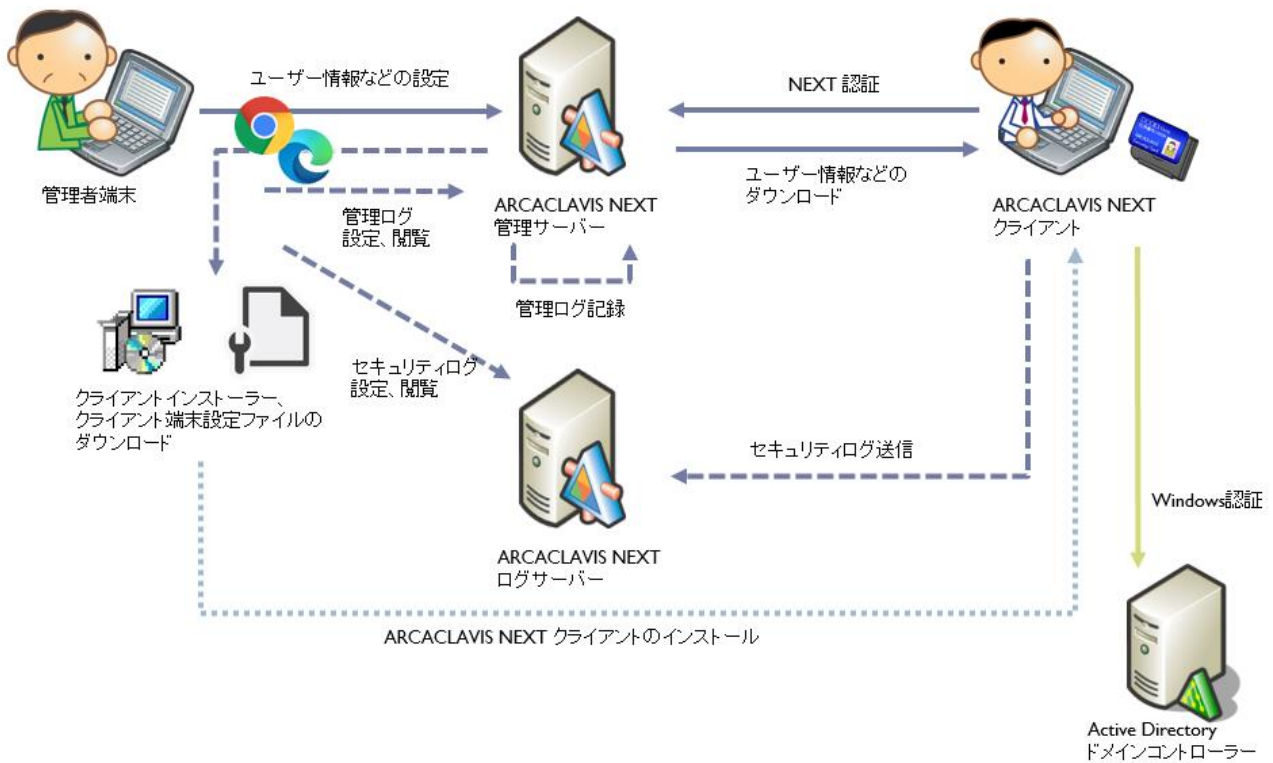


3. NEXT 管理サーバーとNEXT ログサーバーの管理とログ分離の2台構成

管理サーバーとログサーバーを分離した2台で構成します。

管理サーバーでは認証に関する情報を設定し、ログサーバーにはセキュリティログが保存されます。セキュリティログの閲覧はログサーバーのサイトにて行います。

NEXT 管理サーバー、NEXT ログサーバーともに Web サーバーとデータベースがインストールされます。



3.2. ご準備いただくもの

本書の構成例に沿ったシステムを構築するには、以下のものをご準備してください。

◆ ハードウェア

項目	説明
NEXT サーバー用コンピューター	構成によっては2台以上必要になります。 必要スペックは、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。
NEXT クライアント用コンピューター	必要スペックは、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。
ICカードリーダーライター	NEXT クライアント用コンピューターで、ICカード認証を利用する場合に必要です。 詳細は、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。
ICカード	NEXT クライアント用コンピューターで、ICカード認証を利用する場合に必要です。 詳細は、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。
カメラ	NEXT クライアント用コンピューターで、顔認証を利用する場合に必要です。 詳細は、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。

◆ 製品メディアまたはソフトウェア

項目	説明
ARCACLAVIS NEXT 製品メディアまたはISOファイル	各種インストーラー、マニュアルPDFファイル、ICカードリーダーライターのドライバなどが含まれています。

◆ NEXT サーバーインストールで必要となる設定値、アカウント

項目	説明
データベースパスワード	データベースの postgres ユーザー（スーパーユーザー）に設定するパスワードです。 初期値は「password」。
データベースの配置先	データベースの配置先をフルパスで指定します。 初期値は「C:\ProgramData\ARCACLAVIS NEXT\data」
各 NEXT サーバーの IP アドレス	各 NEXT サーバーの IP アドレス（IPv4）です。 Web と DB 分離構成の場合、相互に IP アドレスの入力が必要です。 1 台構成、及び管理とログ分離の 2 台構成では入力は不要です。 例：IP アドレスで入力：192.168.1.100
NEXT オールイン DB サーバーのホスト名	NEXT オールイン Web サーバーのインストール時に必要な NEXT オールイン DB サーバーのホスト名です。 1 台構成、NEXT オールイン DB サーバー、及び管理とログ分離の 2 台構成では入力は不要です。 例：ホスト名で入力：NEXTDBServer.example.co.jp

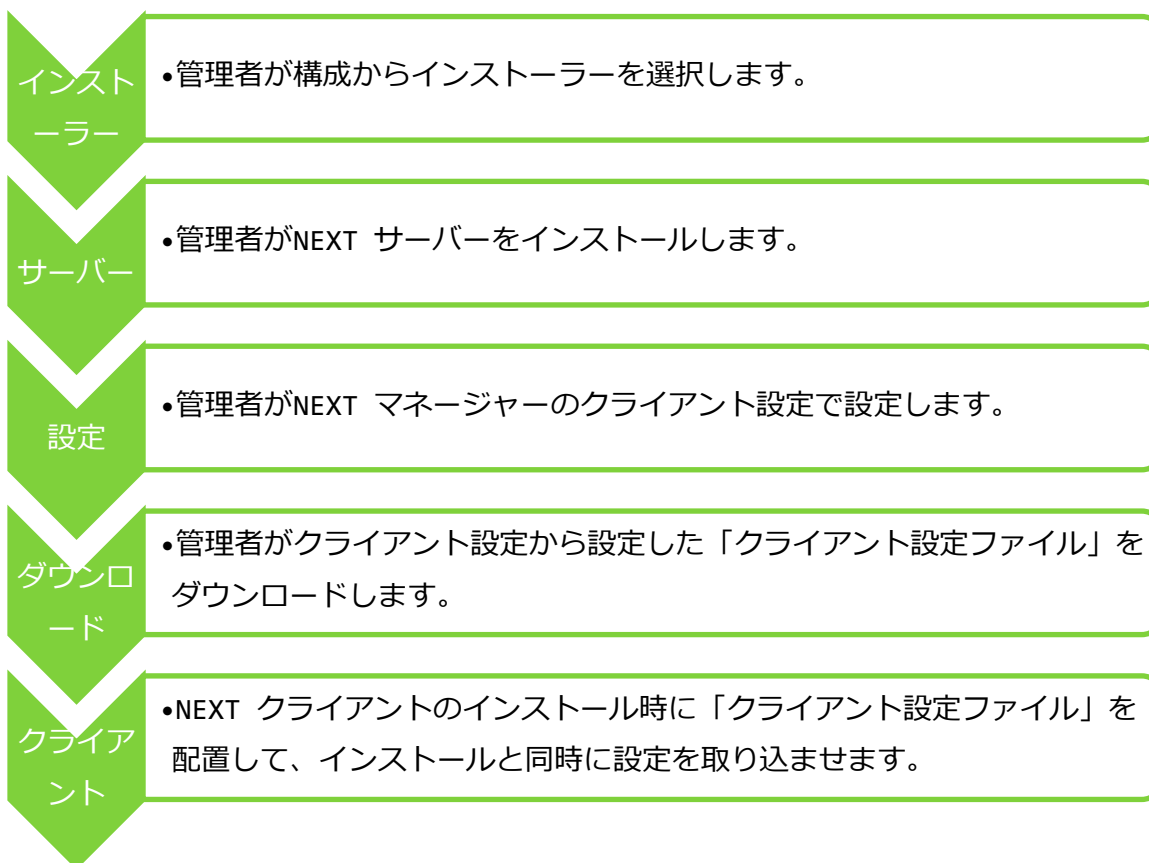
Info 「NEXT オールイン DB サーバーのホスト名」を入力する場合、名前解決ができる必要があります。名前解決できない場合、通信が行なえず失敗する場合がありますので、ご注意ください。

◆ NEXT クライアントインストールで必要となるファイル

項目	説明
NEXT クライアント端末設定ファイル	NEXT クライアント端末設定ファイルです。 ファイル名：client.json NEXT マネージャーでクライアント設定からダウンロードします。 詳細は、「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」を参照してください。

3.3. システム構築手順

ARCACLAVIS NEXT のシステム構築は、以下の手順で行ってください。



Info NEXT 離席モニター機能を使用する場合は、NEXT クライアントがインストールされているコンピューターに NEXT 離席モニターをインストールしてください。

Info NEXT 自動認証クリエイター機能を使用する場合は、NEXT クライアントがインストールされているコンピューターに NEXT 自動認証クリエイターをインストールしてください。

Info NEXT 自動認証プレイヤー機能を使用する場合は、NEXT クライアントがインストールされているコンピューターに NEXT 自動認証プレイヤーインストールしてください。

4. NEXT サーバー

4.1. NEXT サーバーのインストーラーの種類

下記表を参照してインストールする構成を選択して、使用するインストーラーを決定してください。

構成	使用するインストーラー
NEXT オールインワンサーバーの 1 台構成	NEXT サーバーインストーラー タイプ A
NEXT オールイン Web サーバーと NEXT オールイン DB サーバーの Web と DB 分離の 2 台構成	NEXT サーバーインストーラー タイプ A
NEXT 管理サーバーと NEXT ログサーバーの 管理とログ分離の 2 台構成	NEXT サーバーインストーラー タイプ B

4.2. NEXT オールインワンサーバーの 1 台構成

本章では、1 台に NEXT サーバーの機能をすべてインストールする「NEXT オールインワンサーバー」の構成でセットアップする手順について説明します。

4.2.1. インストールされるミドルウェア、設定について

- NEXT オールインワンサーバーをインストールすると以下のミドルウェアが同時にインストールされます。

インストールされるミドルウェア
Microsoft .NET 8.0.3 - Windows Server Hosting
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x64)
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x86)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x64)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x86)
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810
Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86) - 14.25.28508
Microsoft Internet Information Server (以下、IIS)
PostgreSQL 13

- NEXT オールインワンサーバーをインストールすると以下の設定が行われます。

インストール時に設定されるもの
IIS 用 SSL サーバー証明書
IIS 管理コンソールの有効化
IIS NEXT サーバーの Web サイトの作成
ログ管理用タスクスケジューラの作成

Info IIS の設定により、900MB 以下のコンテンツファイルをアップロードできます。



900MB より大きいサイズのコンテンツファイルはアップロードできません。

4.2.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする

NEXT マネージャーで、ユーザーの顔画像ファイルから顔情報を登録できるようにするため、NEXT オールインワンサーバー用コンピューターに、顔認証用のランタイム「RS OLFACE」をインストールします。RS OLFACE のインストール手順は、「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。

4.2.3. NEXT オールインワンサーバーをインストールする



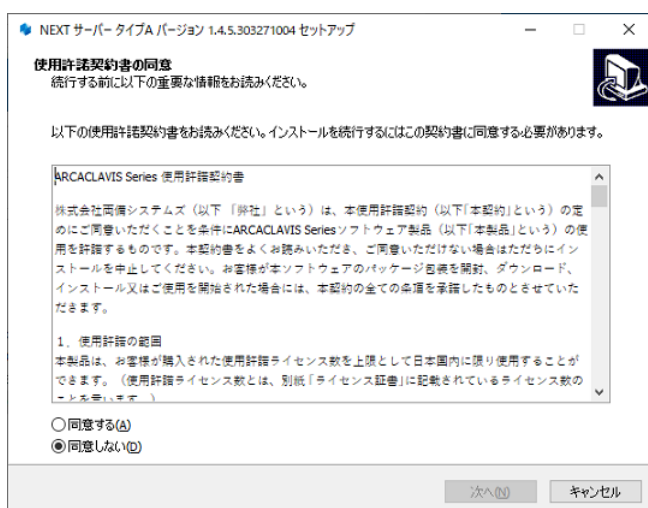
Windows Server 2016 の環境に v2.0 より前の NEXT サーバーをインストールする場合は、必ず「.NET Framework」を v4.7 以降にバージョンアップしてから行ってください。
v2.0 以降の NEXT サーバーをインストールする場合は、「.NET Framework」のバージョンアップは不要となります。

NEXT オールインワンサーバーのインストールは、以下の手順で行います。

1. NEXT オールインワンサーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT サーバーインストーラー タイプ A「SetupNEXTServerTypeA<バージョン>.exe」を NEXT オールインワンサーバー用コンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTServerTypeA<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

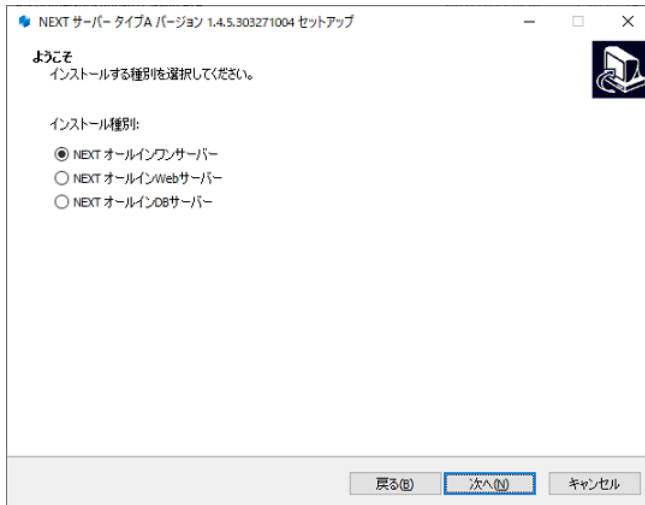


5. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

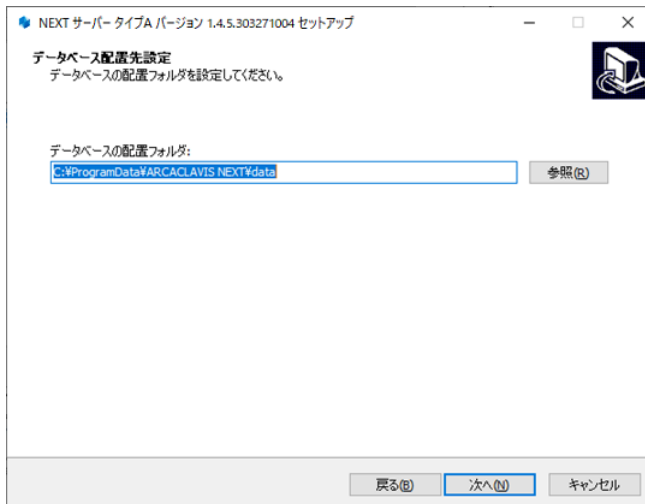


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

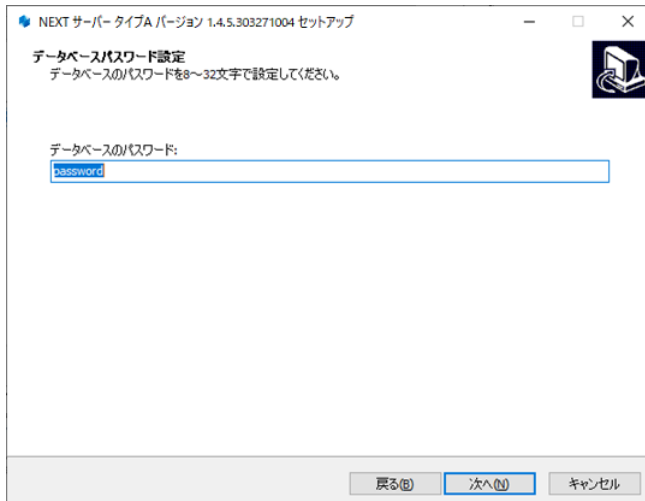
6. 下図が表示されます。「NEXT オールインワンサーバー」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。



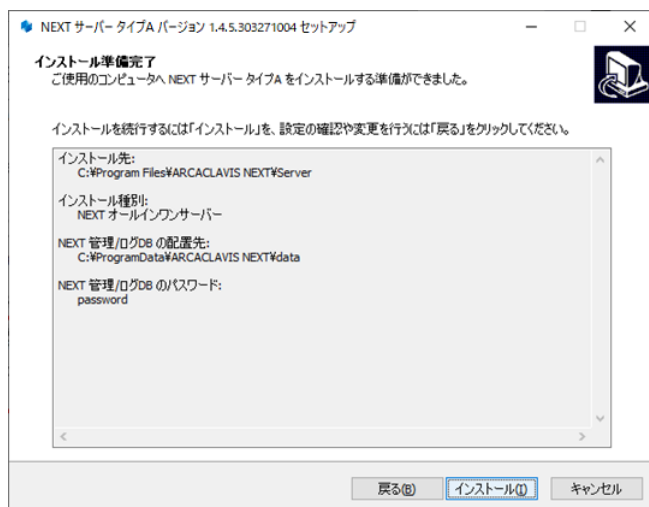
7. 下図が表示されます。データベースの配置先を指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



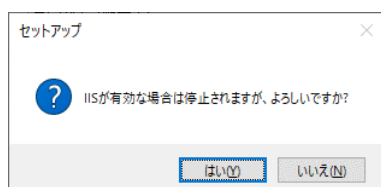
8. 下図が表示されます。データベースのパスワードを指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



9. 下図が表示されます。設定内容を確認し、問題なければ<インストール>ボタンをクリックしてください。

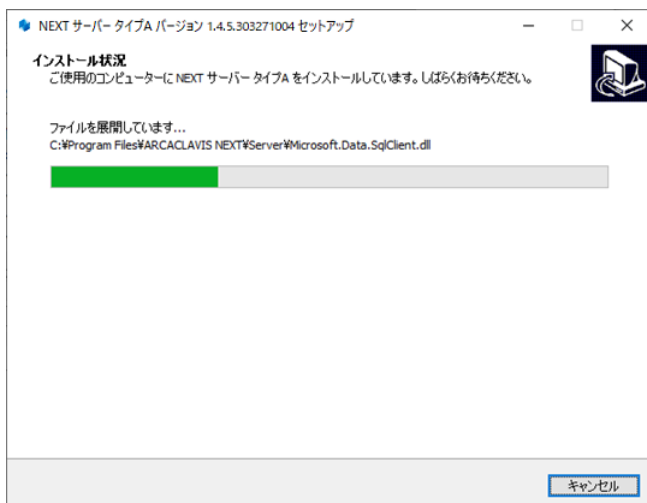


10. 下図が表示されます。インストール中に IIS (インターネットインフォメーションサーバー) の設定を行うため、IIS の動作を確認する画面です。<はい>ボタンをクリックしてください。



製品のインストールには、IIS の停止が必要になります。
業務時間でのシステム停止を避けたい場合は、<いいえ>ボタンを押してください。

11. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。

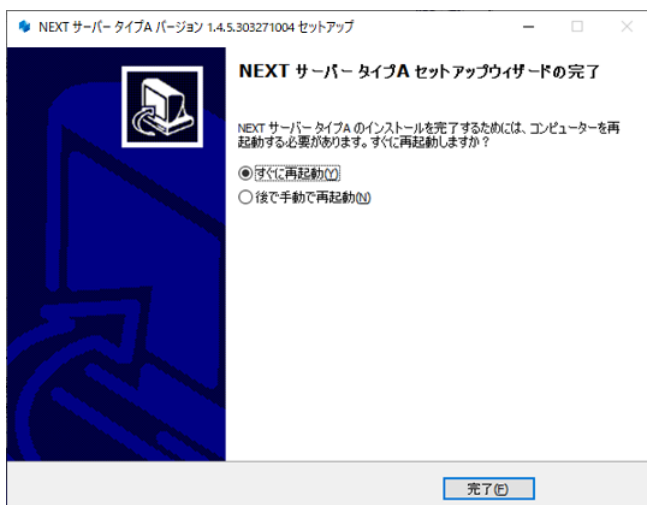


Info PostgreSQL のインストールに少し時間が必要になります。インストールが開始されるまでしばらくお待ちください。

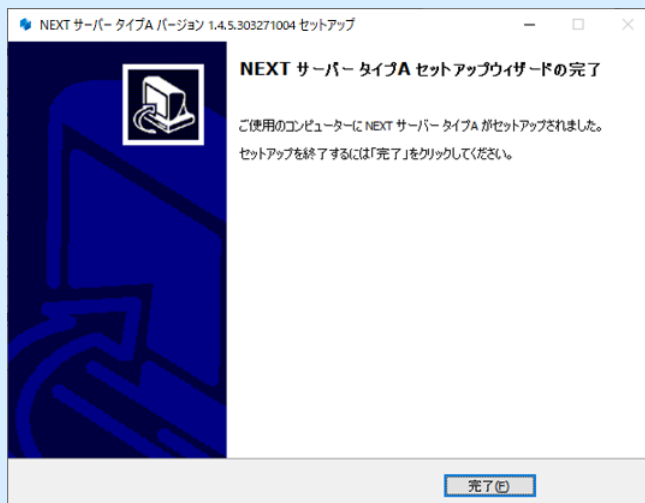
Info NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」より古いバージョンがインストールされている場合は、「.NET Core Hosting Bundle」は自動でアップデートされます。

NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」と同じバージョン、または新しいバージョンがインストールされている場合であっても、「.NET Core Hosting Bundle」が正常にインストールされていない場合は、IIS NEXT サーバーの Web サイトにアクセスできない状態になります。
インストール済みの「.NET Core Hosting Bundle」をアンインストールしてコンピューターを再起動した後、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。

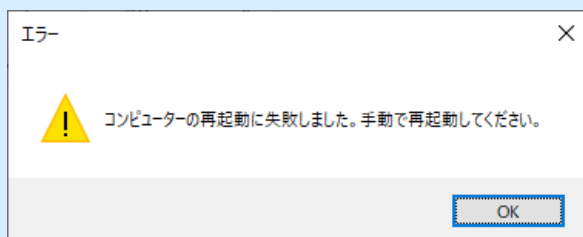
12. 下図が表示されます。初回インストールの完了には再起動が必要です。＜すぐに再起動＞を選択し、＜完了＞ボタンをクリックして再起動してください。



Info 初回以外の上書きインストールでは、以下の画面が表示されます。以下の画面が表示された場合は再起動は必要ありません。＜完了＞ボタンをクリックしてください。



Info ＜すぐに再起動＞を選択し、＜完了＞ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



4.3. NEXT オールイン Web サーバーと NEXT オールイン DB サーバーの 2 台構成

本章では、NEXT オールイン Web サーバーと NEXT オールイン DB サーバーの Web と DB 分離の 2 台構成でセットアップする手順について説明します。

4.3.1. インストールされるミドルウェア、設定について

- NEXT オールイン Web サーバーをインストールすると以下のミドルウェアが同時にインストールされます。

インストールされるミドルウェア
Microsoft .NET 8.0.3 - Windows Server Hosting
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x64)
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x86)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 – Shared Framework (x64)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 – Shared Framework (x86)
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810
Microsoft Internet Information Server (以下、IIS)

- NEXT オールイン Web サーバーをインストールすると以下の設定が行われます。

インストール時に設定されるもの
IIS 用 SSL サーバー証明書
IIS 管理コンソールの有効化
IIS NEXT サーバーの Web サイトの作成
ログ管理用タスクスケジューラの作成

Info IIS の設定により、900MB 以下のコンテンツファイルをアップロードできます。



900MB より大きいサイズのコンテンツファイルはアップロードできません。

- NEXT オールインDBサーバーをインストールすると以下のミドルウェアが同時にインストールされます。

インストールされるミドルウェア
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810
Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86) - 14.25.28508
PostgreSQL 13

- NEXT オールイン DB サーバーをインストールすると以下の設定が行われます。

インストール時に設定されるもの
Microsoft ファイアウォールの設定

Info Microsoft ファイアウォールの設定は、以下のとおりです。

- 設定名：NEXTServer
- 規則：受信の規則
- 種類：ポート
- ポート番号：TCP 5432
- 操作：接続を許可する
- ※ IP アドレスの指定なし

4.3.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする

NEXT マネージャーで、ユーザーの顔画像ファイルから顔情報を登録できるようにするため NEXT オールイン Web サーバー用コンピューターに、顔認証用のランタイム「RS OLFACE」をインストールします。RS OLFACE のインストール手順は、「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。

4.3.3. NEXT オールイン Web サーバーをインストールする



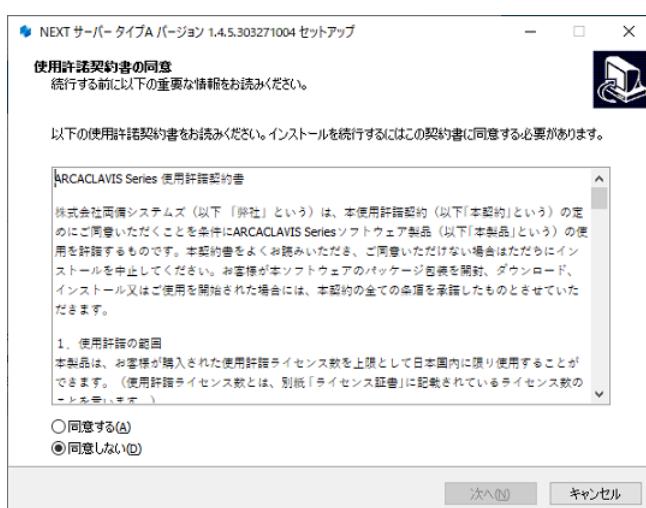
Windows Server 2016 の環境に v2.0 より前の NEXT サーバーをインストールする場合は、必ず「.NET Framework」を v4.7 以降にバージョンアップしてから行ってください。
v2.0 以降の NEXT サーバーをインストールする場合は、「.NET Framework」のバージョンアップは不要となります。

NEXT オールイン Web サーバーのインストールは、以下の手順で行います。

1. NEXT オールイン Web サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT サーバーインストーラー タイプ A「SetupNEXTServerTypeA<バージョン>.exe」を NEXT オールイン Web サーバー用コンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTServerTypeA<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

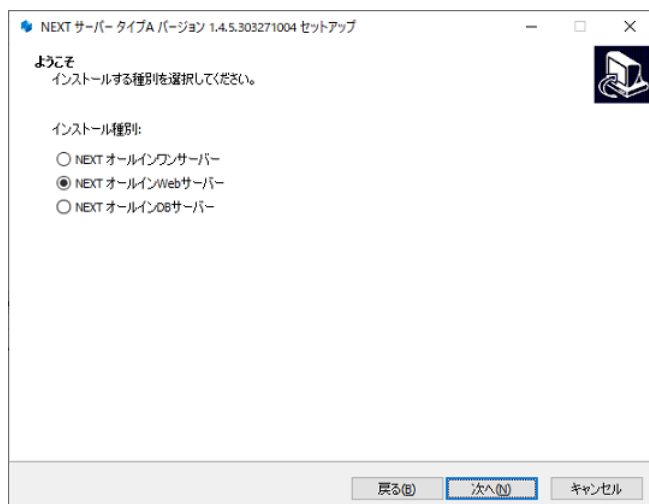


5. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

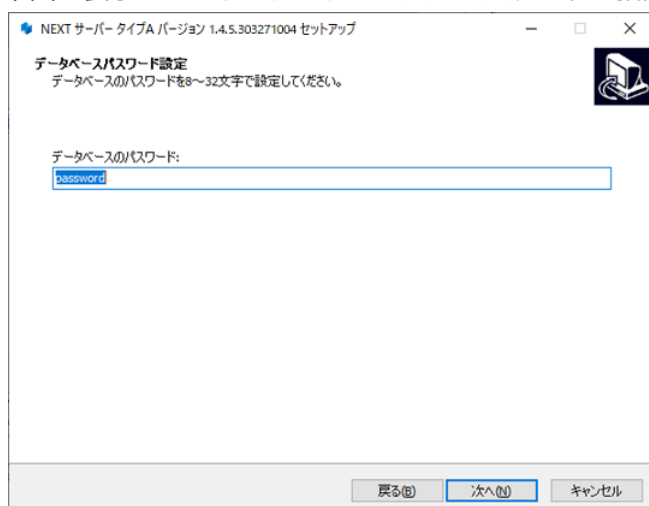


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

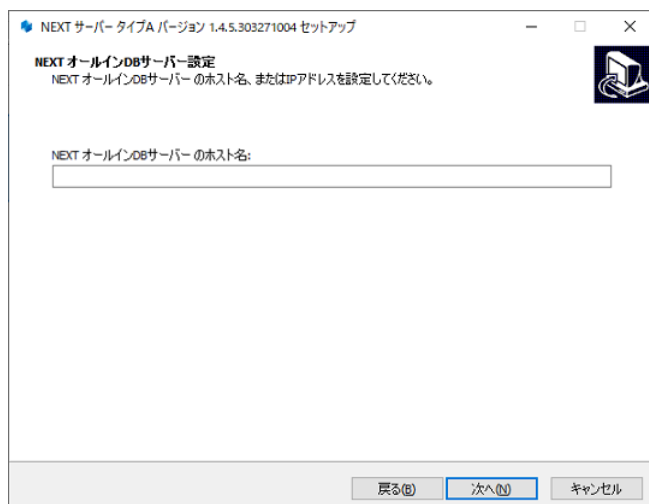
6. 下図が表示されます。「NEXT オールイン Web サーバー」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。



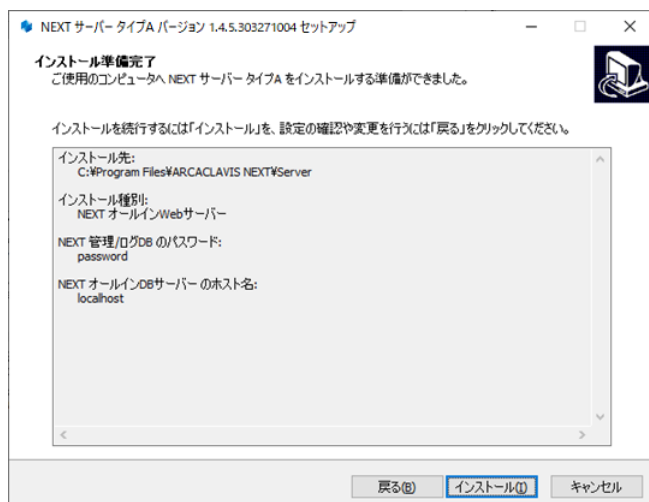
7. 下図が表示されます。データベースのパスワードを指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



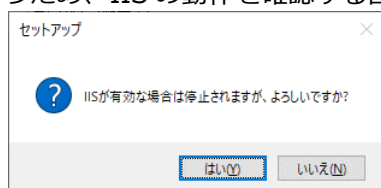
8. 下図が表示されます。NEXT オールイン DB サーバーのホスト名、または IP アドレスを指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



9. 下図が表示されます。設定内容を確認し、問題なければ<インストール>ボタンをクリックしてください。



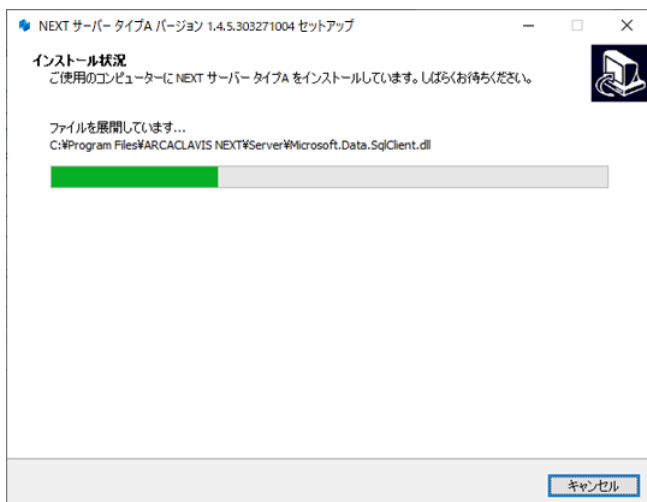
10. 下図が表示されます。インストール中に IIS（インターネットインフォメーションサーバー）の設定を行うため、IIS の動作を確認する画面です。<はい>ボタンをクリックしてください。



製品のインストールには、IIS の停止が必要になります。

業務時間でのシステム停止を避けたい場合は、<いいえ>ボタンを押してください。

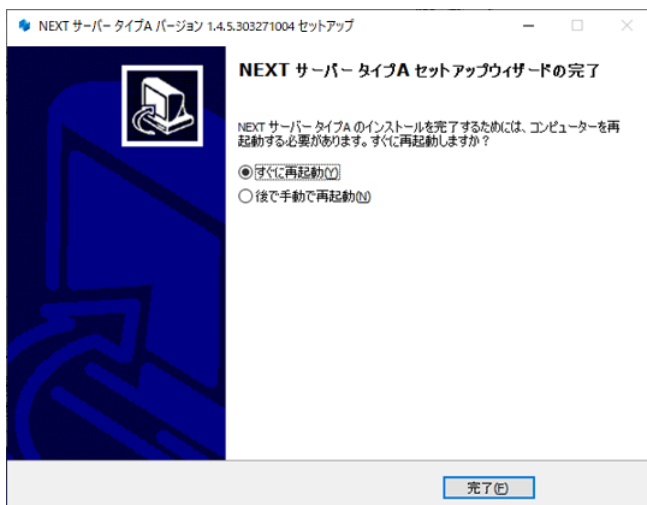
11. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。



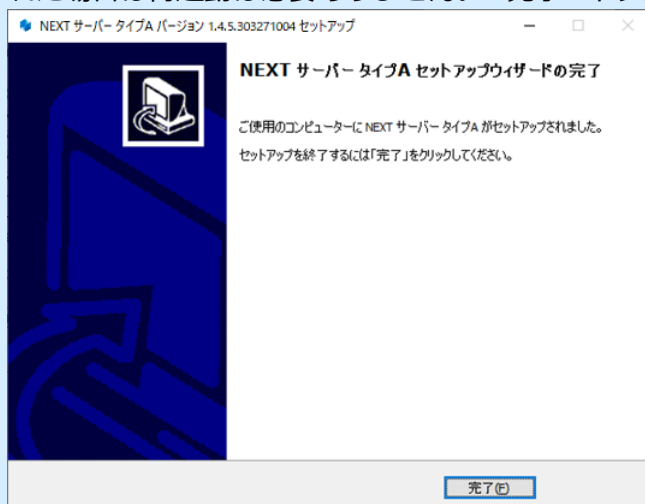
Info NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」より古いバージョンがインストールされている場合は、「.NET Core Hosting Bundle」は自動でアップデートされます。

NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」と同じバージョン、または新しいバージョンがインストールされている場合であっても、「.NET Core Hosting Bundle」が正常にインストールされていない場合は、IIS NEXT サーバーの Web サイトにアクセスできない状態になります。
インストール済みの「.NET Core Hosting Bundle」をアンインストールしてコンピューターを再起動した後、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。

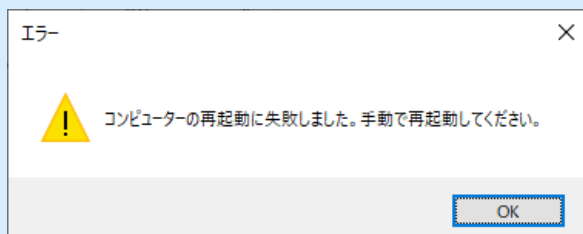
12. 下図が表示されます。初回インストールの完了には再起動が必要です。<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックして再起動してください。



Info 初回以外の上書きインストールでは、以下の画面が表示されます。以下の画面が表示された場合は再起動は必要ありません。<完了>ボタンをクリックしてください。



Info <すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



4.3.4. NEXT オールイン DB サーバーをインストールする



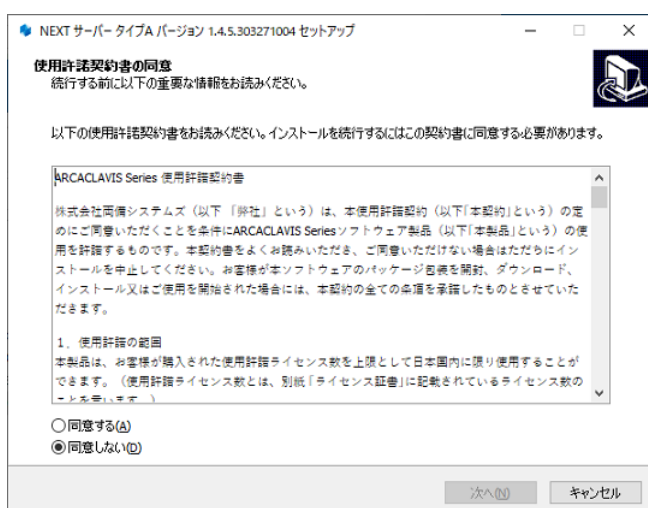
Windows Server 2016 の環境に v2.0 より前の NEXT サーバーをインストールする場合は、必ず「.NET Framework」を v4.7 以降にバージョンアップしてから行ってください。
v2.0 以降の NEXT サーバーをインストールする場合は、「.NET Framework」のバージョンアップは不要となります。

NEXT オールイン DB サーバーのインストールは、以下の手順で行います。

1. NEXT オールイン DB サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT サーバーインストーラー タイプ A「SetupNEXTServerTypeA<バージョン>.exe」を NEXT オールイン DB サーバー用コンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTServerTypeA<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

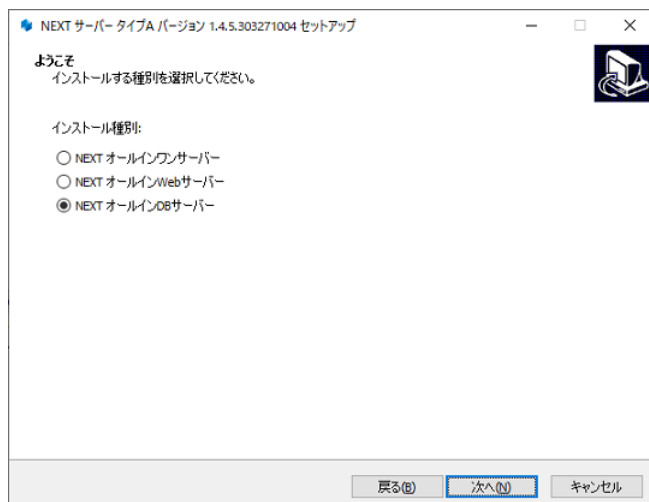


5. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

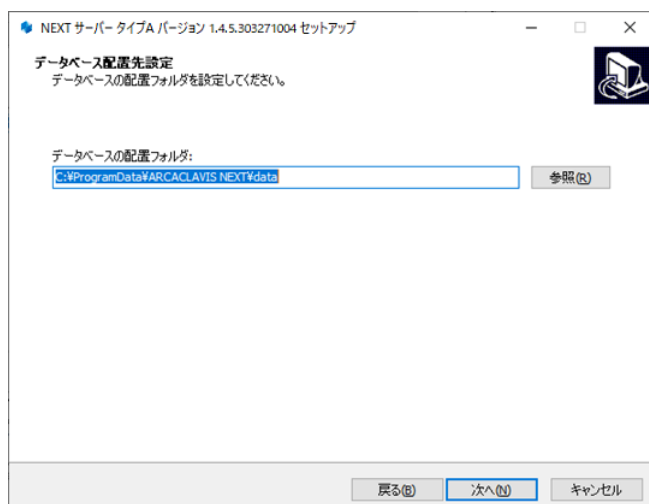


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

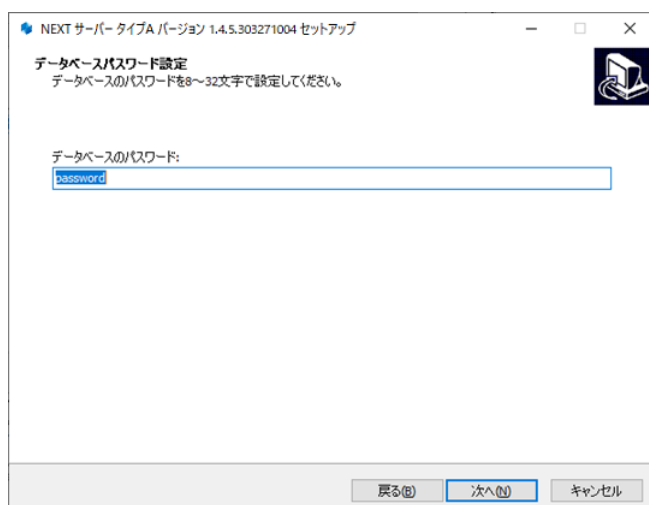
6. 下図が表示されます。「NEXT オールイン DB サーバー」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。



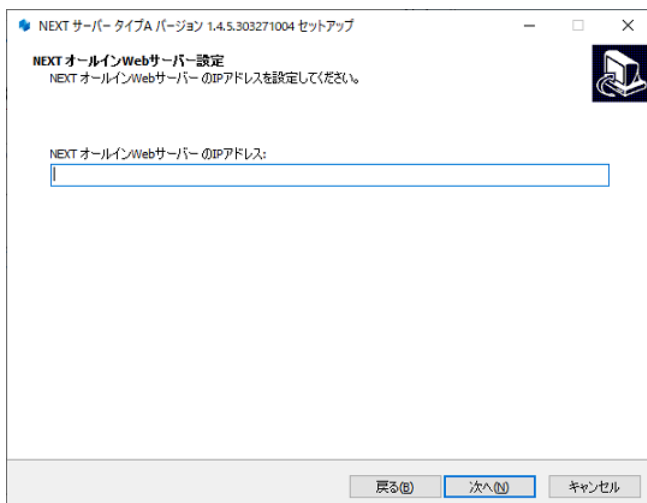
7. 下図が表示されます。データベースの配置先を指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



8. 下図が表示されます。データベースのパスワードを指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。

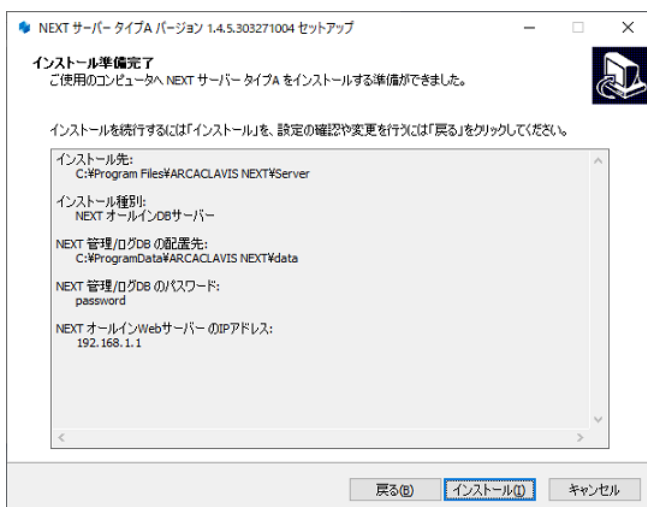


9. 下図が表示されます。NEXT オールイン Web サーバーの IP アドレスを指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。

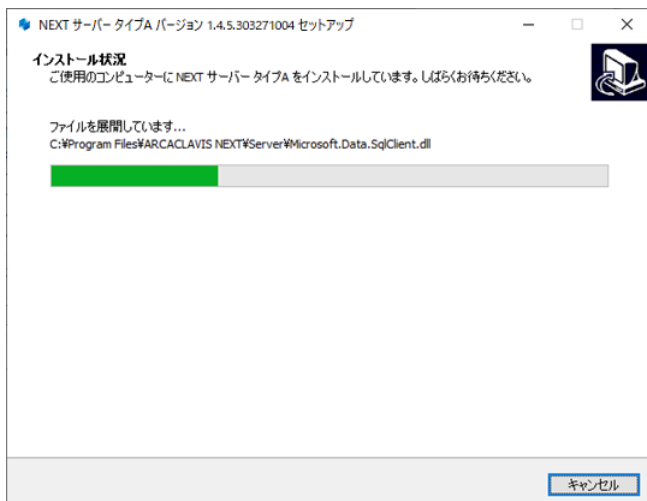


Info NEXT オールイン Web サーバーの IP アドレスは、IPv4 形式で入力してください。

10. 下図が表示されます。設定内容を確認し、問題なければ<インストール>ボタンをクリックしてください。

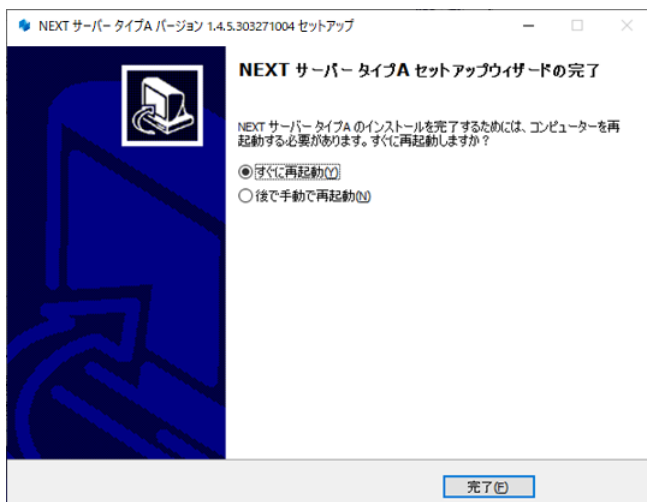


11. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。

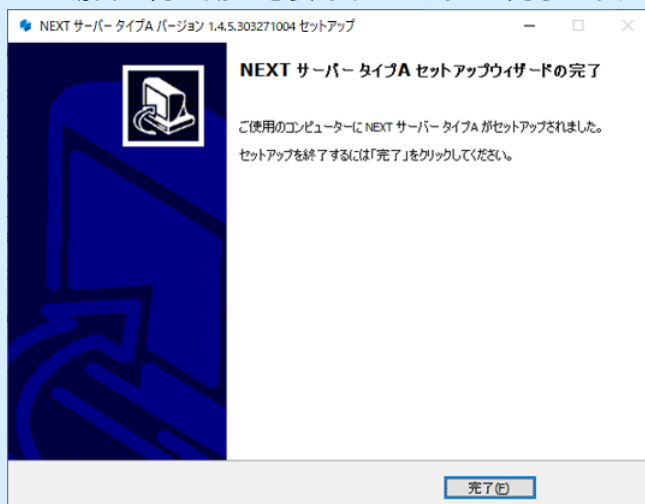


Info PostgreSQL のインストールに少し時間が必要になります。インストールが開始されるまでしばらくお待ちください。

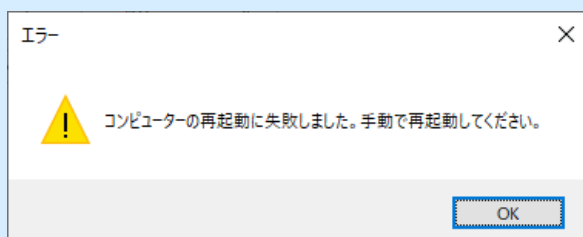
12. 下図が表示されます。初回インストールの完了には再起動が必要です。<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックして再起動してください。



Info 初回以外の上書きインストールでは、以下の画面が表示されます。以下の画面が表示された場合は再起動は必要ありません。<完了>ボタンをクリックしてください。



Info <すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



4.3.5. NEXT マネージャーのクライアント設定を変更する

「NEXT Web サーバーURL」と「NEXT ログサーバーURL」の初期値がNEXT オールイン Web サーバーのIPアドレスではないため、変更します。

Info インストール後の初期値はNEXT オールイン DB サーバーのホスト名またはIPアドレスが設定されます。

クライアント設定の変更は、以下手順で行います。

1. NEXT マネージャーの URL を Web ブラウザで開きます。

Info NEXT マネージャーの URL
<https://<NEXT オールイン Web サーバーのホスト名またはIPアドレス>/>

2. NEXT マネージャーにサインインします。
3. メニューのクライアント設定をクリックしてください。
4. 「NEXT Web サーバーURL」と「NEXT ログサーバーURL」の値をNEXT オールイン Web サーバーのホスト名、またはIPアドレスに変更してください。

基本設定

クライアント設定名 * default

NEXT WebサーバーURL * https://192.168.2.145

NEXTログサーバーURL * https://192.168.2.145

プロキシサーバーURL

オンライン認証タイムアウト値 * 10

オフラインネットワークアドレス利用方式 * 利用しない

オフラインネットワークアドレス

NEXTパスワード入力をする *

WindowsユーザーIDを自動入力する *

Windowsに自動サインインする *

5. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

Info NEXT マネージャーの詳細については、「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」を参照してください。

4.4. NEXT 管理サーバーと NEXT ログサーバーの 2 台構成

本章では、NEXT 管理サーバーと NEXT ログサーバーの管理とログ分離の 2 台構成でセットアップする手順について説明します。

4.4.1. インストールされるミドルウェア、設定について

- NEXT 管理サーバーをインストールすると以下のミドルウェアが同時にインストールされます。

インストールされるミドルウェア
Microsoft .NET 8.0.3 - Windows Server Hosting
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x64)
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x86)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x64)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x86)
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810
Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86) - 14.25.28508
Microsoft Internet Information Server (以下、IIS)
PostgreSQL 13

- NEXT 管理サーバーをインストールすると以下の設定が行われます。

インストール時に設定されるもの
IIS 用 SSL サーバー証明書
IIS 管理コンソールの有効化
IIS NEXT サーバーの Web サイトの作成
ログ管理用タスクスケジューラの作成

Info IIS の設定により、900MB 以下のコンテンツファイルをアップロードできます。




900MB より大きいサイズのコンテンツファイルはアップロードできません。

- NEXT ログサーバーをインストールすると以下のミドルウェアが同時にインストールされます。

インストールされるミドルウェア
Microsoft .NET 8.0.3 - Windows Server Hosting
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x64)
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x86)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x64)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x86)
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810
Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86) - 14.25.28508
Microsoft Internet Information Server (以下、IIS)
PostgreSQL 13

- NEXT ログサーバーをインストールすると以下の設定が行われます。

インストール時に設定されるもの
IIS 用 SSL サーバー証明書
IIS 管理コンソールの有効化
IIS NEXT サーバーの Web サイトの作成
ログ管理用タスクスケジューラの作成

 IIS の設定により、900MB 以下のコンテンツファイルをアップロードできます。



900MB より大きいサイズのコンテンツファイルはアップロードできません。

4.4.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする

NEXT マネージャーで、ユーザーの顔画像ファイルから顔情報を登録できるようにするため NEXT 管理サーバー用コンピューターに、顔認証用のランタイム「RS OLFACE」をインストールします。

RS OLFACE のインストール手順は、「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。

4.4.3. NEXT 管理サーバーをインストールする



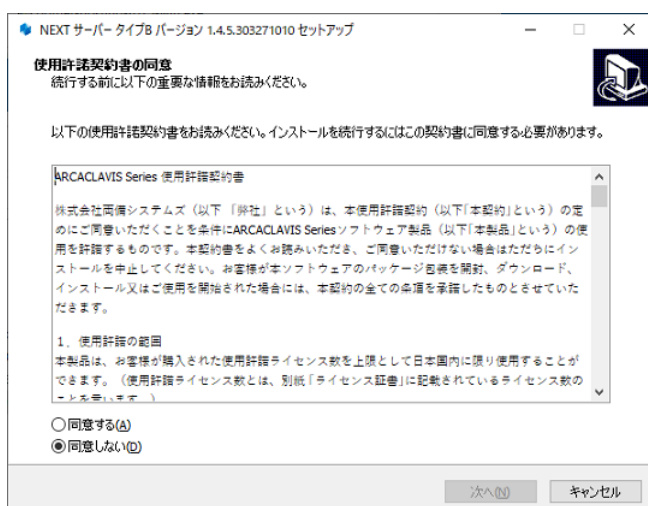
Windows Server 2016 の環境に v2.0 より前の NEXT サーバーをインストールする場合は、必ず「.NET Framework」を v4.7 以降にバージョンアップしてから行ってください。
v2.0 以降の NEXT サーバーをインストールする場合は、「.NET Framework」のバージョンアップは不要となります。

NEXT 管理サーバーのインストールは、以下の手順で行います。

1. NEXT 管理サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT サーバーインストーラー タイプ B「SetupNEXTServerTypeB<バージョン>.exe」を NEXT 管理サーバー用コンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTServerTypeB<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

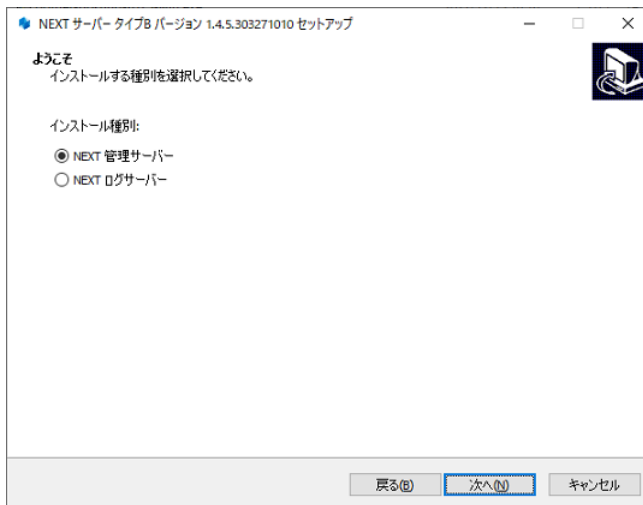


5. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

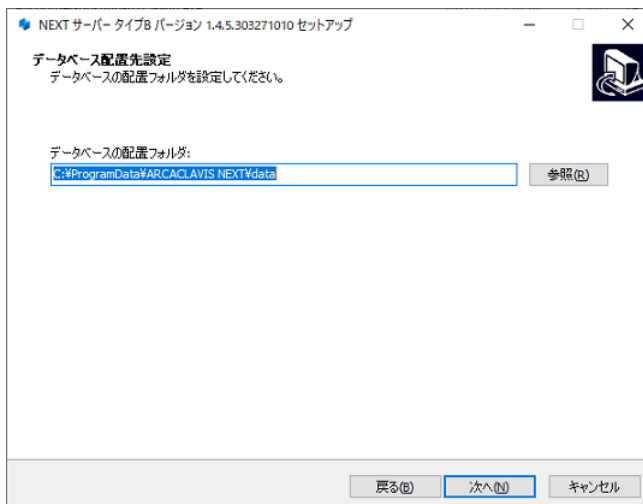


使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

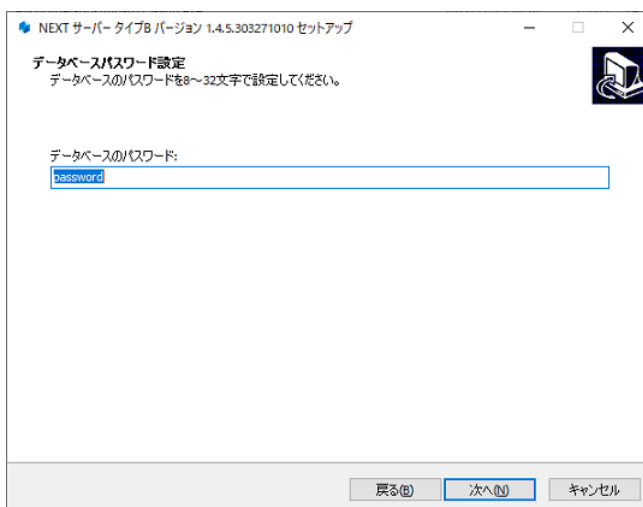
6. 下図が表示されます。「NEXT 管理サーバー」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。



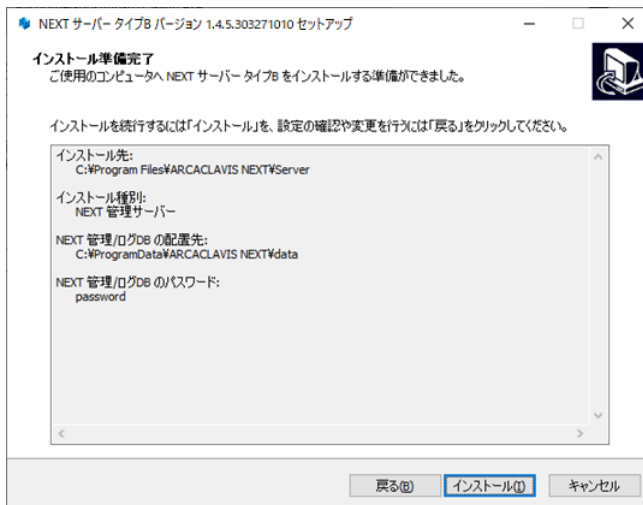
7. 下図が表示されます。データベースの配置先を指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



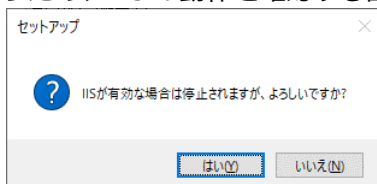
8. 下図が表示されます。データベースのパスワードを指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



9. 下図が表示されます。設定内容を確認し、問題なければ<インストール>ボタンをクリックしてください。



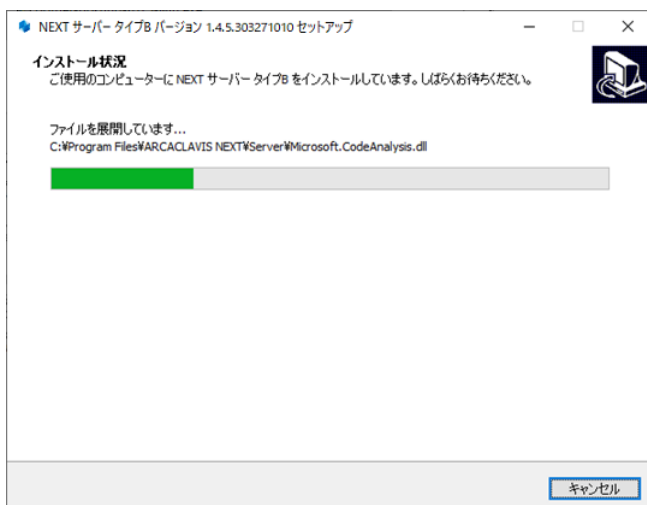
10. 下図が表示されます。インストール中に IIS (インターネットインフォメーションサーバー) の設定を行うため、IIS の動作を確認する画面です。<はい>ボタンをクリックしてください。



製品のインストールには、IIS の停止が必要になります。

業務時間でのシステム停止を避けたい場合は、<いいえ>ボタンを押してください。

11. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。



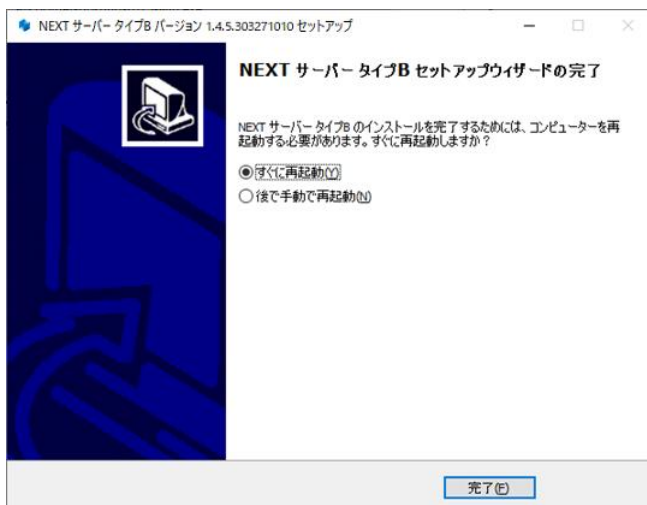
Info PostgreSQL のインストールに少し時間が必要になります。インストールが開始されるまでしばらくお待ちください。

Info NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」より古いバージョンがインストールされている場合は、「.NET Core Hosting Bundle」は自動でアップデートされます。

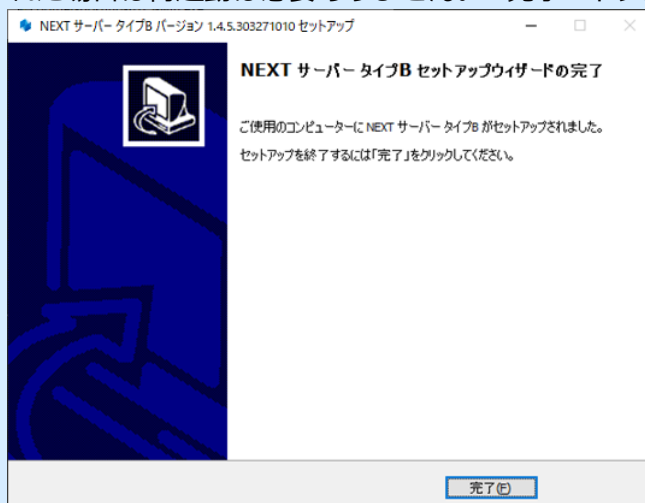
NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」と同じバージョン、または新しいバージョンがインストールされている場合であっても、「.NET Core Hosting Bundle」が正常にインストールされていない場合は、IIS NEXT サーバーの Web サイトにアクセスできない状態になります。

インストール済みの「.NET Core Hosting Bundle」をアンインストールしてコンピューターを再起動した後、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。

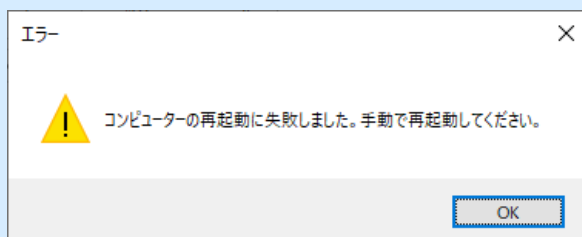
12. 下図が表示されます。初回インストールの完了には再起動が必要です。＜すぐに再起動＞を選択し、＜完了＞ボタンをクリックして再起動してください。



Info 初回以外の上書きインストールでは、以下の画面が表示されます。以下の画面が表示された場合は再起動は必要ありません。＜完了＞ボタンをクリックしてください。



Info ＜すぐに再起動＞を選択し、＜完了＞ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



4.4.4. NEXT ログサーバーをインストールする



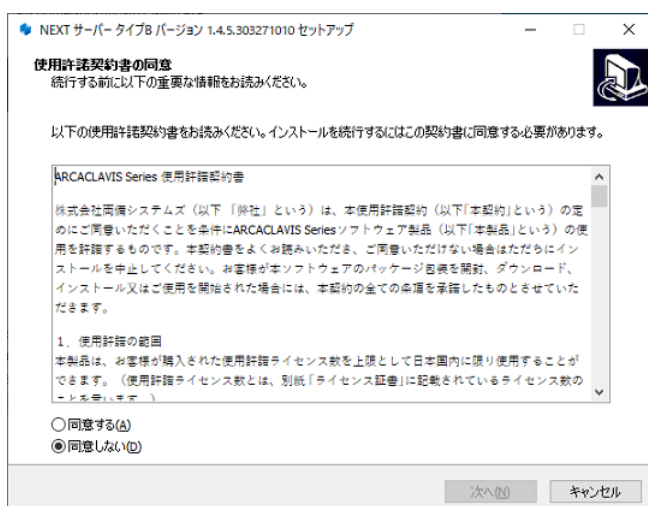
Windows Server 2016 の環境に v2.0 より前の NEXT サーバーをインストールする場合は、必ず「.NET Framework」を v4.7 以降にバージョンアップしてから行ってください。
v2.0 以降の NEXT サーバーをインストールする場合は、「.NET Framework」のバージョンアップは不要となります。

NEXT ログサーバーのインストールは、以下の手順で行います。

1. NEXT ログサーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT サーバーインストーラー タイプ B「SetupNEXTServerTypeB<バージョン>.exe」を NEXT ログサーバー用コンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTServerTypeB<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

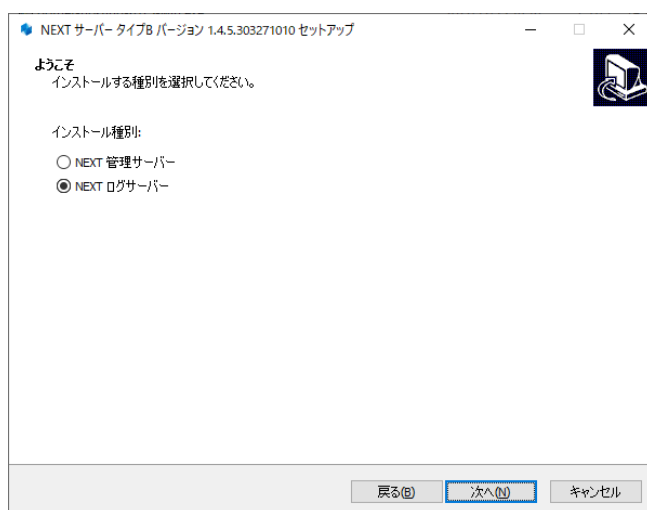


5. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

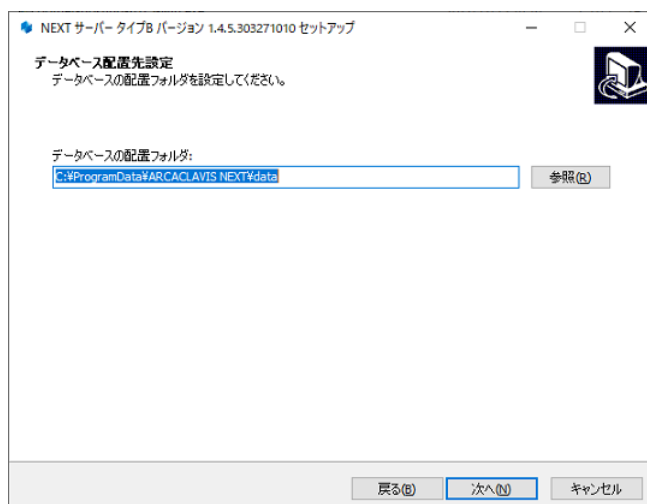


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

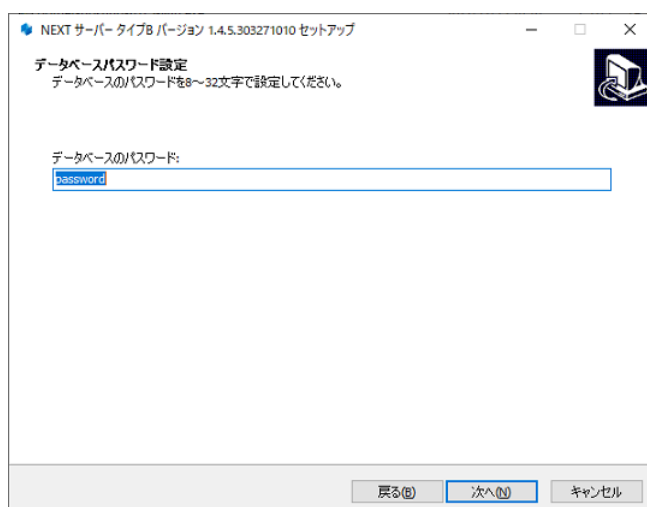
6. 下図が表示されます。「NEXT ログサーバー」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。



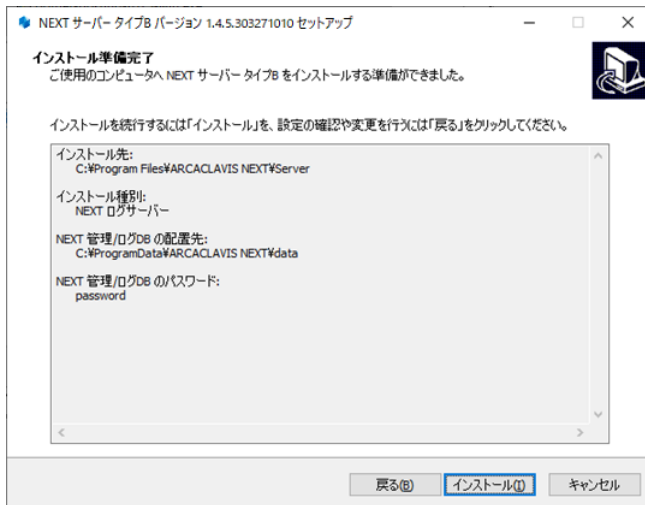
7. 下図が表示されます。データベースの配置先を指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



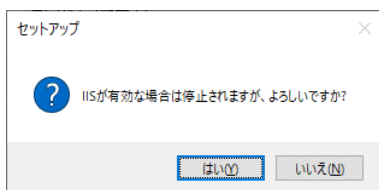
8. 下図が表示されます。データベースのパスワードを指定して<次へ>ボタンをクリックしてください。



9. 下図が表示されます。設定内容を確認し、問題なければ<インストール>ボタンをクリックしてください。



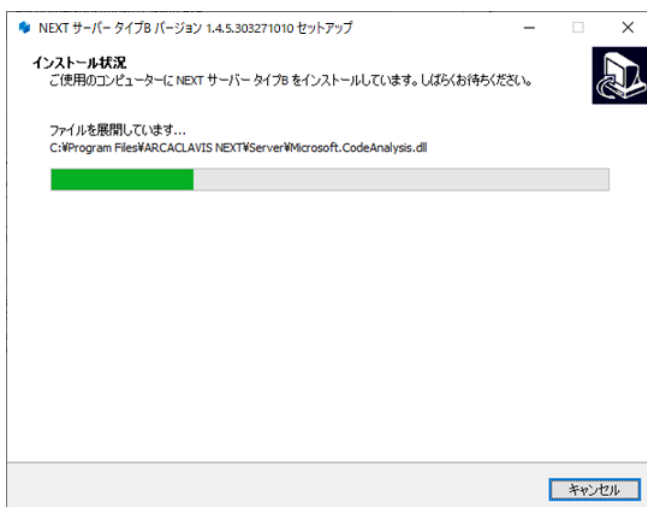
10. 下図が表示されます。インストール中に IIS (インターネットインフォメーションサーバー) の設定を行うため、IIS の動作を確認する画面です。<はい>ボタンをクリックしてください。



製品のインストールには、IIS の停止が必要になります。

業務時間でのシステム停止を避けたい場合は、<いいえ>ボタンを押してください。

11. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。

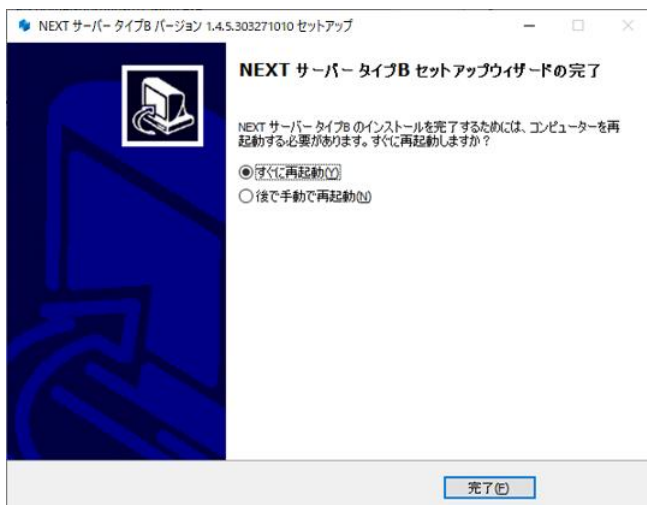


Info PostgreSQL のインストールに少し時間が必要になります。インストールが開始されるまでしばらくお待ちください。

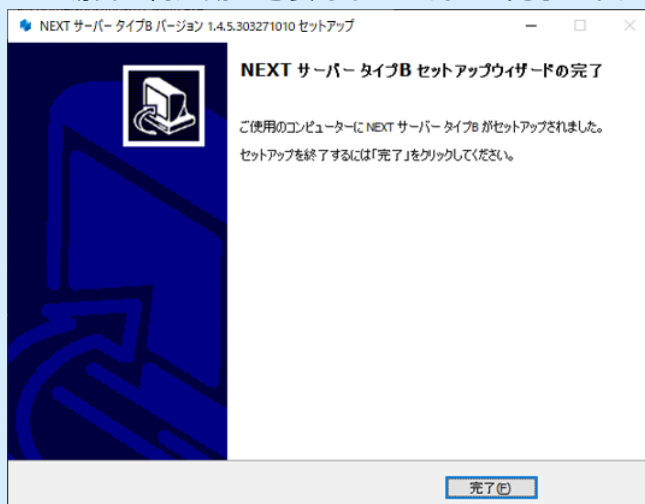
Info NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」より古いバージョンがインストールされている場合は、「.NET Core Hosting Bundle」は自動でアップデートされます。

NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」と同じバージョン、または新しいバージョンがインストールされている場合であっても、「.NET Core Hosting Bundle」が正常にインストールされていない場合は、IIS NEXT サーバーの Web サイトにアクセスできない状態になります。
インストール済みの「.NET Core Hosting Bundle」をアンインストールしてコンピューターを再起動した後、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。

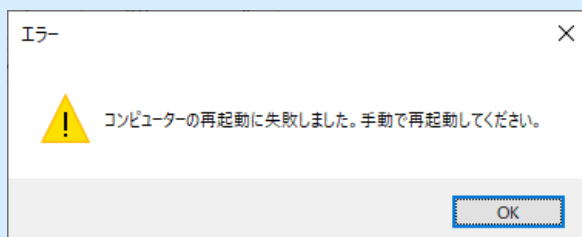
12. 下図が表示されます。初回インストールの完了には再起動が必要です。<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックして再起動してください。



Info 初回以外の上書きインストールでは、以下の画面が表示されます。以下の画面が表示された場合は再起動は必要ありません。<完了>ボタンをクリックしてください。



Info <すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



4.4.5. NEXT マネージャーのクライアント設定を変更する

「NEXT ログサーバーURL」の初期値がNEXT ログサーバーのIPアドレスではないため、変更します。

Info インストール後の初期値はNEXT 管理サーバーのホスト名またはIPアドレスが設定されます。

クライアント設定の変更は、以下手順で行います。

1. NEXT マネージャーの URL を Web ブラウザで開きます。

Info NEXT マネージャーの URL
`https://<NEXT 管理サーバーのホスト名またはIPアドレス>/`

2. NEXT マネージャーにサインインします。
3. メニューのクライアント設定をクリックしてください。
4. 「NEXT ログサーバーURL」の値をNEXT ログサーバーのホスト名、またはIPアドレスに変更してください。

The screenshot shows the '基本設定' (Basic Settings) page. The fields and their values are as follows:

クライアント設定名 *	default
NEXTWebサーバーURL *	https://192.168.2.145
NEXTログサーバーURL *	https://192.168.2.145
プロキシサーバーURL	
オンライン認証タイムアウト値 *	10
オフラインネットワークアドレス利用方式 *	利用しない
オフラインネットワークアドレス	
NEXTパスワード入力をする *	<input checked="" type="checkbox"/>
WindowsユーザーIDを自動入力する *	<input type="checkbox"/>
Windowsに自動サインインする *	<input type="checkbox"/>

5. <登録>ボタンをクリックして設定を保存します。

Info NEXT マネージャーの詳細については、「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」を参照してください。

4.5. NEXT サーバーをバージョンアップする

NEXT サーバーのバージョンアップは、以下の手順で行います。

Info NEXT オールインワンサーバーサーバーをバージョンアップする手順を記載していますが、他の構成のNEXT サーバーをバージョンアップする場合も同様の手順となります。他の構成のNEXT サーバーをバージョンアップする場合は、「4.1. NEXT サーバーのインストーラーの種類」を参照して正しいインストーラーを使用してバージョンアップを行ってください。

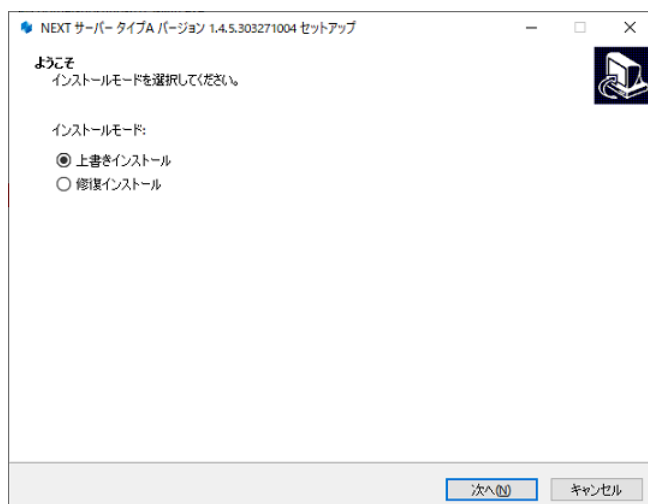
1. バージョンアップ対象のコンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT サーバーインストーラー タイプ A 「SetupNEXTServerTypeA<バージョン>.exe」をバージョンアップ対象のコンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTServerTypeA<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。



5. 下図が表示されます。「上書きインストール」、または「修復インストール」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

通常は、「上書きインストール」を選択してください。

「修復インストール」を選択した場合は、NEXT サーバーのモジュールが全て再インストールされます。NEXT サーバーの動作が不安定になった場合は、「修復インストール」を選択してください。

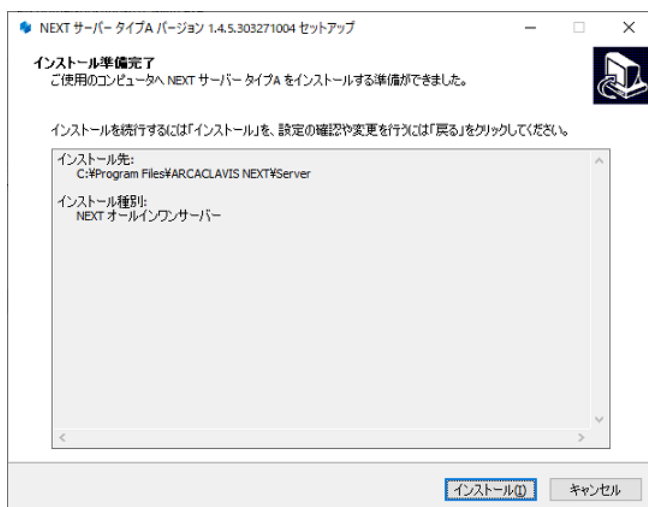


Info インストール済みの NEXT サーバーのバージョンと実行中の NEXT サーバーインストーラーのバージョンが異なる場合は、強制的にインストールモードが選択され、本画面が表示されない場合があります。

例として、以下のような状態が発生した場合、インストールモードの選択画面は表示されません。

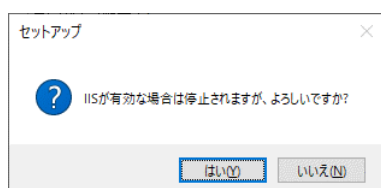
- ・「Microsoft .NET Runtime」のメジャーバージョンアップが発生した場合
- ・製品のバージョンアップ時に不要なモジュールが残存する状態が発生した場合

6. 下図が表示されます。設定内容を確認し、問題なければ<インストール>ボタンをクリックしてください。



Info インストール種別、NEXT 管理/ログ DB のパスワード等は、初回インストール時のみ設定できます。再度、設定したい場合は、一度、NEXT サーバーと PostgreSQL をアンインストール後に再度インストールしてください。

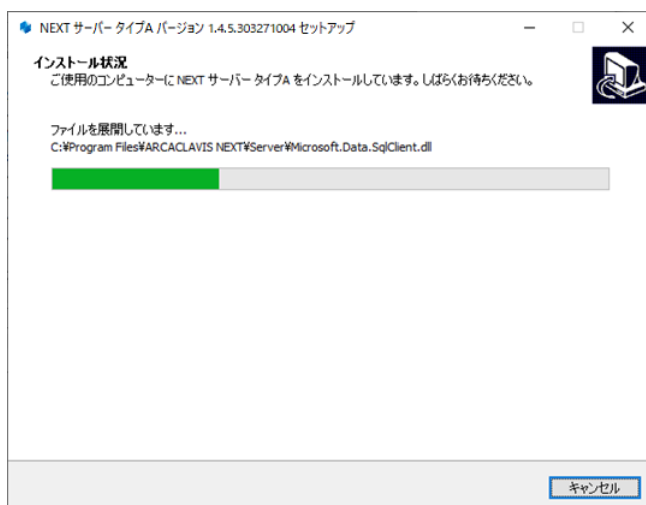
7. 下図が表示されます。インストール中に IIS (インターネットインフォメーションサーバー) の設定を行うため、IIS の動作を確認する画面です。<はい>ボタンをクリックしてください。



! 製品のインストールには、IIS の停止が必要になります。
業務時間でのシステム停止を避けたい場合は、<いいえ>ボタンを押してください。

Info NEXT オールイン DB サーバーのバージョンアップ時は、IIS 停止確認ダイアログは表示されません。

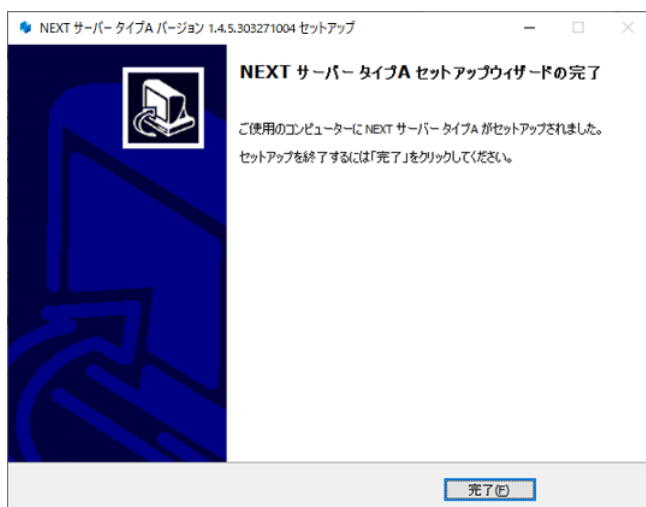
8. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。



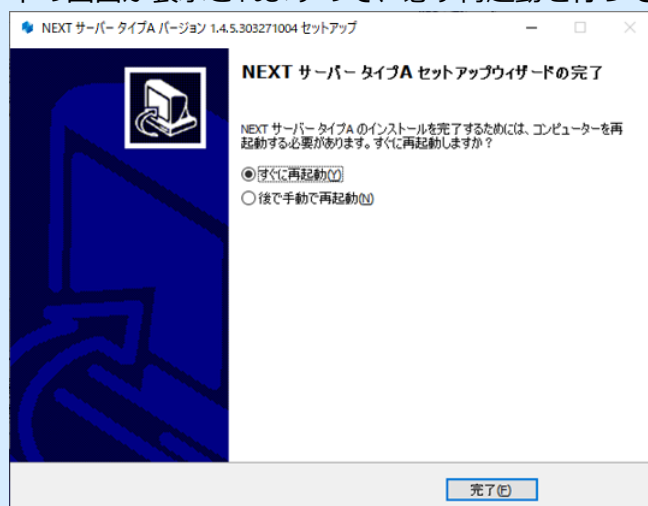
Info NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」より古いバージョンがインストールされている場合は、「.NET Core Hosting Bundle」は自動でアップデートされます。

NEXT サーバーインストーラーに同梱されている「.NET Core Hosting Bundle」と同じバージョン、または新しいバージョンがインストールされている場合であっても、「.NET Core Hosting Bundle」が正常にインストールされていない場合は、IIS NEXT サーバーの Web サイトにアクセスできない状態になります。
インストール済みの「.NET Core Hosting Bundle」をアンインストールしてコンピューターを再起動した後、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。

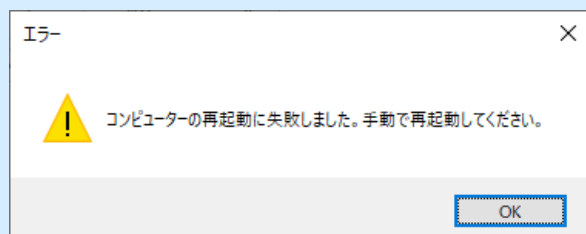
9. 下図が表示されます。<完了>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT サーバーのバージョンアップ後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



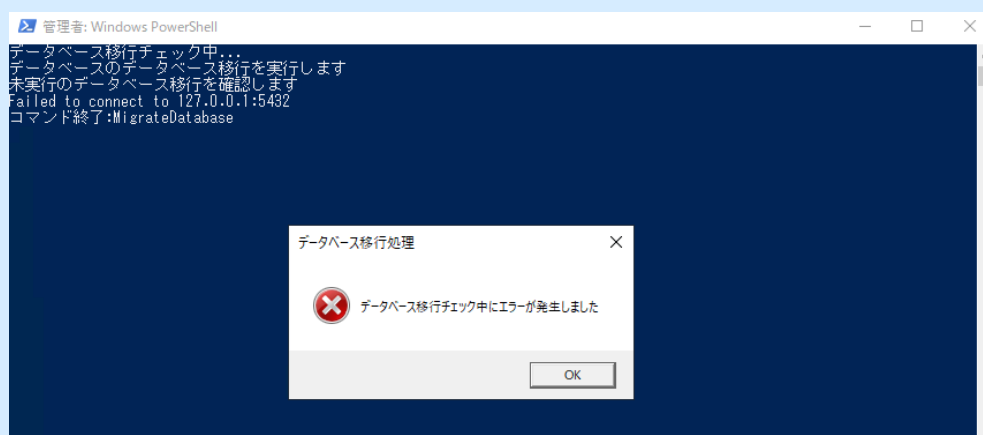
10. データベース移行が必要な状態かどうかチェックします。しばらくお待ちください。



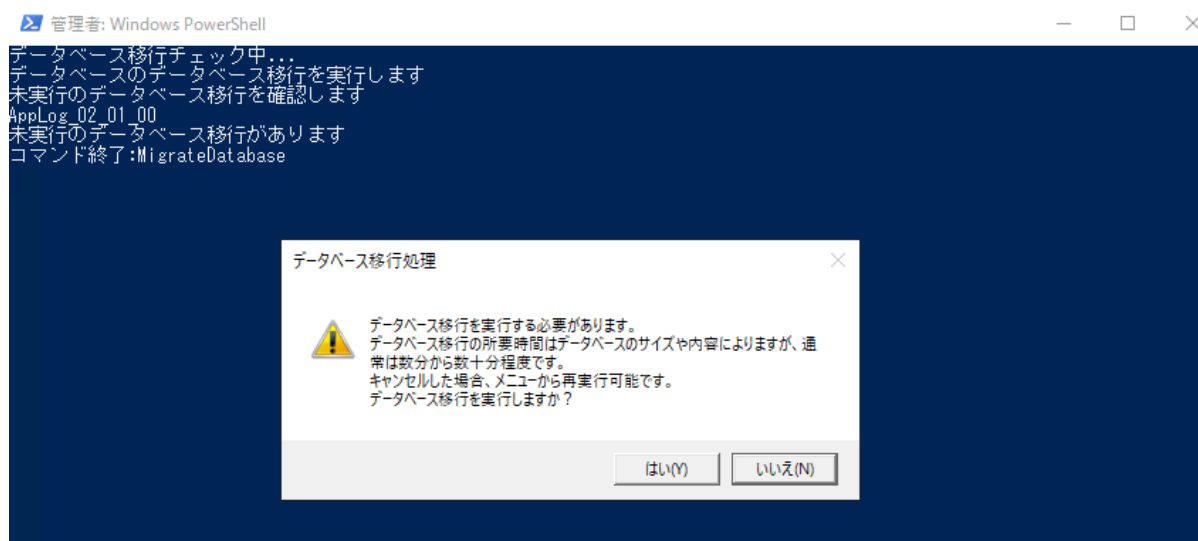
Info データベース移行が不要な場合は、自動で Powershell ウィンドウが終了し、NEXT サーバーのバージョンアップは完了となります。

Info NEXT オールイン DB サーバーはデータベース移行を実行しないため、手順 9 の<完了>ボタンをクリックしてバージョンアップは終了となります。

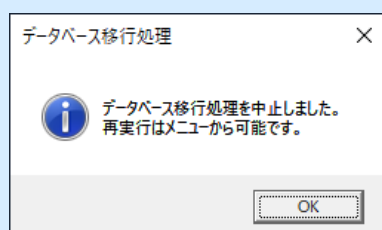
Info データベース移行のチェック中にエラーが発生した場合は、下図が表示され、エラーメッセージが表示されます。
エラー内容を確認して頂き、スタートメニューから再実行してください。
スタートメニューから再実行する場合は、「4.6. スタートメニューからデータベース移行を実行する」を参照してください。



11. データベース移行が必要な場合は、下図が表示されます。<はい>ボタンをクリックしてデータベース移行を実行してください。



Info <いいえ>ボタンをクリックすると、データベース移行を中断します。



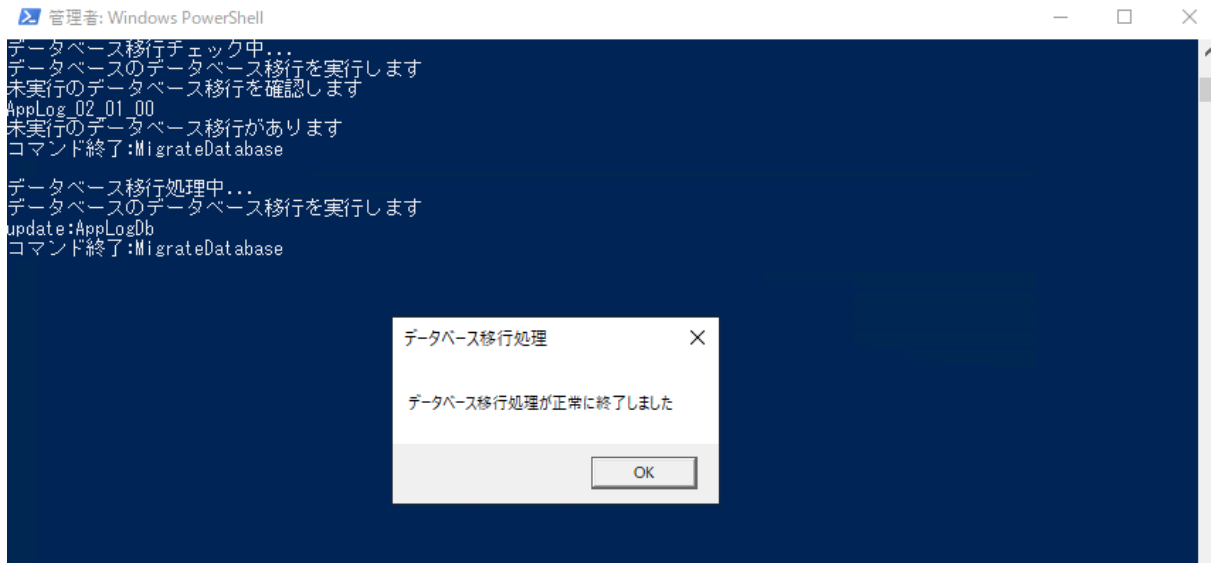
データベースに蓄積されたデータ量に応じて、データベース移行にかかる時間が長くなります。

移行中はNEXT サーバーの機能が利用できません。

都合の良い時間帯に移行を実行する場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてバージョンアップを完了し、その後でデータベース移行を行ってください。

後でデータベース移行を行う手順は、「4.6. スタートメニューからデータベース移行を実行する」を参照してください。

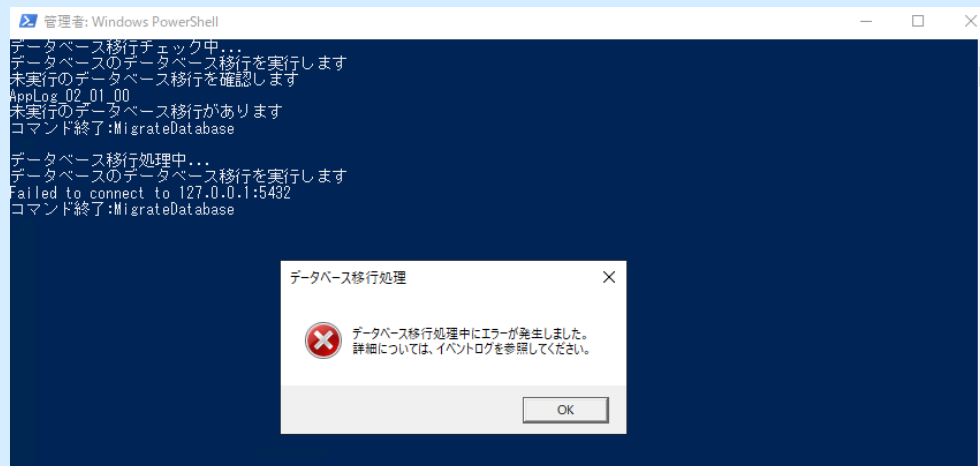
12. データベース移行が完了すると下図が表示されますので、<OK>ボタンをクリックしてください。



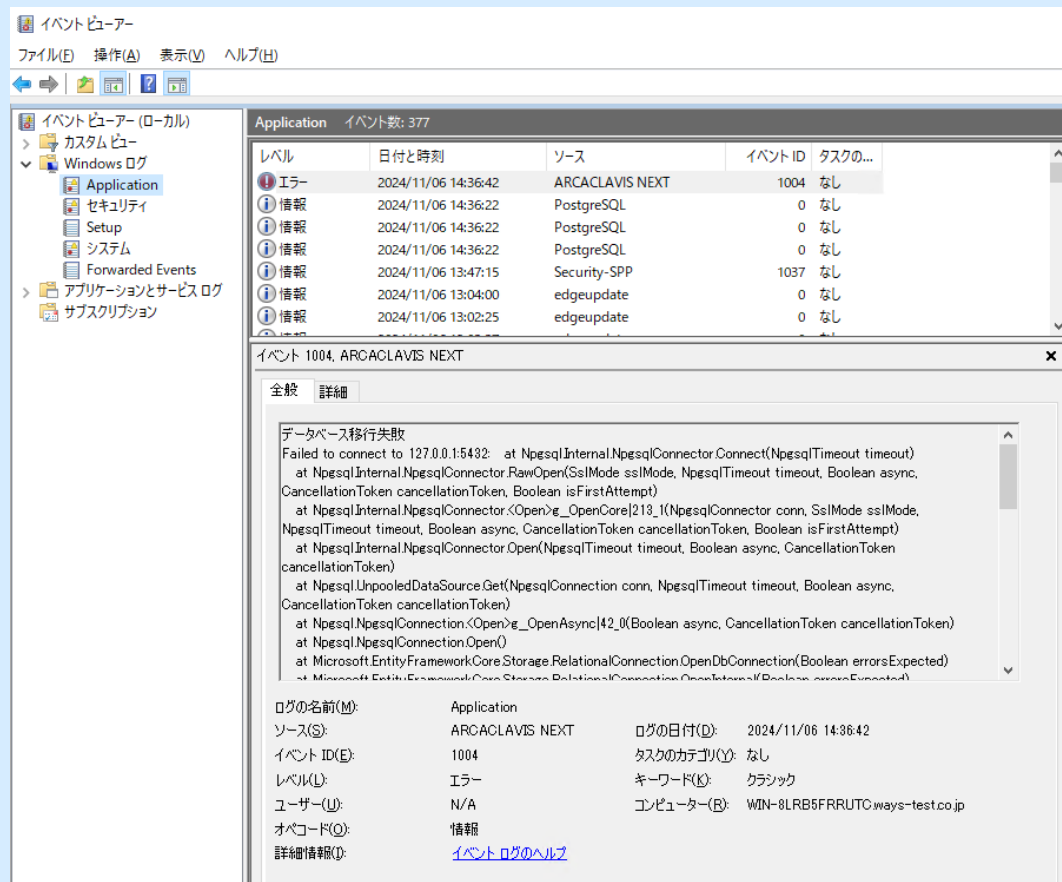
Info データベース移行の実行中にエラーが発生した場合は、下図が表示され、エラーメッセージが表示されます。

エラー内容を確認して頂き、スタートメニューから再実行してください。

スタートメニューから再実行する場合は、「4.6. スタートメニューからデータベース移行を実行する」を参照してください。



また、イベントログにもエラー内容が出力されます。



4.6. スタートメニューからデータベース移行を実行する

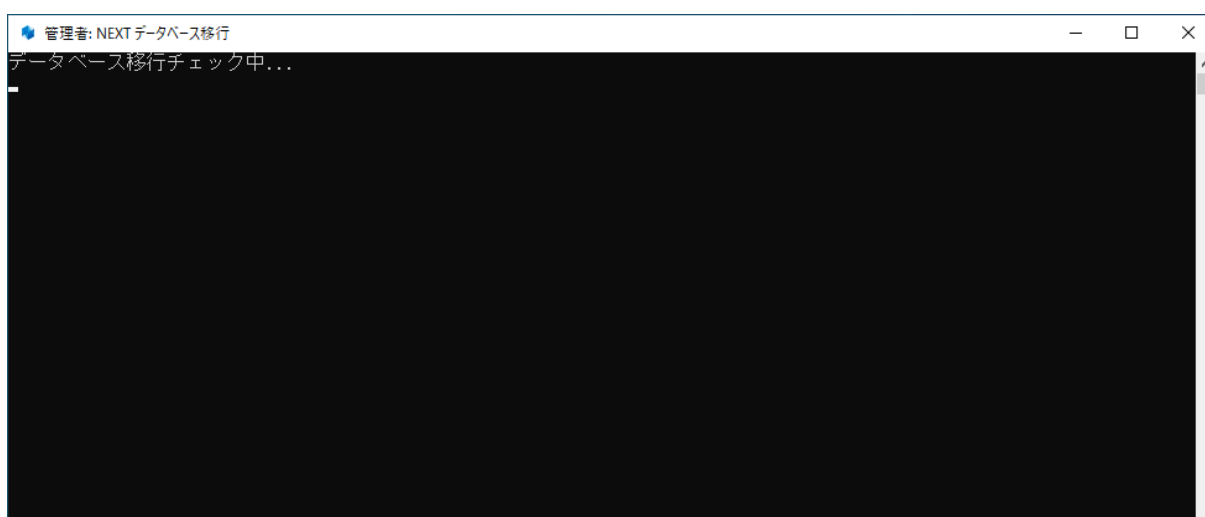
スタートメニューからデータベース移行を実行する場合は、以下の手順で行います。

Info NEXT オールイン DB サーバーはデータベース移行を実行しないため、スタートメニューに「NEXT データベース移行」はありません。

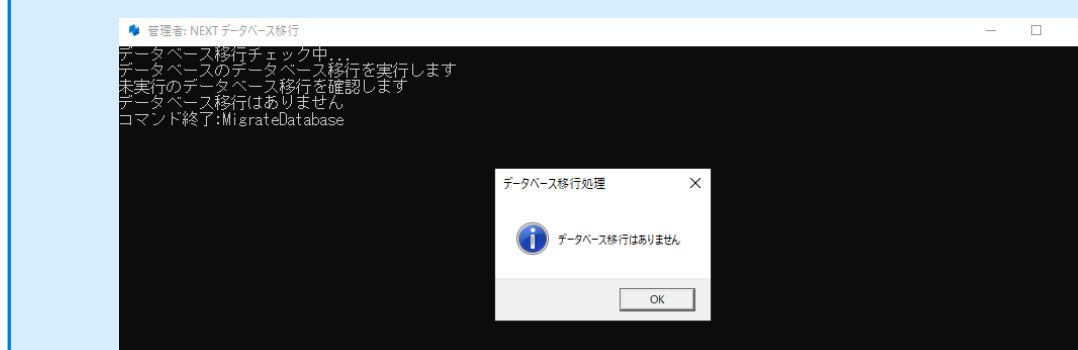
1. NEXT 管理サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから「ARCACLAVIS NEXT」 - 「NEXT データベース移行」をクリックしてください。



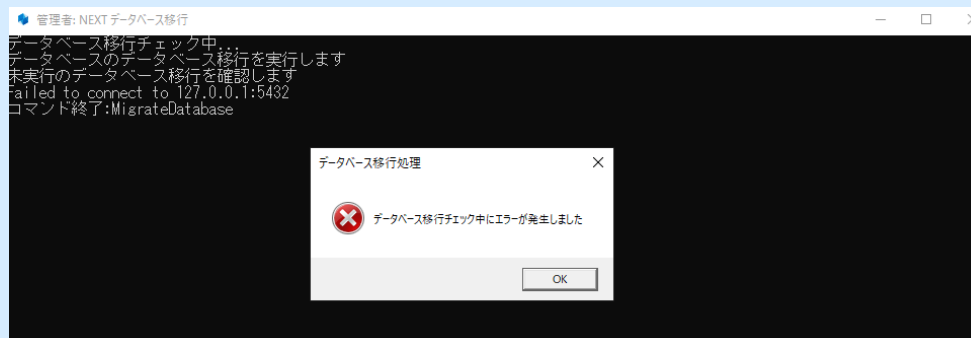
3. データベース移行が必要な状態かどうかチェックします。しばらくお待ちください。



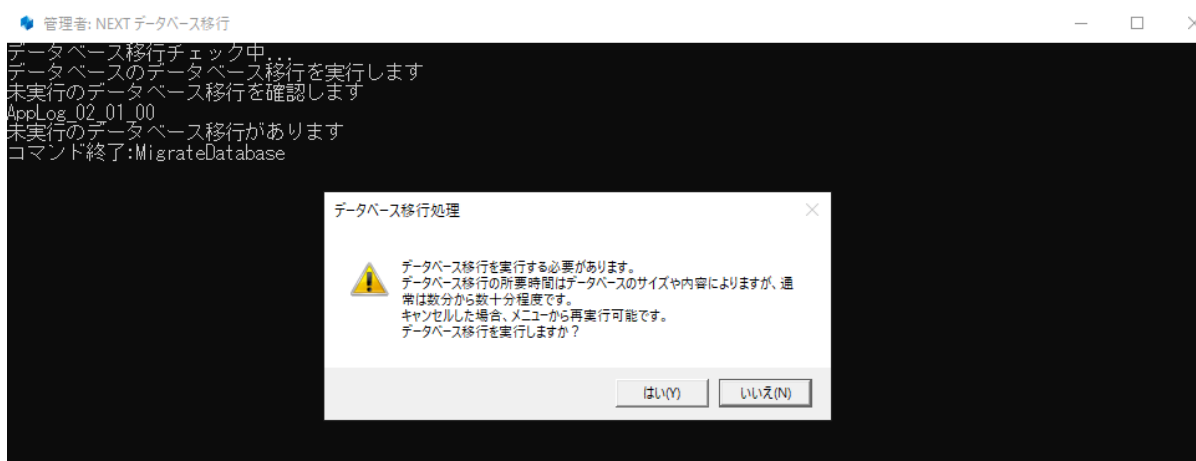
Info データベース移行が不要な場合は、下図が表示されます。



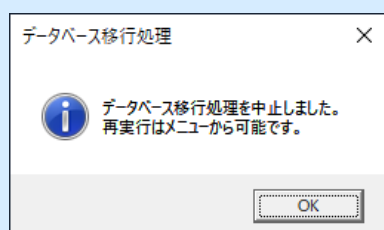
Info データベース移行のチェック中にエラーが発生した場合は、下図が表示され、エラーメッセージが表示されます。
エラー内容を確認して頂き、スタートメニューから再実行してください。



4. データベース移行が必要な場合は、下図が表示されます。<はい>ボタンをクリックしてデータベース移行を実行してください。



Info <いいえ>ボタンをクリックすると、データベース移行を中断します。

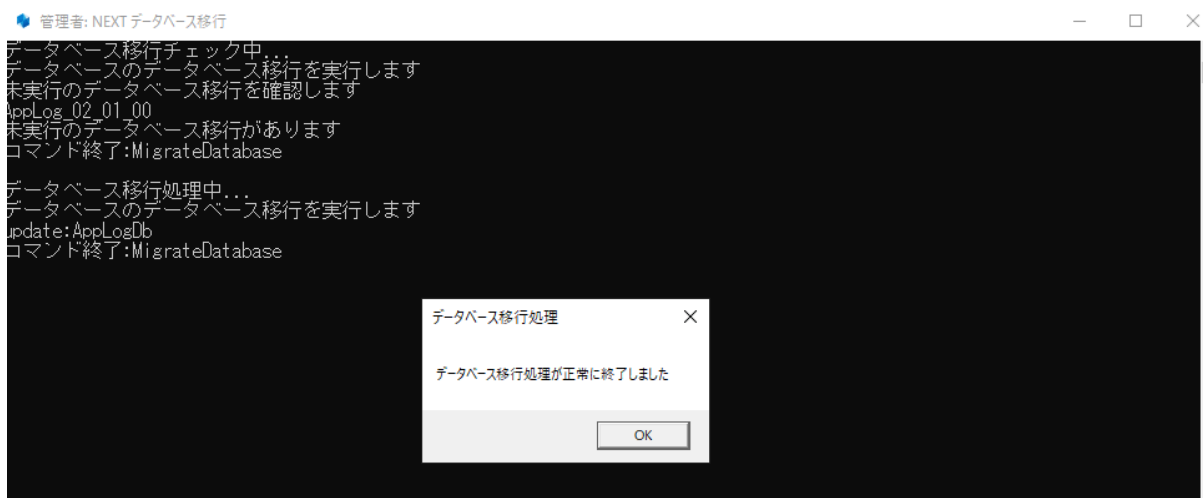


データベースに蓄積されたデータ量に応じて、データベース移行にかかる時間が長くなります。

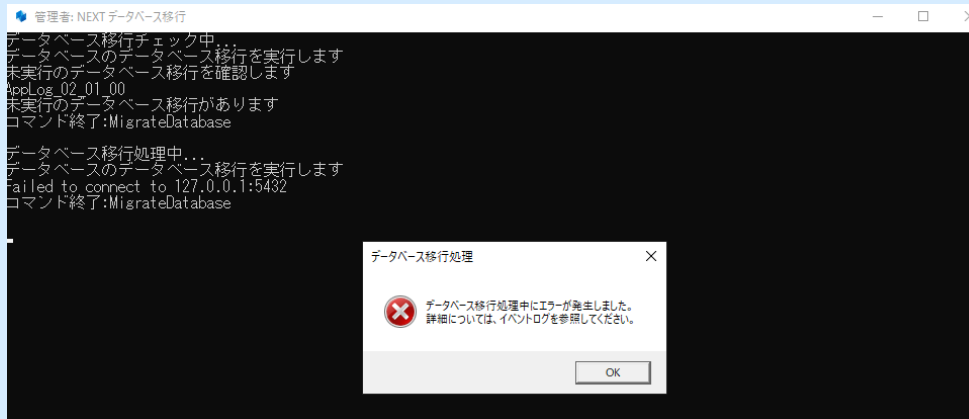
移行中は NEXT サーバーの機能が利用できません。

都合の良い時間帯に移行を実行する場合は、「いいえ」ボタンをクリックし、後で再度スタートメニューからデータベース移行を行ってください。

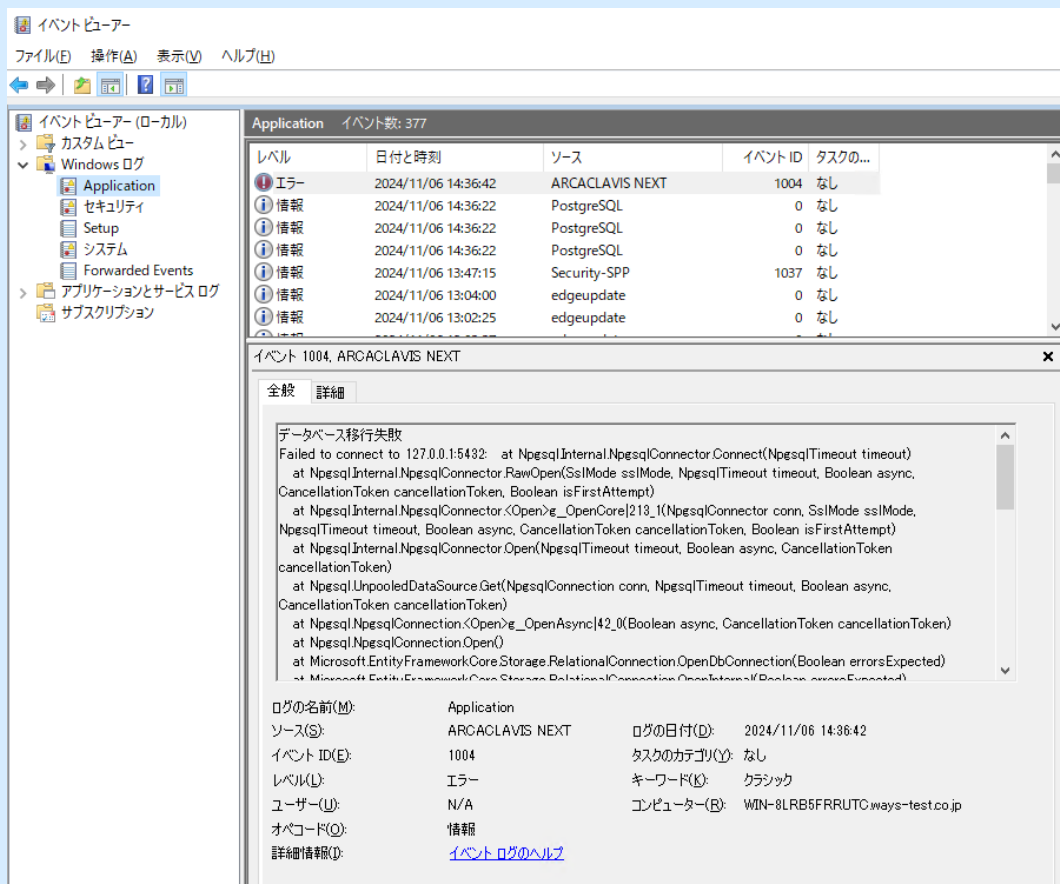
5. データベース移行が完了すると下図が表示されますので、<OK>ボタンをクリックしてください。



Info データベース移行の実行中にエラーが発生した場合は、下図が表示され、エラーメッセージが表示されます。



また、イベントログにもエラー内容が出力されます。



4.7. 証明書の設定をする

NEXT サーバーインストーラーでインストールした場合、NEXT サーバー用の自己証明書が適用されています。

独自の認証機関より発行された証明書が設定できるサーバーは以下となります。

構成	証明書の設定をするサーバー
NEXT オールインワンサーバーの 1 台構成	・NEXT オールインワンサーバー
NEXT オールイン Web サーバーと NEXT オールイン DB サーバーの Web と DB 分離の 2 台構成	・NEXT オールイン Web サーバー
NEXT 管理サーバーと NEXT ログサーバーの 管理とログ分離の 2 台構成	・NEXT 管理サーバー ・NEXT ログサーバー

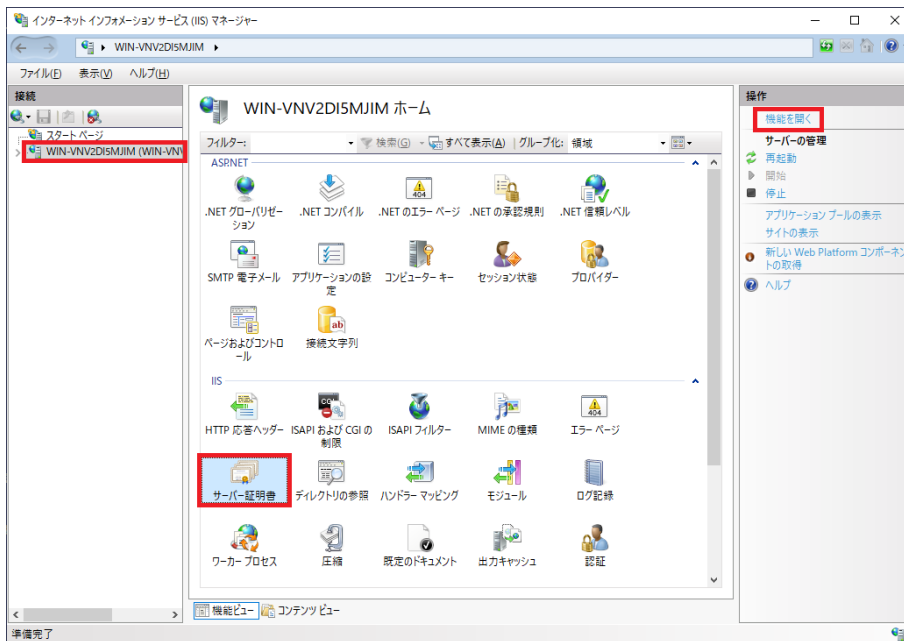
独自の認証機関より発行された証明書を設定する場合は以下の手順が必要です。

Info 証明書は拡張子「.pfx」のファイルです。
以下の手順では NEXTServerExample.pfx としています。

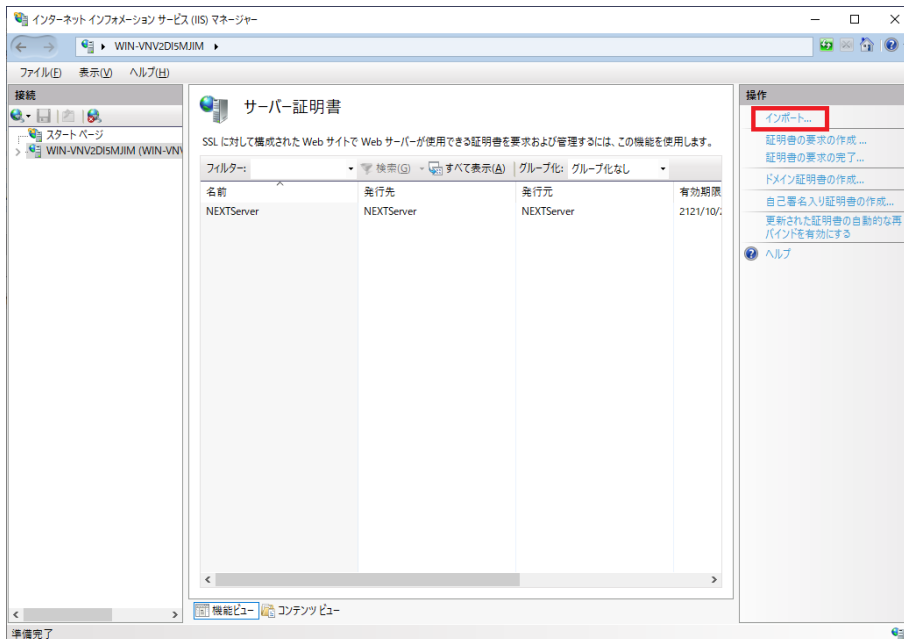
1. 証明書を設定するコンピュータに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. スタートメニューから[Windows 管理ツール]-[インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー]を選択して IIS マネージャーを開きます。



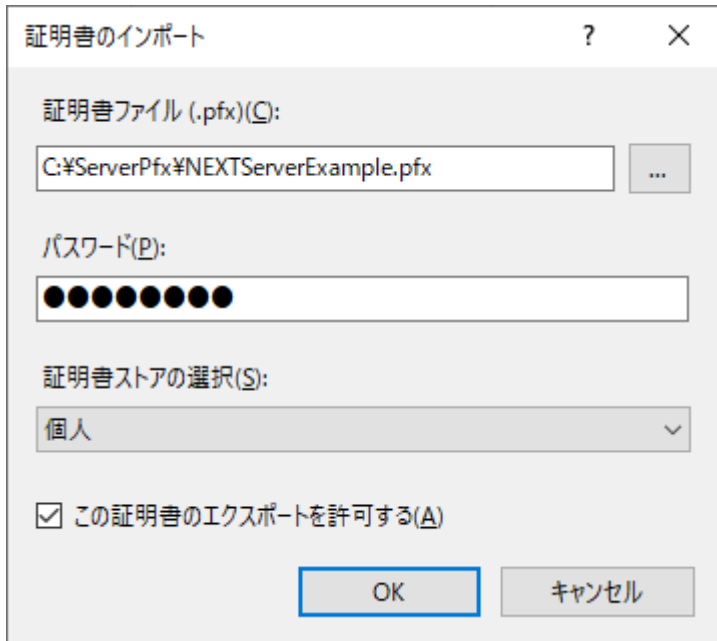
3. IIS マネージャーの「接続」ビューのコンピューター名をクリックし、「機能」ビューから「サーバー証明書」をクリックし、「操作」ウィンドウの「機能を開く」をクリックします。



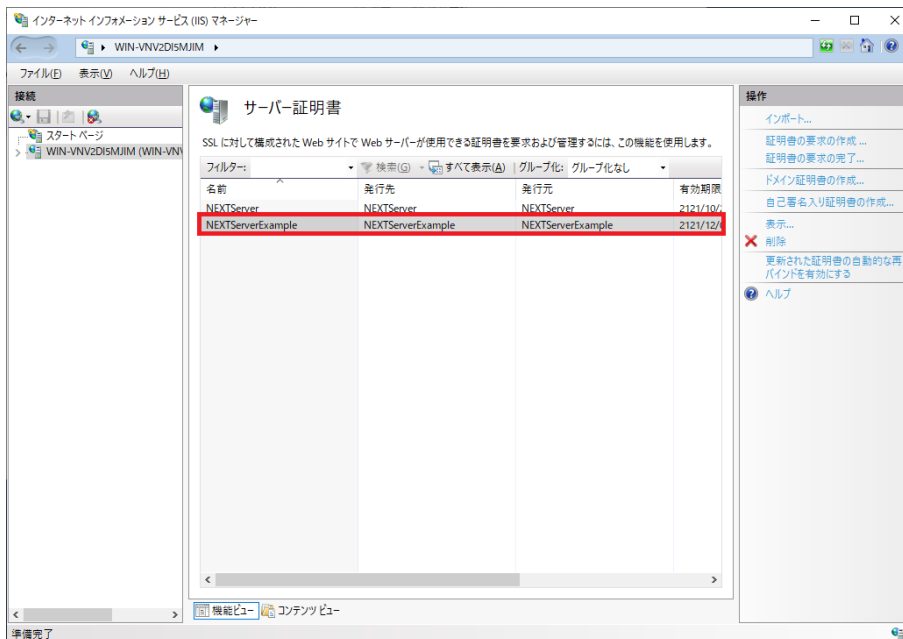
4. 「サーバー証明書」画面が表示されます。「操作」ウィンドウから「インポート」をクリックします。



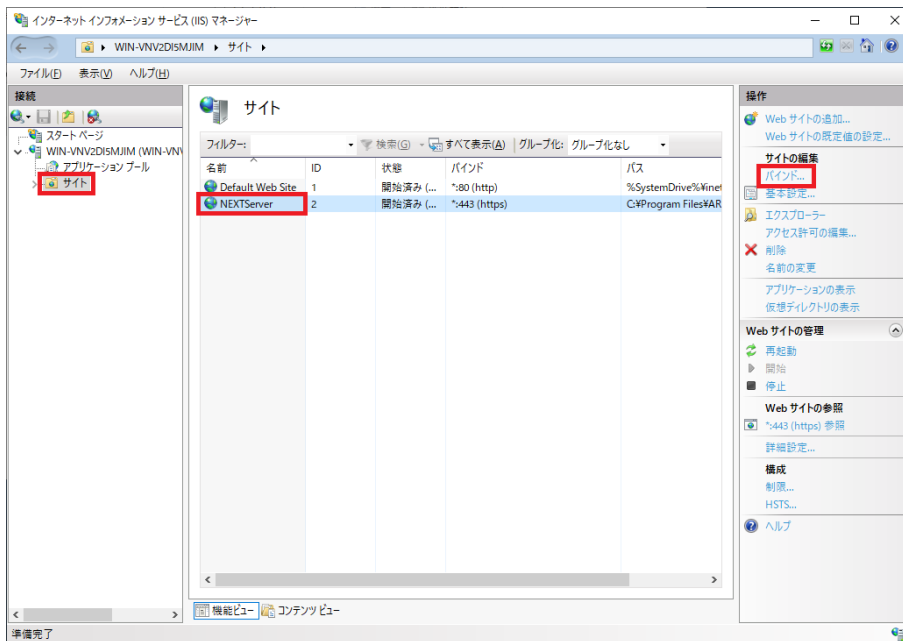
5. 「証明書のインポート」画面が表示されます。「証明書ファイル」に証明書のパスを、「パスワード」に証明書のパスワードを入力して<OK>ボタンをクリックします。



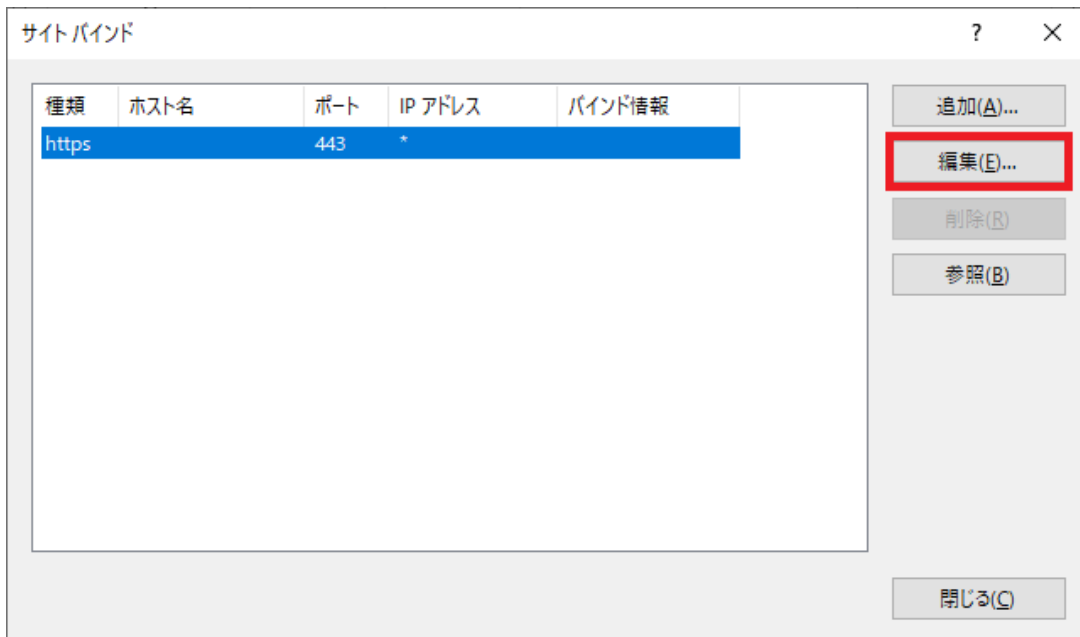
6. 以下のように証明書が追加されます。



7. 「接続」ビューの「サイト」をクリックし、「機能」ビューから「NEXTServer」をクリックして、「操作」ウィンドウの「バインド」をクリックします。



8. 「サイト バインド」画面が表示されます。「https」の列を選択し、<編集>ボタンをクリックします。



9. 「サイト バインドの編集」画面が表示されます。「SSL 証明書」を手順 6 で追加した証明書に変更し、<OK>ボタンをクリックして設定は完了です。

The screenshot shows a dialog box titled "サイト バインドの編集" (Edit Site Bindings). It contains the following fields and options:

- 種類(T):** A dropdown menu set to "https".
- IP アドレス(I):** A dropdown menu set to "未使用の IP アドレスすべて" (All unused IP addresses).
- ポート(O):** A text input field containing "443".
- ホスト名(H):** An empty text input field.
- サーバー名表示を要求する(N) (Require server name display)
- HTTP/2 を無効にする(D) (Disable HTTP/2)
- OCSP ステープリングを無効にする(S) (Disable OCSP stapling)
- SSL 証明書(F):** A dropdown menu with a list of certificates: "NEXTServer", "未選択" (unselected), "NEXTServerExample" (highlighted in blue), and "NEXTServer".

At the bottom right, there are buttons for "選択(L)..." (Select...), "表示(V)..." (View...), "OK", and "キャンセル" (Cancel).

4.8. NEXT サーバー再設定ツール

NEXT サーバー再設定ツールとは、NEXT サーバーのインストール時に、接続先データベースのパスワードや NEXT オールイン DB サーバーのホスト名、NEXT オールイン Web サーバーの IP アドレスを誤って入力した場合に、NEXT サーバーの再設定を行うためのツールです。

また、本ツールを使用することにより、接続先データベースのポート番号や接続先データベースのユーザー名の変更も行うことができます。

4.8.1. NEXT サーバー再設定ツールで再設定が可能な項目

NEXT サーバー再設定ツールを使用して再設定が可能な項目は以下のとおりです。

NEXT サーバーの構成	再設定が可能な項目	設定の変更が可能な項目
NEXT オールインワンサーバー	接続先データベースのパスワード	接続先データベースのポート番号 接続先データベースのユーザー名
NEXT オールイン Web サーバー	接続先データベースのパスワード NEXT オールイン DB サーバーのホスト名	接続先データベースのポート番号 接続先データベースのユーザー名
NEXT オールイン DB サーバー	接続先データベースのパスワード NEXT オールイン Web サーバーの IP アドレス	接続先データベースのポート番号 接続先データベースのユーザー名
NEXT 管理サーバー	接続先データベースのパスワード	接続先データベースのポート番号 接続先データベースのユーザー名
NEXT ログサーバー	接続先データベースのパスワード	接続先データベースのポート番号 接続先データベースのユーザー名



NEXT サーバー再設定ツールを使用して接続先データベースのパスワードの変更を行ったとしても、PostgreSQL のパスワードは変更されません。

PostgreSQL のパスワードを変更したい場合は、PostgreSQL のマニュアルを参考にしてデータベースパスワードを変更する、または NEXT サーバー、および PostgreSQL をアンインストールして、再度、NEXT サーバーをインストールする必要があります。

4.8.2. NEXT サーバー再設定ツールを使用するケース

下記のようなケースでは、NEXT サーバーの再インストールを行わずに、NEXT サーバー再設定ツールを使用することで対処が可能です。

NEXT サーバーの構成	ケース
NEXT オールインワンサーバー NEXT オールイン DB サーバー NEXT 管理サーバー NEXT ログサーバー	PostgreSQL がインストール済みの状態で、NEXT サーバーをインストールする際に、誤ったデータベースパスワード設定してしまった場合 ※「4.8.3. 接続先データベースのパスワードを変更する」の手順で対処が可能
NEXT オールイン Web サーバー	接続先データベースのパスワード (NEXT オールイン DB サーバーに設定されているデータベースパスワード) と異なるパスワードを設定してしまった場合 ※「4.8.3. 接続先データベースのパスワードを変更する」の手順で対処が可能
NEXT オールイン Web サーバー	接続先データベースのホスト名 (NEXT オールイン DB サーバーのホスト名) を誤って設定してしまった場合 ※「4.8.4. 接続先データベースのホスト名を変更する」の手順で対処が可能
NEXT オールイン DB サーバー	データベースへの接続を許可する IP アドレス (NEXT オールイン Web サーバーの IP アドレス) を誤って設定してしまった場合 ※「4.8.5. データベースへの接続を許可する IP アドレスを変更する」の手順で対処が可能
NEXT オールインワンサーバー NEXT オールイン Web サーバー NEXT オールイン DB サーバー NEXT 管理サーバー NEXT ログサーバー	接続先データベースのポート番号 (デフォルトのポート番号は「5432」に設定されています) を変更したい場合 ※「4.8.6. 接続先データベースのポート番号を変更する」の手順で対処が可能
NEXT オールインワンサーバー NEXT オールイン Web サーバー NEXT オールイン DB サーバー NEXT 管理サーバー NEXT ログサーバー	接続先データベースのユーザー名 (PostgreSQL の場合、デフォルトユーザー名は「postgres」に設定されています) を変更したい場合 ※「4.8.7. 接続先データベースのユーザー名を変更する」の手順で対処が可能

4.8.3. 接続先データベースのパスワードを変更する

NEXT サーバー再設定ツールを使用して、接続先データベースのパスワードを変更する手順について説明します。

1. NEXT サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
3. NEXT サーバーのインストールフォルダに移動します。

```
> cd C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server
```

4. 接続先データベースのパスワードを変更する NEXT サーバー再設定ツールのコマンドを実行します。

```
> Setup.Support ChangeDbConnSetting -pw={接続先データベースのパスワード}
```

例) Setup.Support ChangeDbConnSetting -pw=dbPassword

5. 上記コマンド実行後、「コマンドは正常に終了しました。コンピューターを再起動して設定を反映してください。」と表示されますので、コンピューターを再起動してください。

本コマンド実行時に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。

出力メッセージ	対応方法
実行するユーザーに管理者権限がありません	管理者権限がない状態で NEXT サーバー再設定ツールを実行した場合に表示されるエラーです。 コマンドプロンプトを管理者権限で起動して実行してください。
コマンド引数が足りません： ChangeDbConnSetting -h={接続先データベースのホスト名} -pw={接続先データベースのパスワード} -p={接続先データベースのポート} -u={接続先データベースユーザー}	コマンド引数に何も指定しなかった場合に表示されるエラーです。 上記の手順 4 を参考に再度コマンドを実行してください。
設定ファイルを閉じてから再度実行してください	NEXT サーバーの設定ファイル書き換えに失敗した際に表示されるエラーです。 NEXT サーバーのインストールフォルダ (C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server) の配下にあるファイルが開かれている可能性がありますので、閉じてから再度コマンドを実行してください。
アプリケーションエラーが発生しました	NEXT サーバーの設定ファイルが存在しない場合に表示されるエラーです。 再度 NEXT サーバーインストーラーを実行してください。

4.8.4. 接続先データベースのホスト名を変更する

NEXT サーバー再設定ツールを使用して、接続先データベースのホスト名を変更する手順について説明します。

1. NEXT サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
3. NEXT サーバーのインストールフォルダに移動します。

```
> cd C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server
```

4. NEXT サーバー再設定ツールのコマンドを実行します。

```
> Setup.Support ChangeDbConnSetting -h={接続先データベースのホスト名}
```

例) Setup.Support ChangeDbConnSetting -h=dbServerHost

5. 上記コマンド実行後、「コマンドは正常に終了しました。コンピューターを再起動して設定を反映してください。」と表示されますので、コンピューターを再起動してください。

本コマンド実行時に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。

出力メッセージ	対応方法
実行するユーザーに管理者権限がありません	管理者権限がない状態で NEXT サーバー再設定ツールを実行した場合に表示されるエラーです。 コマンドプロンプトを管理者権限で起動して実行してください。
コマンド引数が足りません： ChangeDbConnSetting -h={接続先データベースのホスト名} -pw={接続先データベースのパスワード} -p={接続先データベースのポート} -u={接続先データベースユーザー}	コマンド引数に何も指定しなかった場合に表示されるエラーです。 上記の手順 4 を参考に再度コマンドを実行してください。
設定ファイルを閉じてから再度実行してください	NEXT サーバーの設定ファイル書き換えに失敗した際に表示されるエラーです。 NEXT サーバーのインストールフォルダ (C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server) の配下にあるファイルが開かれている可能性がありますので、閉じてから再度コマンドを実行してください。
アプリケーションエラーが発生しました	NEXT サーバーの設定ファイルが存在しない場合に表示されるエラーです。 再度 NEXT サーバーインストーラーを実行してください。

4.8.5. データベースへの接続を許可する IP アドレスを変更する

NEXT サーバー再設定ツールを使用して、データベースへの接続を許可する IP アドレスを変更する手順について説明します。

1. NEXT サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
3. NEXT サーバーのインストールフォルダに移動します。

```
> cd C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server
```

4. NEXT サーバー再設定ツールのコマンドを実行します。

```
> Setup.Support ChangePgHbaConf {NEXT オールインワン Web サーバーの IP アドレス}
```

例) Setup.Support ChangePgHbaConf 192.168.1.100

5. 上記コマンド実行後、「コマンドは正常に終了しました。コンピューターを再起動して設定を反映してください。」と表示されますので、コンピューターを再起動してください。

本コマンド実行時に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。

出力メッセージ	対応方法
実行するユーザーに管理者権限がありません	管理者権限がない状態で NEXT サーバー再設定ツールを実行した場合に表示されるエラーです。 コマンドプロンプトを管理者権限で起動して実行してください。
NEXT オールイン DB サーバー以外では変更できません	NEXT オールイン DB サーバー以外の環境で本コマンドが実行された場合に表示されるエラーです。
コマンド引数が足りません：{NEXT オールイン Web サーバーの IP アドレス}	コマンド引数が不足している場合に表示されるエラーです。 上記の手順 4 を参考に再度コマンドを実行してください。
コマンド引数が IP アドレスの書式ではありません	コマンド引数に指定した{NEXT オールインワン Web サーバーの IP アドレス}が IP アドレスの書式ではない場合に表示されるエラーです。 正しい NEXT オールインワン Web サーバーの IP アドレスを入力してください。
設定ファイルを閉じてから再度実行してください	データベースの設定ファイルの書き換えに失敗した際に表示されるエラーです。 データベースの配置先(初期値:C:\ProgramData\ARCACLAVIS NEXT\data)の配下にある pg_hba.conf が開かれている可能性がありますので、閉じてから再度コマンドを実行してください。

4.8.6. 接続先データベースのポート番号を変更する

NEXT サーバー再設定ツールを使用して、接続先データベースのポート番号を変更する手順について説明します。

1. NEXT サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
3. NEXT サーバーのインストールフォルダに移動します。

```
> cd C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server
```

4. 接続先データベースのパスワードを変更する NEXT サーバー再設定ツールのコマンドを実行します。

```
> Setup.Support ChangeDbConnSetting -p={接続先データベースのポート番号}
```

例) Setup.Support ChangeDbConnSetting -p=54321

5. 上記コマンド実行後、「コマンドは正常に終了しました。コンピューターを再起動して設定を反映してください。」と表示されますので、コンピューターを再起動してください。

本コマンド実行時に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。

出力メッセージ	対応方法
実行するユーザーに管理者権限がありません	管理者権限がない状態で NEXT サーバー再設定ツールを実行した場合に表示されるエラーです。 コマンドプロンプトを管理者権限で起動して実行してください。
コマンド引数が足りません： ChangeDbConnSetting -h={接続先データベースのホスト名} -pw={接続先データベースのパスワード} -p={接続先データベースのポート} -u={接続先データベースユーザー}	コマンド引数に何も指定しなかった場合に表示されるエラーです。 上記の手順 4 を参考に再度コマンドを実行してください。
設定ファイルを閉じてから再度実行してください	NEXT サーバーの設定ファイル書き換えに失敗した際に表示されるエラーです。 NEXT サーバーのインストールフォルダ (C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server) の配下にあるファイルが開かれている可能性がありますので、閉じてから再度コマンドを実行してください。
アプリケーションエラーが発生しました	NEXT サーバーの設定ファイルが存在しない場合に表示されるエラーです。 再度 NEXT サーバーインストーラーを実行してください。

4.8.7. 接続先データベースのユーザー名を変更する

NEXT サーバー再設定ツールを使用して、接続先データベースのユーザー名を変更する手順について説明します。

1. NEXT サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
3. NEXT サーバーのインストールフォルダに移動します。

```
> cd C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server
```

4. 接続先データベースのパスワードを変更する NEXT サーバー再設定ツールのコマンドを実行します。

```
> Setup.Support ChangeDbConnSetting -u={接続先データベースのユーザー名}
```

例) Setup.Support ChangeDbConnSetting -u=dbUser

5. 上記コマンド実行後、「コマンドは正常に終了しました。コンピューターを再起動して設定を反映してください。」と表示されますので、コンピューターを再起動してください。

本コマンド実行時に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。

出力メッセージ	対応方法
実行するユーザーに管理者権限がありません	管理者権限がない状態で NEXT サーバー再設定ツールを実行した場合に表示されるエラーです。 コマンドプロンプトを管理者権限で起動して実行してください。
コマンド引数が足りません： ChangeDbConnSetting -h={接続先データベースのホスト名} -pw={接続先データベースのパスワード} -p={接続先データベースのポート} -u={接続先データベースユーザー}	コマンド引数に何も指定しなかった場合に表示されるエラーです。 上記の手順 4 を参考に再度コマンドを実行してください。
設定ファイルを閉じてから再度実行してください	NEXT サーバーの設定ファイル書き換えに失敗した際に表示されるエラーです。 NEXT サーバーのインストールフォルダ (C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server) の配下にあるファイルが開かれている可能性がありますので、閉じてから再度コマンドを実行してください。
アプリケーションエラーが発生しました	NEXT サーバーの設定ファイルが存在しない場合に表示されるエラーです。 再度 NEXT サーバーインストーラーを実行してください。

4.8.8. 現在の設定を確認する

NEXT サーバー再設定ツールを使用して、現在の接続先データベースのホスト名、接続先データベースのパスワード、接続先データベースのポート番号、および接続先データベースのユーザー名を確認する手順について説明します。

1. NEXT サーバー用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
3. NEXT サーバーのインストールフォルダに移動します。

```
> cd C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Server
```

4. NEXT サーバー再設定ツールのコマンドを実行します。すると、現在の設定が表示されます。

```
> Setup.Support ReportDbConnSetting
```

5. 上記コマンド実行すると、現在の接続先データベースのホスト名、接続先データベースのパスワード、接続先データベースのポート番号、および接続先データベースのユーザー名が表示されます。
※下記はコマンド実行例です。

```
接続先データベースの設定を表示します
key:controldb host:localhost port:5432 user:postgres password:p****d
key:default host:localhost port:5432 user:postgres password:p****d
key:jobdb host:localhost port:5432 user:postgres password:p****d
key:licensedb host:localhost port:5432 user:postgres password:p****d
key:logdb host:localhost port:5432 user:postgres password:p****d
コマンドは終了しました
```

Info 接続先データベースのパスワードは、セキュリティの関係上、一部伏字で表示されます。

本コマンド実行時に表示されるエラーメッセージは下記のとおりです。

出力メッセージ	対応方法
実行するユーザーに管理者権限がありません	管理者権限がない状態で NEXT サーバー再設定ツールを実行した場合に表示されるエラーです。 コマンドプロンプトを管理者権限で起動して実行してください。

5. NEXT クライアント



リモートデスクトップ（以下、RDP）でのインストール、およびバージョンアップは行うことができません。

RDPでのアンインストールは可能ですが、動作保証はしません。

5.1. インストールされるミドルウェア

NEXT クライアントをインストールすると以下のミドルウェアが同時にインストールされます。

インストールされるミドルウェア
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x64)
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x64)
Microsoft Windows Desktop Runtime - 8.0.3 (x64)
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810

5.2. ミドルウェア、ドライバ、ランタイムをインストールする

NEXT クライアントで顔認証を行うために、NEXT クライアント PC に顔認証用のランタイムをインストールします。

顔認証用のランタイムのインストール手順は、「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。

また IC カード認証を行うために、NEXT クライアント PC に IC カードリーダーライターのドライバをインストールする必要がある場合があります。以下に IC カードリーダーライターのドライバをインストールする必要がある場合の組み合わせを記します。

IC カードリーダーライター	IC カード	ドライバのインストール
ソニー RC-S380/S	FeliCa Standard	必要
ソニー RC-S300/S	FeliCa Lite-S	
ソニー RC-S300/S1		
AB Circle CIR315-A	NXP Semiconductors Mifare Classic 1K(Standard 1K)(7byte UID)	不要
	NXP Semiconductors Mifare Classic 1K(4byte NUID)	

ソニー RC-S380/S、ソニー RC-S300/S、ソニー RC-S300/S1 のドライバのインストール手順は、「NFC ポートソフトウェア (PaSoRi ドライバ) マニュアル」を参照してください。

5.3. NEXT クライアントをインストールする



NEXT クライアントの機能を使用するには、NEXT クライアント端末設定ファイルが必要です。



NEXT クライアントのインストール実行中に、コンピューターの画面ロック、サインアウト、シャットダウンをしないでください。

正常に認証できない、NEXT セーフモードになるなどの状態になり、NEXT 緊急パスワード認証や NEXT 管理者パスワード認証でサインイン後、再インストール、バージョンアップが必要になります。

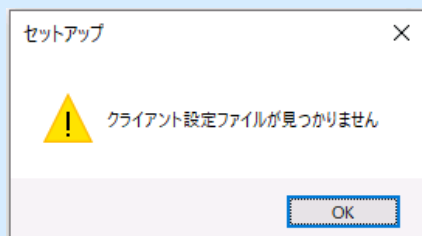
NEXT クライアントのインストール実行中に画面ロック、サインアウト、シャットダウンをした場合の復旧方法は、「付録 インストーラーのエラーメッセージ」の「NEXT クライアントインストーラー」を参照してください。

NEXT クライアントのインストールは、以下の手順で行います。

1. NEXT クライアント用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT クライアント用コンピューターの任意の場所にフォルダを作成してください。
※フォルダ名は任意とします。
3. 作成したフォルダに NEXT クライアントインストーラー「SetupNEXTClient<バージョン>.exe」と NEXT クライアント端末設定ファイル「client.json」を配置してください。
※NEXT クライアント端末設定ファイルのダウンロード方法は、「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」を参照してください。



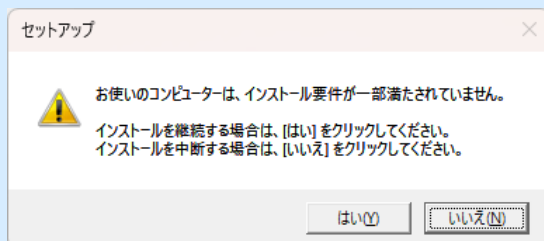
NEXT クライアント端末設定ファイルが配置されずにインストーラーを実行した場合は以下のダイアログが表示されます。



4. 「SetupNEXTClient<バージョン>.exe」を実行してください。
5. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

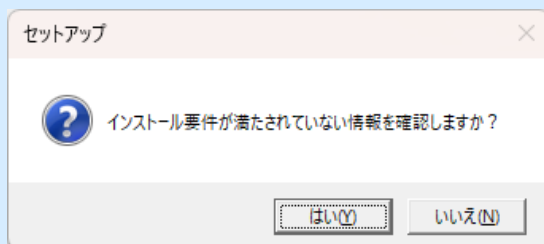


Info インストール要件を満たしていない環境でNEXT クライアントインストーラーを実行した場合は、以下の警告ダイアログが表示されます。



<はい> : 警告を無視して、インストールを継続します。

<いいえ> : インストールを中断し、以下の確認ダイアログが表示されます。

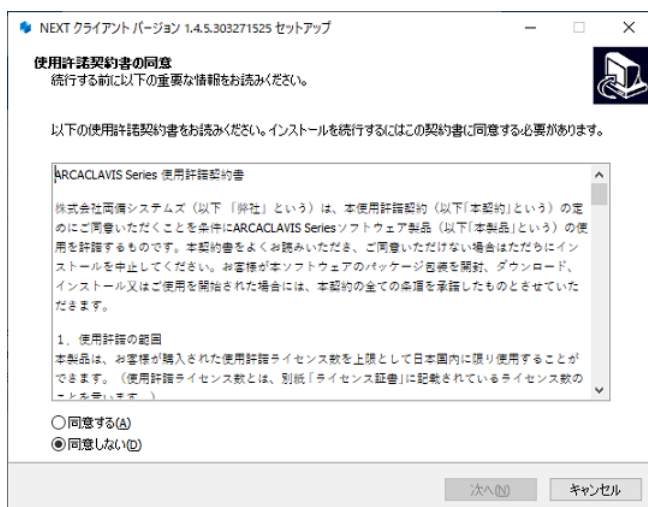


<はい> : インストール要件を満たしていない項目をテキストファイルで表示します。

詳細は、「付録 インストール要件チェック」を参照してください。

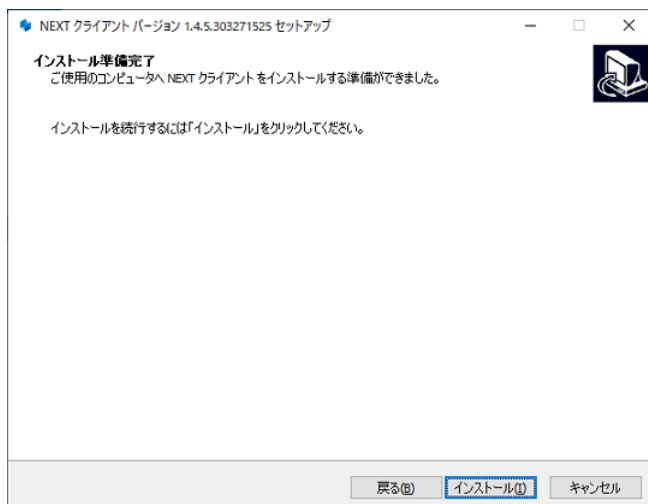
<いいえ> : インストール要件を満たしていない項目を確認せず、確認ダイアログを閉じます。

6. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

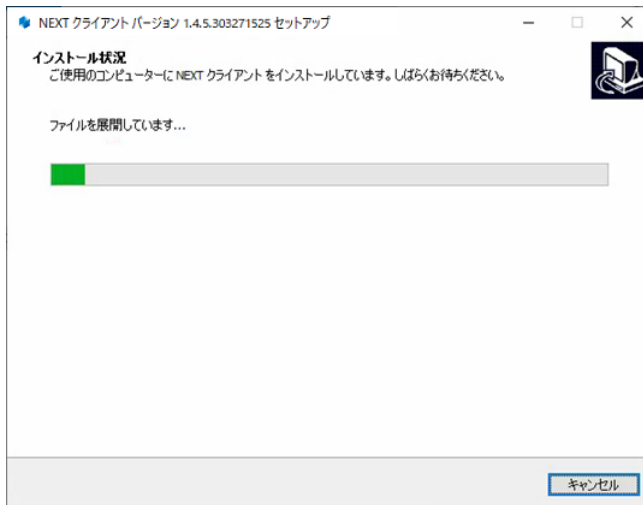


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

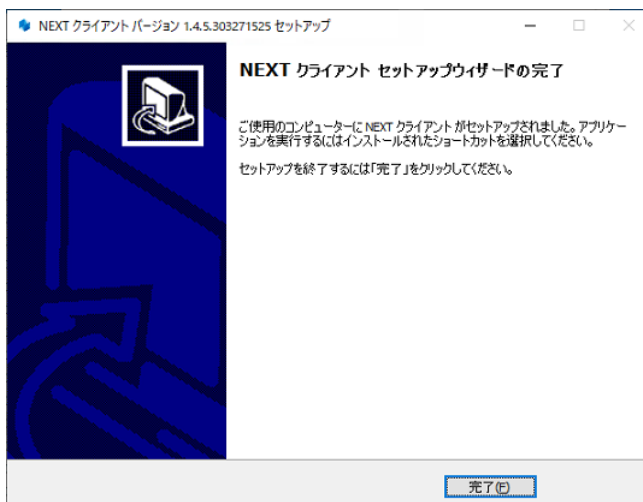
7. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



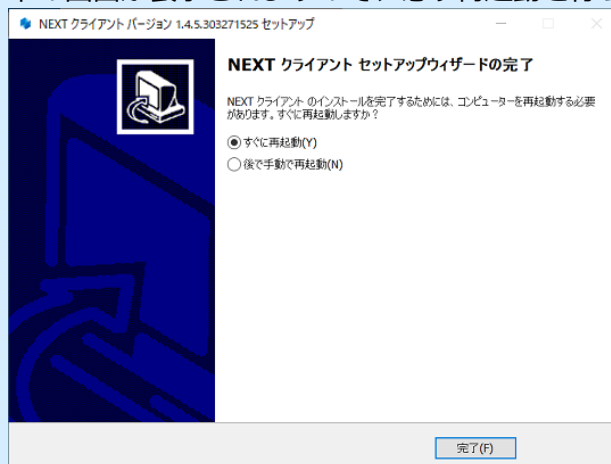
8. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。



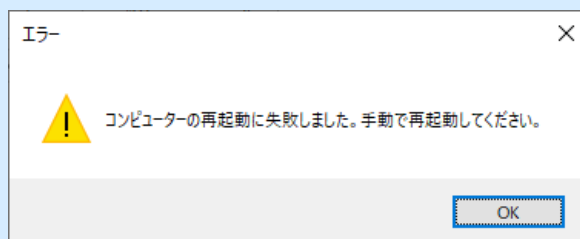
9. インストールが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT クライアントのインストール後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



5.4. NEXT クライアントにサインインする

サインインについては、「ARCACLAVIS NEXT クライアント操作ガイド」を参照してください。

5.5. NEXT クライアントをバージョンアップする



NEXT クライアントを 1.4.5 より前のバージョンから 1.4.9 以降にバージョンアップする場合は、あらかじめ NEXT サーバーを 1.4.9 以降にバージョンアップしておく必要があります。NEXT サーバーを 1.4.9 以降にバージョンアップせず NEXT クライアントを 1.4.9 以降にバージョンアップすると、顔認証が正常に行えなくなります。



NEXT クライアントを 2.0 より前のバージョンから 2.0 以降にバージョンアップする場合は、あらかじめ NEXT サーバーを 2.0 以降にバージョンアップしておく必要があります。NEXT サーバーを 2.0 以降にバージョンアップせず NEXT クライアントを 2.0 以降にバージョンアップすると、顔認証が正常に行えなくなります。

NEXT クライアントのバージョンアップは、以下の手順で行います。

1. NEXT クライアント用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT クライアント用コンピューターの任意の場所にフォルダを作成してください。
※フォルダ名は任意とします。
3. 作成したフォルダに NEXT クライアントインストーラー「SetupNEXTClient<バージョン>.exe」を配置してください。



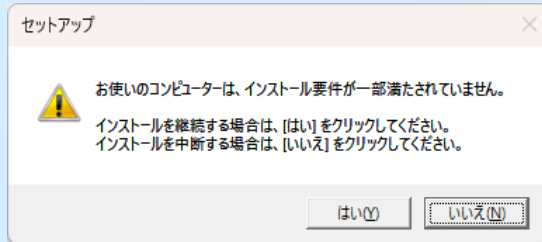
NEXT クライアント端末設定ファイルが配置されている場合は、クライアント設定が更新されます。クライアント設定を変更しない場合は、NEXT クライアント端末設定ファイルを配置しないでください。

4. 「SetupNEXTClient<バージョン>.exe」を実行してください。

5. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

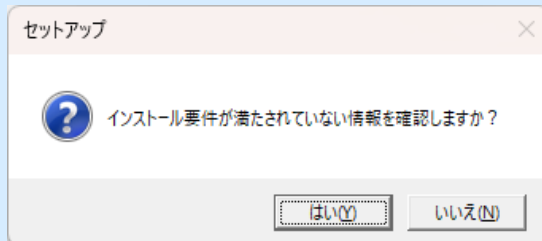


Info インストール要件を満たしていない環境で NEXT クライアントインストーラーを実行した場合は、以下の警告ダイアログが表示されます。



<はい> : 警告を無視して、インストールを継続します。

<いいえ> : インストールを中断し、以下の確認ダイアログが表示されます。



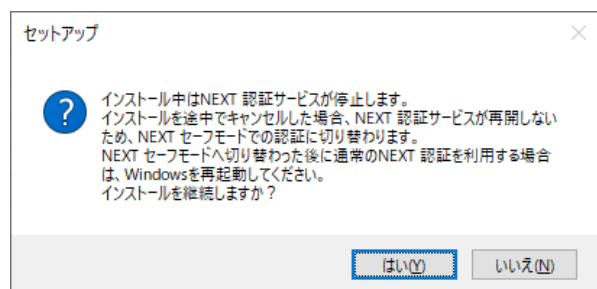
<はい> : インストール要件を満たしていない項目をテキストファイルで表示します。
詳細は、「付録 インストール要件チェック」を参照してください。

<いいえ> : インストール要件を満たしていない項目を確認せず、確認ダイアログを閉じます。

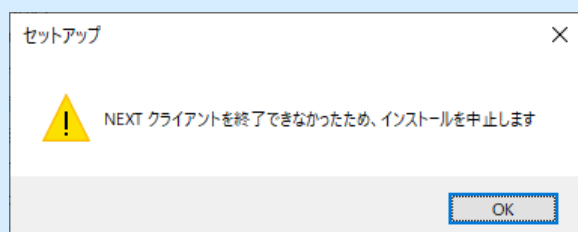
6. 下図が表示されます。NEXT クライアントのバージョンアップを継続するため、実行中の NEXT クライアントのプロセス終了を確認する画面です。バージョンアップを継続する場合は、<はい>ボタンをクリックしてください。

<はい>ボタンをクリックすると、サインイン中の別ユーザーで実行中の NEXT クライアントも終了されます。

<いいえ>ボタンをクリックすると、NEXT クライアントのバージョンアップを中止します。(NEXT クライアントは終了されません)



Info NEXT クライアントの終了に失敗した場合は、下図のプロセス終了エラーダイアログが表示され、NEXT クライアントのバージョンアップを中止します。

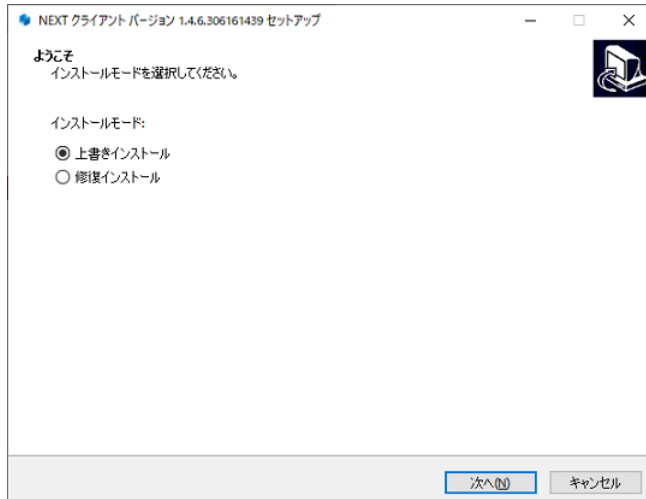


7. 下図が表示されます。「上書きインストール」、または「修復インストール」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

通常は、「上書きインストール」を選択してください。

「修復インストール」を選択した場合は、NEXT クライアントのモジュールが全て再インストールされます。

NEXT クライアントの動作が不安定になった場合は、「修復インストール」を選択してください。

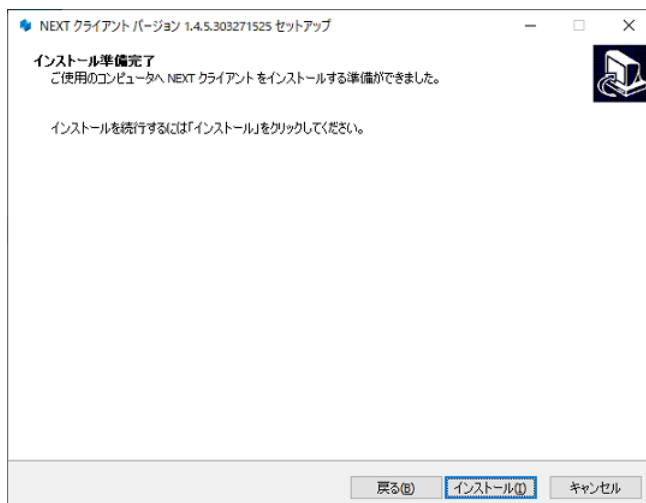


Info インストール済みの NEXT クライアントのバージョンと実行中の NEXT クライアントインストーラーのバージョンが異なる場合は、強制的にインストールモードが選択され、本画面が表示されない場合があります。

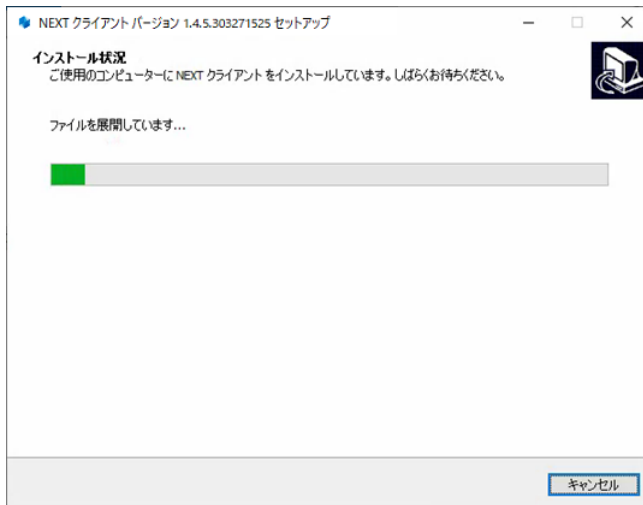
例として、以下のような状態が発生した場合、インストールモードの選択画面は表示されません。

- ・「Microsoft .NET Runtime」のメジャーバージョンアップが発生した場合
- ・製品のバージョンアップ時に不要なモジュールが残存する状態が発生した場合

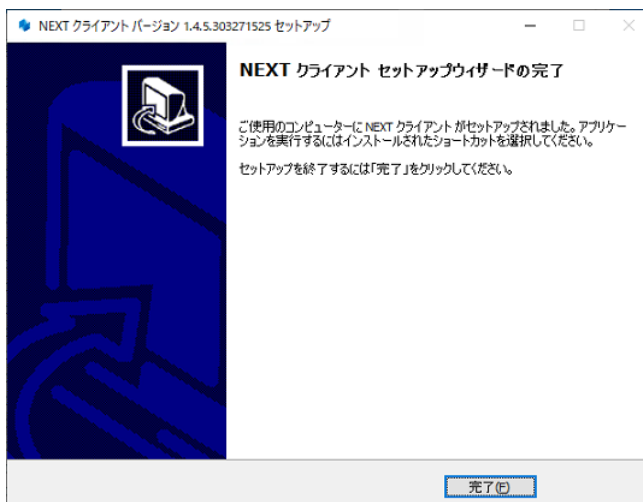
8. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



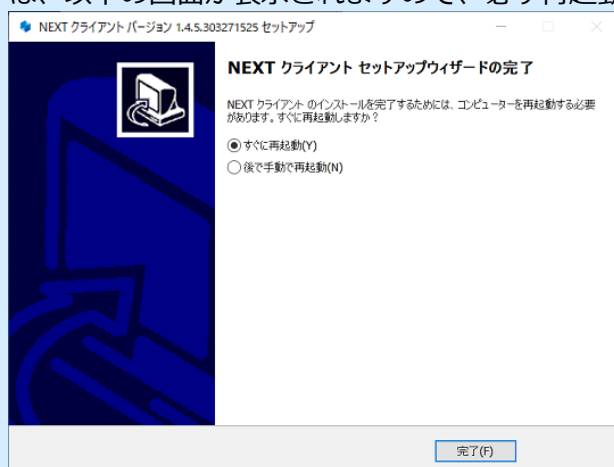
9. しばらくすると、下図が表示され、バージョンアップが開始されます。少しお待ちください。



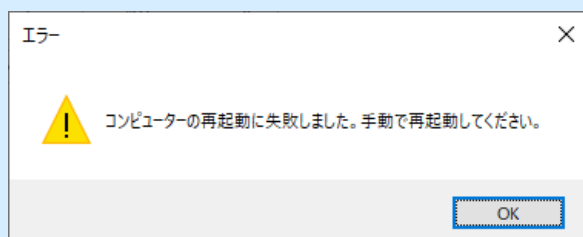
10. バージョンアップが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT クライアントのバージョンアップ後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



5.6. NEXT クライアントのインストールオプション

インストールオプションを指定して、NEXT クライアントをインストールすることもできます。

➤ 実行例

```
SetupNEXTClient<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
```

オプション値	説明
/VERYSILENT	「インストール状況」のウィンドウを表示しない
/NORESTART	インストール完了後に、システムを再起動しない ※指定がない場合、インストール完了後にシステムが再起動を必要と判断した場合は再起動されます。
/SUPPRESSMSGBOXES	メッセージボックスを表示しない（エラー発生時も含む）

Info オプション値 「/NORESTART」を使用する場合、インストール後に再起動が必要な場合でも自動で再起動はされません。
再起動を促された場合は、手動で再起動を行ってください。

Info オプション値 「/SUPPRESSMSGBOXES」を使用する場合、インストール実行時にエラーが発生していてもエラー内容が表示されません。
「echo %errorlevel%」のコマンドを実行して、必ず戻り値を確認するようにしてください。

5.6.1. サイレント新規インストール



NEXT クライアントの機能を使用するには、NEXT クライアント端末設定が必要です。



サイレントインストール時は、インストール要件を満たしていない環境で NEXT クライアントインストーラーを実行した場合でも警告ダイアログは表示されません。

1. NEXT クライアント用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT クライアント用コンピューターの任意の場所にフォルダを作成してください。
※フォルダ名は任意とします。
3. 作成したフォルダに NEXT クライアントインストーラー「SetupNEXTClient<バージョン>.exe」と NEXT クライアント端末設定ファイル「client.json」を配置してください。
※NEXT クライアント端末設定ファイルのダウンロード方法は、「ARCACLAVIS NEXT 管理者ガイド」を参照してください。
4. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
5. NEXT クライアントインストーラーの配置先のフォルダに移動します。

```
>cd {NEXT クライアントインストーラーの配置先}
```

6. インストールオプションを指定して NEXT クライアントインストーラーを実行します。

▶ 実行例

```
> SetupNEXTClient<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
```

※オプション値については、「5.6. NEXT クライアントのインストールオプション」を参照してください。

7. 上記コマンドの応答後、以下コマンドを実行し、実行の戻り値を確認します。

```
>echo %errorlevel%
```

※戻り値については、以下を確認してください。

戻り値	説明
0	セットアップが正常に終了しました。
1	セットアップを初期化できませんでした。
2	ユーザーがインストール開始前に、ウィザードで[キャンセル]をクリックするか、[これでインストールします...]メッセージボックスを開いて[いいえ]を選択しました。
3	次のインストールフェーズに進む準備中（インストール前のウィザードページの表示から実際のインストールプロセスまで等）に致命的なエラーが発生しました。 ※メモリや Windows リソースが不足するなど、異常な状況を除いて、ほぼ発生しません。

戻り値	説明
4	実際のインストールプロセス中に致命的なエラーが発生しました。 ※[中止-再試行-無視]ボックスが表示される原因となるエラーは、致命的なエラーではありません。ユーザーがそのようなメッセージボックスで[中止]を選択すると、終了コード 5 が返されます。
5	ユーザーは、実際のインストールプロセス中にキャンセルをクリック、または中止をクリックした。
6	セットアッププロセスはデバッガーによって強制的に終了されました。 (コンパイラ IDE では[実行] [終了]が使用されました)
7	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できないと判断されました。
8	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できず、問題を修正するためにシステムを再起動する必要があると判断されました。
9	初回インストールの際にクライアント設定ファイルが存在しない、またはクライアント設定ファイルの取り込みに失敗しました。
10	バージョンアップの際に NEXT クライアントの終了に失敗しました。 ※新規インストール時は、このエラーは発生しません。
1001	タスクスケジューラ「NEXTClientMonitor」、または「NEXTWebAPIServerServiceMonitor」の作成に失敗しました。
1002	インストールファイルのバックアップに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1003	インストールキャンセルによるロールバックに成功しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1004	インストールキャンセルによるロールバックに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1005	インストール済みの NEXT クライアントより古いバージョンの NEXT クライアントインストーラーが実行されました。
2001	デスクトップセッションが複数起動している状態で NEXT クライアントインストーラーが実行されました。
2002	NEXT クライアント(無料版)がインストールされているコンピューターで NEXT クライアントインストーラーが実行されました。

8. 戻り値が「0」の場合、コンピューターを再起動してください。
※「0」以外の場合は、NEXT クライアントが正常にインストールできていない為、再度インストールが必要です。

Info 以下のようなインストールバッチファイルを作成して実行することもできます。

例 : Setup.bat

```
@echo off
SetupNEXTClient<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
if %errorlevel%==0 (
    echo NEXTClient Install OK.
) else (
    echo NEXTClient Install NG. ErrCode:%errorlevel%
)
pause
```

※上記コマンドの場合、インストールバッチファイルはNEXT クライアントインストーラーと同じフォルダに配置してください。

5.6.2. サイレントバージョンアップインストール

手順は、サイレント新規インストール手順と同様です。

「5.6.1. サイレント新規インストール」を参照してください。

バージョンアップ時にNEXT クライアント端末設定ファイルが配置されている場合は、クライアント設定が更新されます。クライアント設定を変更しない場合は、クライアント端末設定ファイルを配置しないでください。

Info サイレントインストールでバージョンアップを行う場合は、実行中のNEXT クライアントを終了してバージョンアップを行います。

6. NEXT 離席モニター

NEXT 離席モニター機能を使用する場合は、NEXT クライアントがインストールされているコンピューターに NEXT 離席モニターをインストールしてください。

6.1. NEXT 離席モニターをインストールする

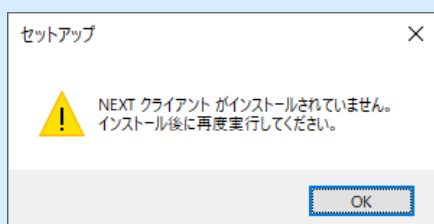
Info NEXT 離席モニター機能で顔認証を行うためには、NEXT 離席モニターをインストールするコンピューターに顔認証用のランタイムがインストールされている必要があります。顔認証用のランタイムのインストール手順は、「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。

NEXT 離席モニターのインストールは、以下の手順で行います。

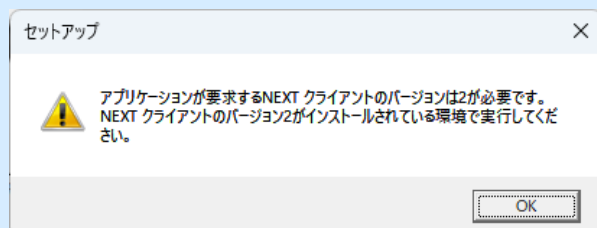
1. NEXT クライアントがインストールされているコンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 離席モニターインストーラー「SetupNEXTFaceMonitor<バージョン>.exe」を任意の場所に配置してください。
3. 「SetupNEXTFaceMonitor<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。



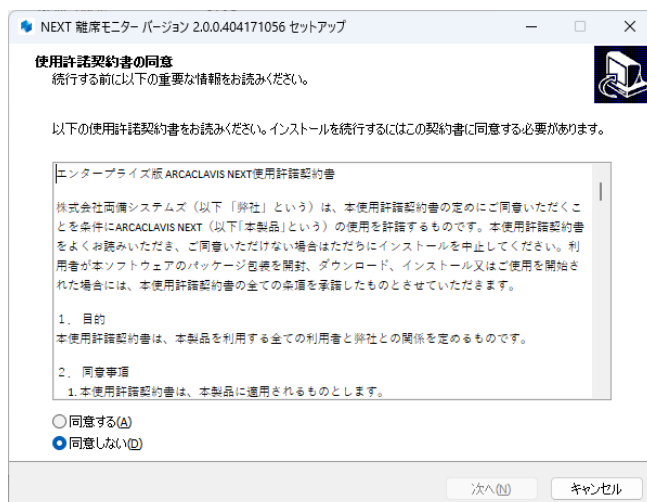
Info NEXT 離席モニターのインストールを行うには、NEXT クライアントのインストールが完了している必要があります。NEXT クライアントのインストールが完了していない場合は、NEXT 離席モニターインストーラー実行時に以下のエラーが表示され、NEXT 離席モニターをインストールすることができません。



Info インストール済のNEXT クライアントのメジャーバージョンとNEXT 離席モニターインストーラーのメジャーバージョンが異なっている場合は、以下のエラーが表示され、NEXT 離席モニターをインストールすることができません。
 ※下記は、v1.x.xのNEXT クライアントがインストールされている環境にv2.x.xのNEXT 離席モニターインストーラーを実行した場合の例です。

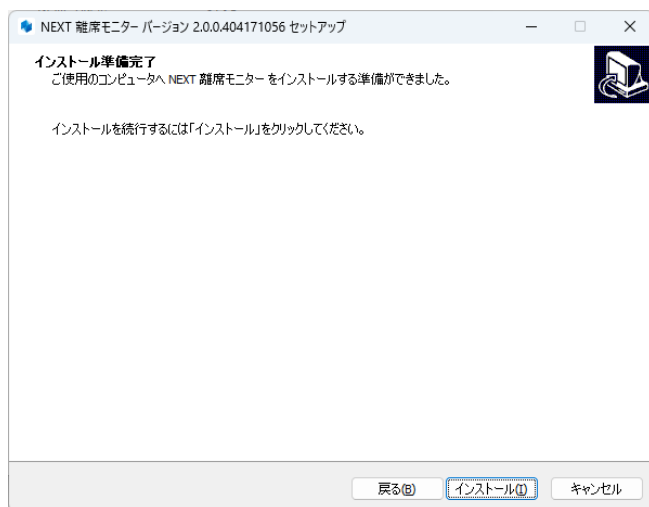


5. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

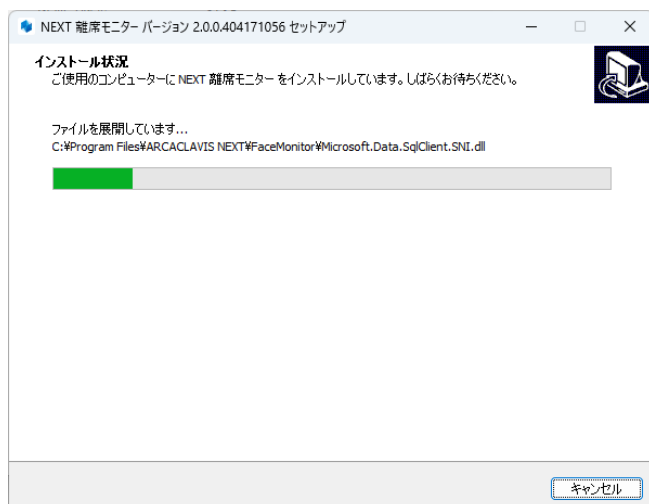


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

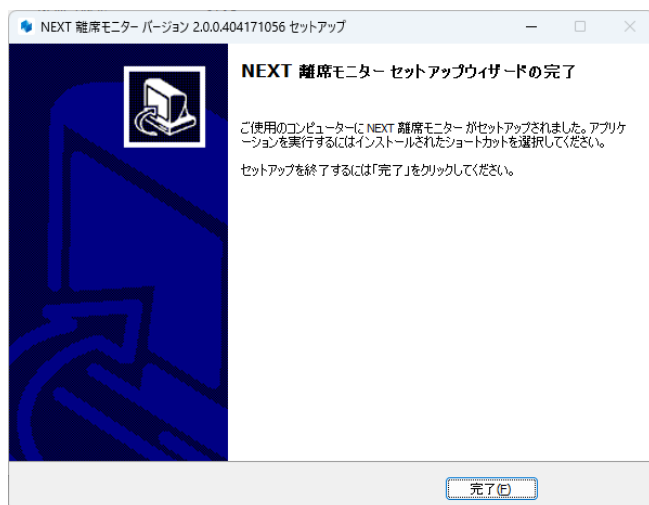
6. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



7. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。

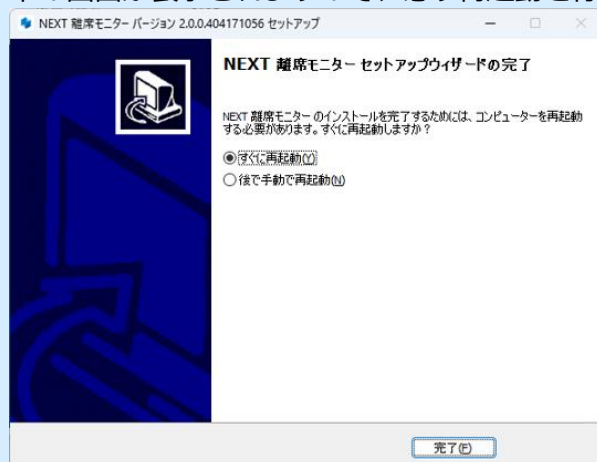


8. インストールが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。

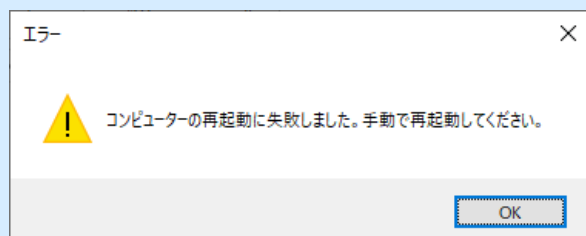


Info <完了>ボタンをクリックすると、NEXT 離席モニターが自動で起動されます。

Info NEXT 離席モニターのインストール後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



6.2. NEXT 離席モニターをバージョンアップする

NEXT 離席モニターのバージョンアップは、以下の手順で行います。

1. バージョンアップ対象のコンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 離席モニターインストーラー「SetupNEXTFaceMonitor<バージョン>.exe」をバージョンアップ対象のコンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTFaceMonitor<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

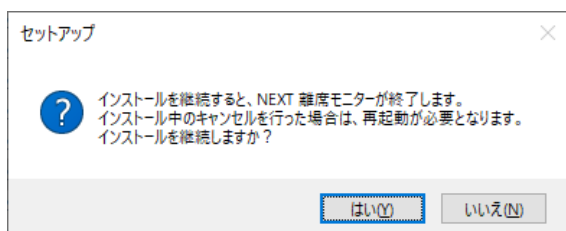


5. 下図が表示されます。NEXT 離席モニターのバージョンアップを継続するため、実行中の NEXT 離席モニターのプロセス終了を確認する画面です。バージョンアップを継続する場合は、<はい>ボタンをクリックしてください。

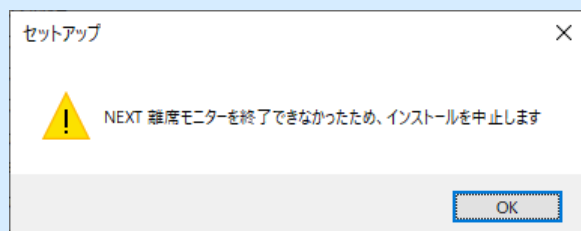
<はい>ボタンをクリックすると、サインイン中の別ユーザーで実行中の NEXT 離席モニターも終了されます。

<いいえ>ボタンをクリックすると、NEXT 離席モニターのバージョンアップを中止します。

(NEXT 離席モニターは終了されません)



Info NEXT 離席モニターの終了に失敗した場合は、下図のプロセス終了エラーダイアログが表示され、NEXT 離席モニターのバージョンアップを中止します。

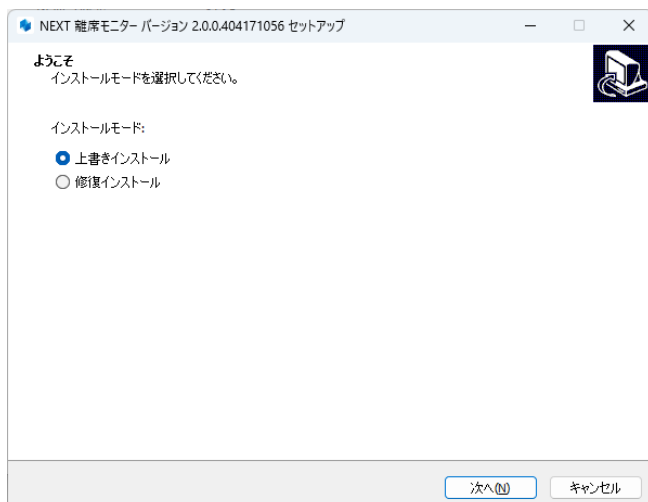


6. 下図が表示されます。「上書きインストール」、または「修復インストール」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

通常は、「上書きインストール」を選択してください。

「修復インストール」を選択した場合は、NEXT 離席モニターのモジュールが全て再インストールされます。

NEXT 離席モニターの動作が不安定になった場合は、「修復インストール」を選択してください。

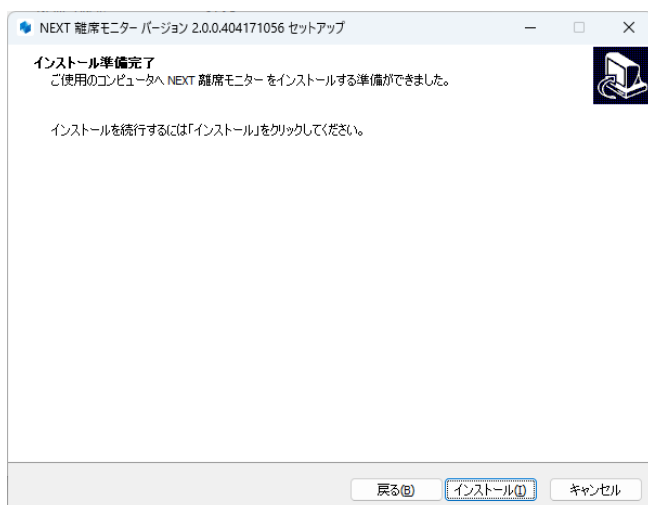


Info インストール済みの NEXT 離席モニターのバージョンと実行中の NEXT 離席モニターインストーラーのバージョンが異なる場合は、強制的にインストールモードが選択され、本画面が表示されない場合があります。

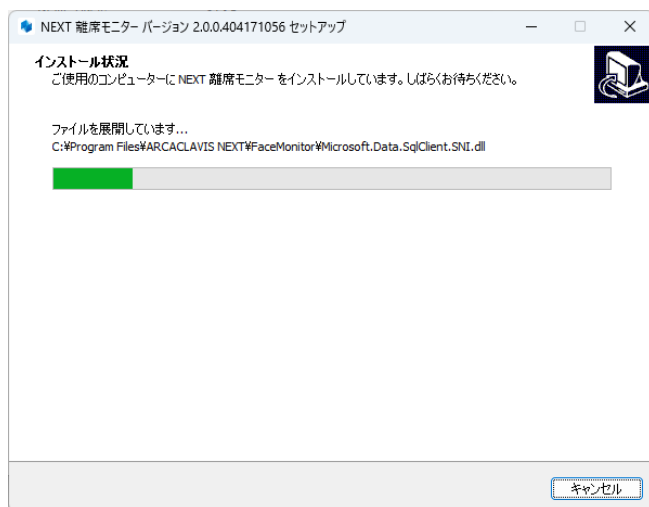
例として、以下のような状態が発生した場合、インストールモードの選択画面は表示されません。

- ・「Microsoft .NET Runtime」のメジャーバージョンアップが発生した場合
- ・製品のバージョンアップ時に不要なモジュールが残存する状態が発生した場合

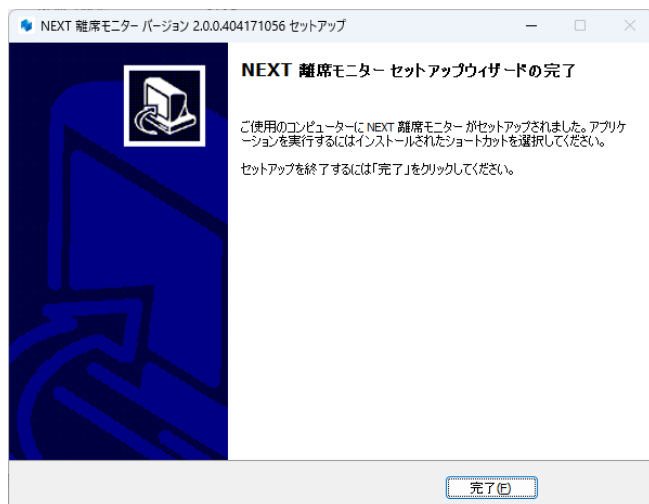
7. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



8. しばらくすると、下図が表示され、バージョンアップが開始されます。少しお待ちください。



9. バージョンアップが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。

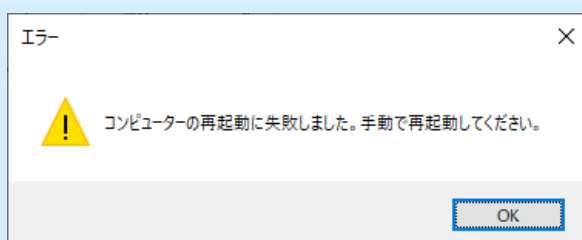


Info <完了>ボタンをクリックすると、NEXT 離席モニターが自動で起動されます。

Info NEXT 離席モニターのインストール後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



6.3. NEXT 離席モニターのインストールオプション

インストールオプションを指定して、NEXT 離席モニターをインストールすることもできます。

➤ 実行例

```
SetupNEXTFaceMonitor<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
```

オプション値	説明
/VERYSILENT	「インストール状況」のウィンドウを表示しない
/NORESTART	インストール完了後に、システムを再起動しない ※指定がない場合、インストール完了後にシステムが再起動を必要と判断した場合は再起動されます。
/SUPPRESSMSGBOXES	メッセージボックスを表示しない（エラー発生時も含む）

Info オプション値 「/NORESTART」を使用する場合、インストール後に再起動が必要な場合でも自動で再起動はされません。
再起動を促された場合は、手動で再起動を行ってください。

Info オプション値 「/SUPPRESSMSGBOXES」を使用する場合、インストール実行時にエラーが発生していてもエラー内容が表示されません。
「echo %errorlevel%」のコマンドを実行して、必ず戻り値を確認するようにしてください。

Info NEXT 離席モニターをサイレントインストールでインストールした場合は、NEXT 離席モニターは自動で起動されません。
起動させる場合は、スタートメニューの「ARCACLAVIS NEXT」 - 「NEXT 離席モニター」を実行してください。

6.3.1. サイレント新規インストール

Info NEXT 離席モニター機能を使用する場合は、NEXT クライアントがインストールされている必要があります。

Info NEXT 離席モニター機能で顔認証を行うためには、NEXT 離席モニターをインストールするコンピュータに顔認証用のランタイムがインストールされている必要があります。顔認証用のランタイムのインストール手順は、「RS OLFACE インストールマニュアル」を参照してください。

1. NEXT クライアントがインストールされているコンピュータに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 離席モニターインストーラー「SetupNEXTFaceMonitor<バージョン>.exe」を任意の場所に配置してください。
3. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
4. NEXT 離席モニターインストーラーの配置先のフォルダに移動します。

```
>cd {NEXT 離席モニターインストーラーの配置先}
```

5. インストールオプションを指定して NEXT 離席モニターインストーラーを実行します。
 - 実行例

```
> SetupNEXTFaceMonitor<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
```

※オプション値については、「6.3. NEXT 離席モニターのインストールオプション」を参照してください。

6. 上記コマンドの応答後、以下コマンドを実行し、実行の戻り値を確認します。

```
>echo %errorlevel%
```

※戻り値については、以下を確認してください。

戻り値	説明
0	セットアップが正常に終了しました。
1	セットアップを初期化できませんでした。
2	ユーザーがインストール開始前に、ウィザードで[キャンセル]をクリックするか、[これでインストールします...]メッセージボックスを開いて[いいえ]を選択しました。
3	次のインストールフェーズに進む準備中（インストール前のウィザードページの表示から実際のインストールプロセスまで等）に致命的なエラーが発生しました。 ※メモリや Windows リソースが不足するなど、異常な状況を除いて、ほぼ発生しません。

戻り値	説明
4	実際のインストールプロセス中に致命的なエラーが発生しました。 ※[中止-再試行-無視]ボックスが表示される原因となるエラーは、致命的なエラーではありません。ユーザーがそのようなメッセージボックスで[中止]を選択すると、終了コード 5 が返されます。
5	ユーザーは、実際のインストールプロセス中にキャンセルをクリック、または中止をクリックした。
6	セットアッププロセスはデバッガーによって強制的に終了されました。 (コンパイラ IDE では[実行] [終了]が使用されました)
7	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できないと判断されました。
8	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できず、問題を修正するためにシステムを再起動する必要があると判断されました。
10	バージョンアップの際に NEXT 離席モニターの終了に失敗しました。 ※新規インストール時は、このエラーは発生しません。
1002	インストールファイルのバックアップに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1003	インストールキャンセルによるロールバックに成功しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1004	インストールキャンセルによるロールバックに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1005	インストール済みの NEXT 離席モニターより古いバージョンの NEXT 離席モニターインストーラーが実行されました。
5001	NEXT クライアントがインストールされていないコンピューターで NEXT 離席モニターインストーラーが実行されました。
5002	NEXT クライアントと異なるメジャーバージョンの NEXT 離席モニターインストーラーが実行されました。

7. 戻り値が「0」の場合、コンピューターを再起動してください。

※「0」以外の場合は、NEXT 離席モニターが正常にインストールできていない為、再度インストールが必要です。

Info 以下のようなインストールバッチファイルを作成して実行することもできます。

例 : Setup.bat

```
@echo off
SetupNEXTFaceMonitor<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
if %errorlevel%==0 (
    echo NEXTFaceMonitor Install OK.
) else (
    echo NEXTFaceMonitor Install NG. ErrCode:%errorlevel%
)
pause
```

※上記コマンドの場合、インストールバッチファイルはNEXT 離席モニターインストーラーと同じフォルダに配置してください。

6.3.2. サイレントバージョンアップインストール

手順は、サイレント新規インストール手順と同様です。

「6.3.1. サイレント新規インストール」を参照してください。

Info サイレントインストールでバージョンアップを行う場合は、実行中のNEXT 離席モニターを終了してバージョンアップを行います。サインイン中の別ユーザーで実行中のNEXT 離席モニターも終了されます。

7. NEXT 自動認証クリエイター

NEXT 自動認証クリエイター機能を使用する場合は、NEXT クライアントがインストールされているコンピュータに NEXT 自動認証クリエイターをインストールしてください。

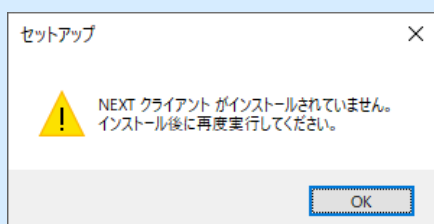
7.1. NEXT 自動認証クリエイターをインストールする

NEXT 自動認証クリエイターのインストールは、以下の手順で行います。

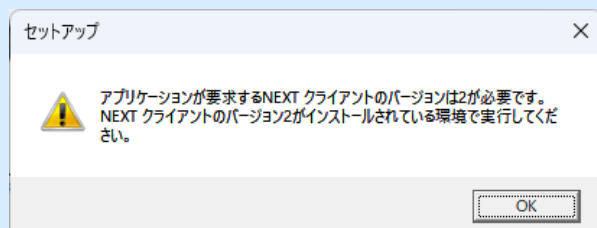
1. NEXT クライアントがインストールされているコンピュータに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 自動認証クリエイターインストーラー「SetupNEXTAutoAuth_Creator<バージョン>.exe」を任意の場所に配置してください。
3. 「SetupNEXTAutoAuth_Creator<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。



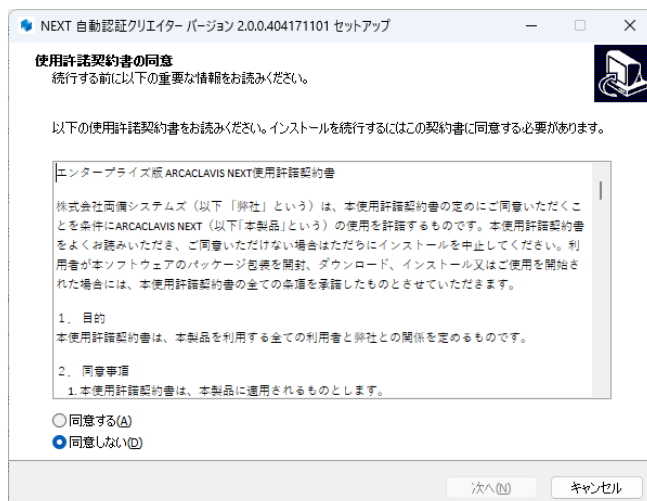
Info NEXT 自動認証クリエイターのインストールを行うには、NEXT クライアントのインストールが完了している必要があります。
NEXT クライアントのインストールが完了していない場合は、NEXT 自動認証クリエイターインストーラー実行時に以下のエラーが表示され、NEXT 自動認証クリエイターをインストールすることができません。



Info インストール済のNEXT クライアントのメジャーバージョンとNEXT 自動認証クリエイターインストーラーのメジャーバージョンが異なっている場合は、以下のエラーが表示され、NEXT 自動認証クリエイターをインストールすることができません。
 ※下記は、v1.x.xのNEXT クライアントがインストールされている環境にv2.x.xのNEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行した場合の例です。

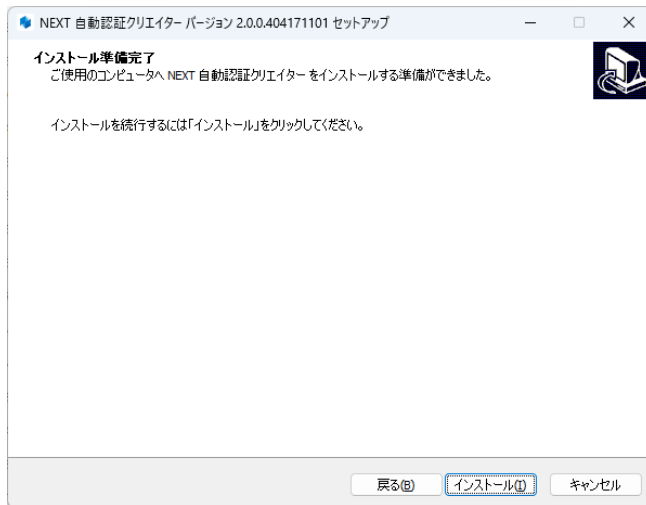


5. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

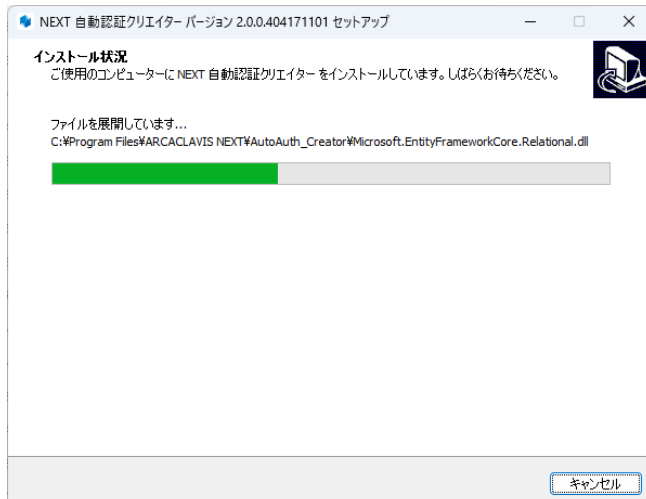


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

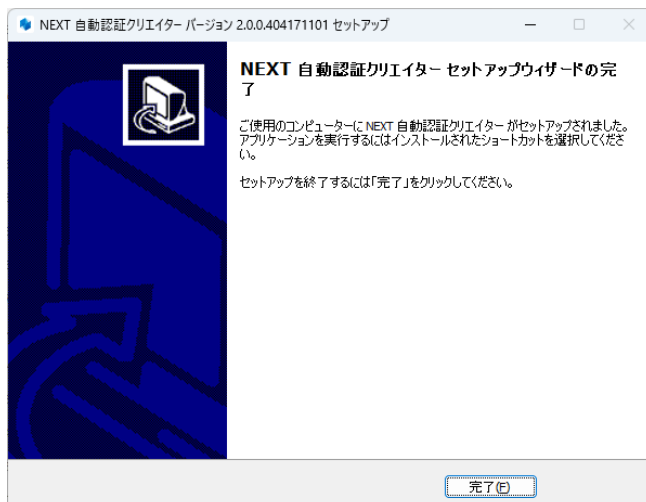
6. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



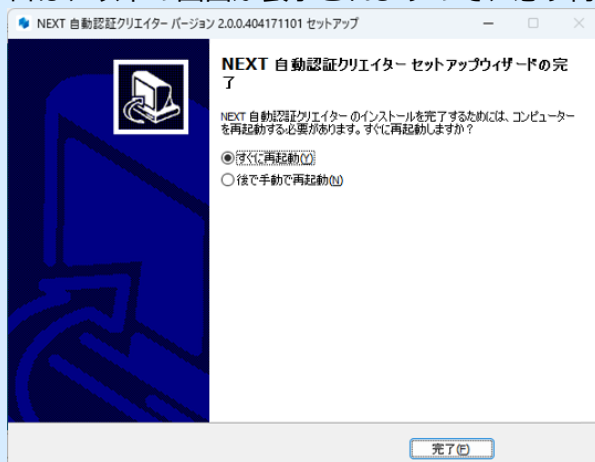
7. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。



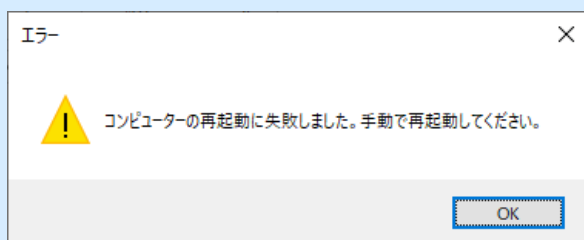
8. インストールが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT 自動認証クリエイターのインストール後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



7.2. NEXT 自動認証クリエイターをバージョンアップする

NEXT 自動認証クリエイターのバージョンアップは、以下の手順で行います。

1. バージョンアップ対象のコンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 自動認証クリエイターインストーラー「SetupNEXTAutoAuth_Creator<バージョン>.exe」をバージョンアップ対象のコンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTAutoAuth_Creator<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

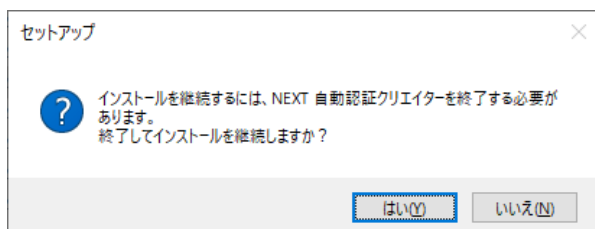


5. 下図が表示されます。NEXT 自動認証クリエイターのバージョンアップを継続するため、実行中の NEXT 自動認証クリエイターのプロセス終了を確認する画面です。バージョンアップを継続する場合は、<はい>ボタンをクリックしてください。

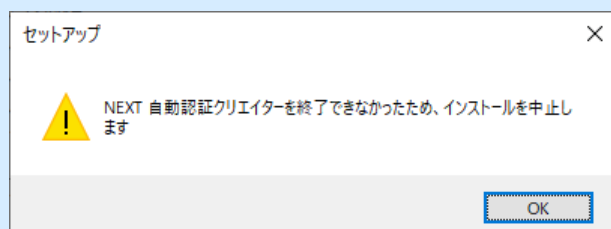
<はい>ボタンをクリックすると、サインイン中の別ユーザーで実行中の NEXT 自動認証クリエイターも終了されます。

<いいえ>ボタンをクリックすると、NEXT 自動認証クリエイターのバージョンアップを中止します。

(NEXT 自動認証クリエイターは終了されません)



Info NEXT 自動認証クリエイターの終了に失敗した場合は、下図のプロセス終了エラーダイアログが表示され、NEXT 自動認証クリエイターのバージョンアップを中止します。

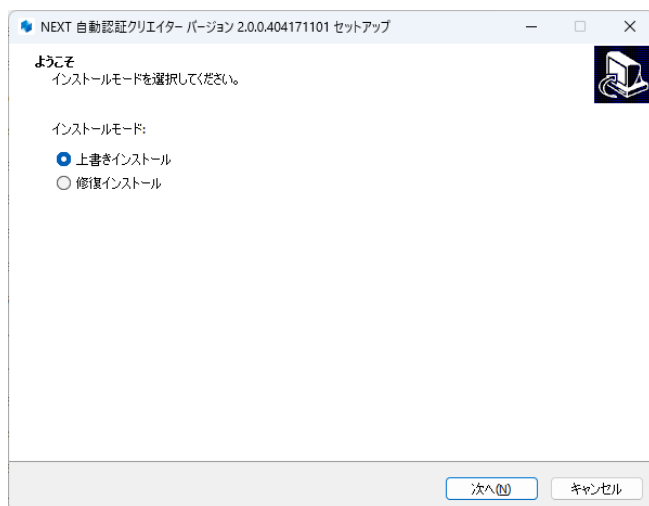


6. 下図が表示されます。「上書きインストール」、または「修復インストール」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

通常は、「上書きインストール」を選択してください。

「修復インストール」を選択した場合は、NEXT 自動認証クリエイターのモジュールが全て再インストールされます。

NEXT 自動認証クリエイターの動作が不安定になった場合は、「修復インストール」を選択してください。

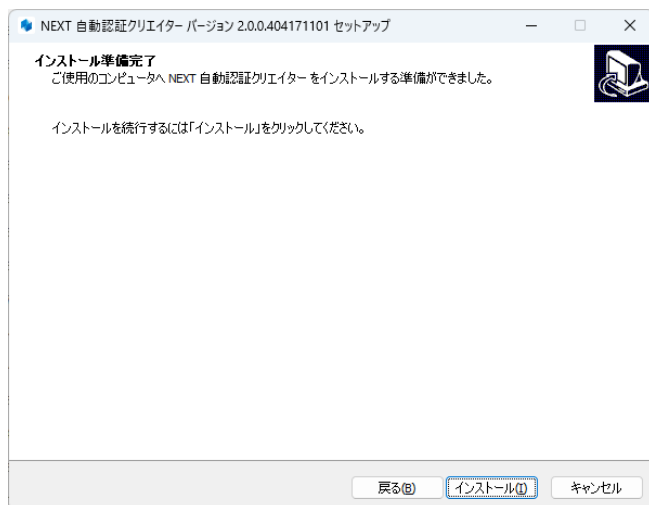


Info インストール済みの NEXT 自動認証クリエイターのバージョンと実行中の NEXT 自動認証クリエイターインストーラーのバージョンが異なる場合は、強制的にインストールモードが選択され、本画面が表示されない場合があります。

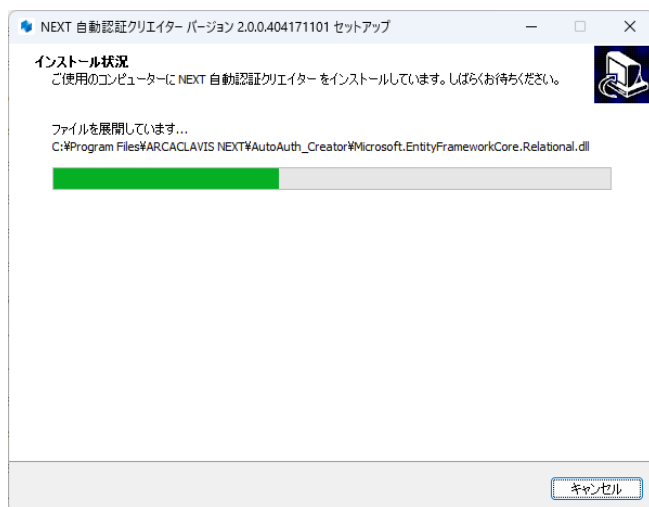
例として、以下のような状態が発生した場合、インストールモードの選択画面は表示されません。

- ・「Microsoft .NET Runtime」のメジャーバージョンアップが発生した場合
- ・製品のバージョンアップ時に不要なモジュールが残存する状態が発生した場合

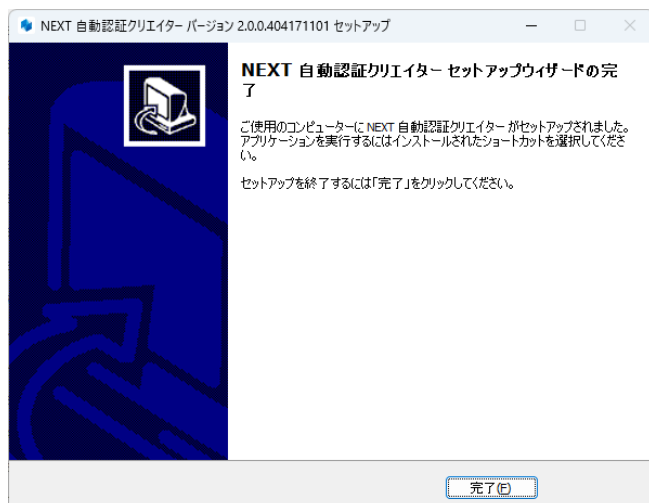
7. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



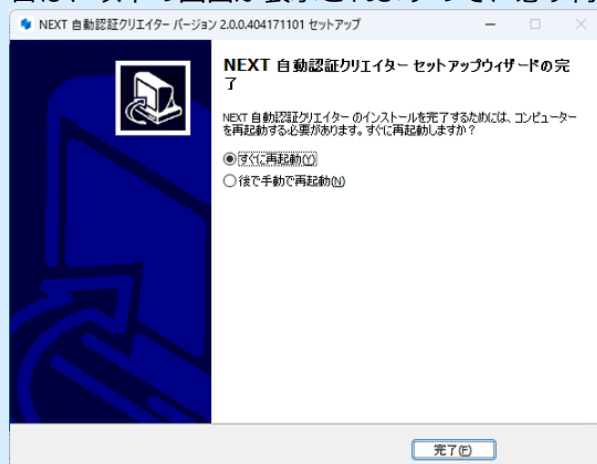
8. しばらくすると、下図が表示され、バージョンアップが開始されます。少しお待ちください。



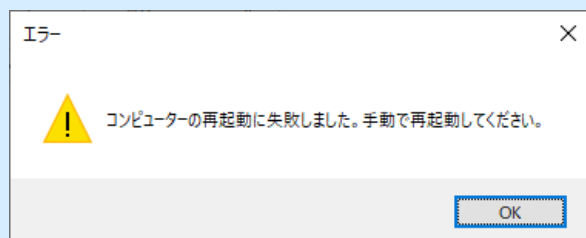
9. バージョンアップが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT 自動認証クリエイターのインストール後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



7.3. NEXT 自動認証クリエイターのインストールオプション

インストールオプションを指定して、NEXT 自動認証クリエイターをインストールすることもできます。

➤ 実行例

```
SetupNEXTAutoAuth_Creator<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
```

オプション値	説明
/VERYSILENT	「インストール状況」のウィンドウを表示しない
/NORESTART	インストール完了後に、システムを再起動しない ※指定がない場合、インストール完了後にシステムが再起動を必要と判断した場合は再起動されます。
/SUPPRESSMSGBOXES	メッセージボックスを表示しない（エラー発生時も含む）

Info オプション値 「/NORESTART」を使用する場合、インストール後に再起動が必要な場合でも自動で再起動はされません。
再起動を促された場合は、手動で再起動を行ってください。

Info オプション値 「/SUPPRESSMSGBOXES」を使用する場合、インストール実行時にエラーが発生していてもエラー内容が表示されません。
「echo %errorlevel%」のコマンドを実行して、必ず戻り値を確認するようにしてください。

7.3.1. サイレント新規インストール

Info NEXT 自動認証クリエイター機能を使用する場合は、NEXT クライアントがインストールされている必要があります。

1. NEXT クライアントがインストールされているコンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 自動認証クリエイターインストーラー「SetupNEXTAutoAuth_Creator<バージョン>.exe」を任意の場所に配置してください。
3. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
4. NEXT 自動認証クリエイターインストーラーの配置先のフォルダに移動します。

```
>cd {NEXT 自動認証クリエイターインストーラーの配置先}
```

5. インストールオプションを指定して NEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行します。

▶ 実行例

```
> SetupNEXTAutoAuth_Creator<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
```

※オプション値については、「7.3. NEXT 自動認証クリエイターのインストールオプション」を参照してください。

6. 上記コマンドの応答後、以下コマンドを実行し、実行の戻り値を確認します。

```
>echo %errorlevel%
```

※戻り値については、以下を確認してください。

戻り値	説明
0	セットアップが正常に終了しました。
1	セットアップを初期化できませんでした。
2	ユーザーがインストール開始前に、ウィザードで[キャンセル]をクリックするか、[これでインストールします...]メッセージボックスを開いて[いいえ]を選択しました。
3	次のインストールフェーズに進む準備中（インストール前のウィザードページの表示から実際のインストールプロセスまで等）に致命的なエラーが発生しました。 ※メモリや Windows リソースが不足するなど、異常な状況を除いて、ほぼ発生しません。
4	実際のインストールプロセス中に致命的なエラーが発生しました。 ※[中止-再試行-無視]ボックスが表示される原因となるエラーは、致命的なエラーではありません。ユーザーがそのようなメッセージボックスで[中止]を選択すると、終了コード 5 が返されます。
5	ユーザーは、実際のインストールプロセス中にキャンセルをクリック、または中止をクリックした。
6	セットアッププロセスはデバッガーによって強制的に終了されました。 (コンパイラ IDE では[実行] [終了]が使用されました)

戻り値	説明
7	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できないと判断されました。
8	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できず、問題を修正するためにシステムを再起動する必要があると判断されました。
10	バージョンアップの際に NEXT 自動認証クリエイターの終了に失敗しました。 ※新規インストール時は、このエラーは発生しません。
1002	インストールファイルのバックアップに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1003	インストールキャンセルによるロールバックに成功しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1004	インストールキャンセルによるロールバックに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1005	インストール済みの NEXT 自動認証クリエイターより古いバージョンの NEXT 自動認証クリエイターインストーラーが実行されました。
5001	NEXT クライアントがインストールされていないコンピューターで NEXT 自動認証クリエイターインストーラーが実行されました。
5002	NEXT クライアントと異なるメジャーバージョンの NEXT 自動認証クリエイターインストーラーが実行されました。

7. 戻り値が「0」の場合、コンピューターを再起動してください。
 ※「0」以外の場合は、NEXT 自動認証クリエイターが正常にインストールできていない為、再度インストールが必要です。

Info 以下のようなインストールバッチファイルを作成して実行することもできます。

例 : Setup.bat

```
@echo off
SetupNEXTAutoAuth_Creator<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART
/SUPPRESSMSGBOXES
if %errorlevel%==0 (
    echo NEXTAutoAuth_Creator Install OK.
) else (
    echo NEXTAutoAuth_Creator Install NG. ErrCode:%errorlevel%
)
pause
```

※上記コマンドの場合、インストールバッチファイルは NEXT 自動認証クリエイターインストーラーと同じフォルダに配置してください。

7.3.2. サイレントバージョンアップインストール

手順は、サイレント新規インストール手順と同様です。

「7.3.1. サイレント新規インストール」を参照してください。

Info サイレントインストールでバージョンアップを行う場合は、実行中のNEXT 自動認証クリエイターを終了してバージョンアップを行います。サインイン中の別ユーザーで実行中のNEXT 自動認証クリエイターも終了されます。

8. NEXT 自動認証プレイヤー

NEXT 自動認証プレイヤー機能を使用する場合は、NEXT クライアントがインストールされているコンピューターに NEXT 自動認証プレイヤーをインストールしてください。

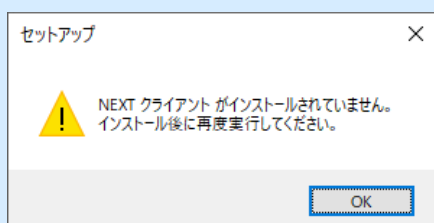
8.1. NEXT 自動認証プレイヤーをインストールする

NEXT 自動認証プレイヤーのインストールは、以下の手順で行います。

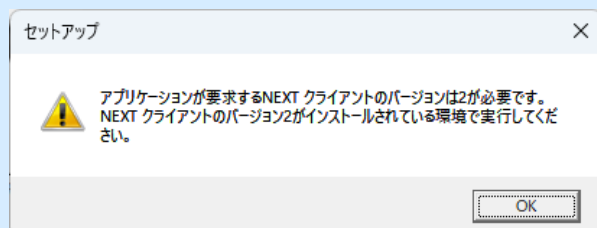
1. NEXT クライアントがインストールされているコンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 自動認証プレイヤーインストーラー「SetupNEXTAutoAuth_Player<バージョン>.exe」を任意の場所に配置してください。
3. 「SetupNEXTAutoAuth_Player<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。



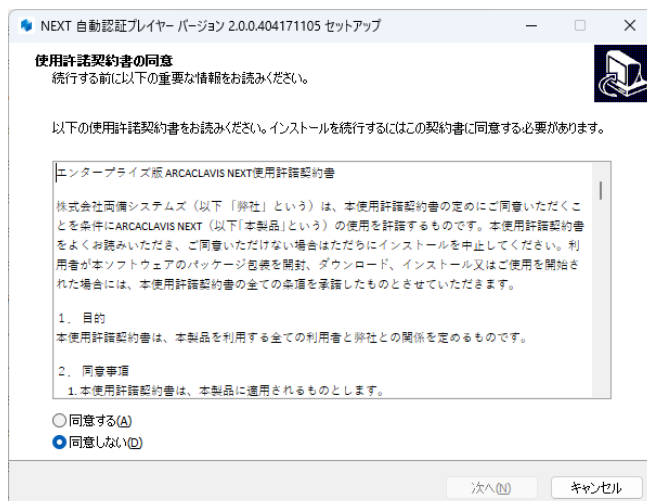
Info NEXT 自動認証プレイヤーのインストールを行うには、NEXT クライアントのインストールが完了している必要があります。
NEXT クライアントのインストールが完了していない場合は、NEXT 自動認証プレイヤーインストーラー実行時に以下のエラーが表示され、NEXT 自動認証プレイヤーをインストールすることができません。



Info インストール済のNEXT クライアントのメジャーバージョンとNEXT 自動認証プレイヤーインストーラーのメジャーバージョンが異なっている場合は、以下のエラーが表示され、NEXT 自動認証プレイヤーをインストールすることができません。
 ※下記は、v1.x.x のNEXT クライアントがインストールされている環境に v2.x.x のNEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行した場合の例です。

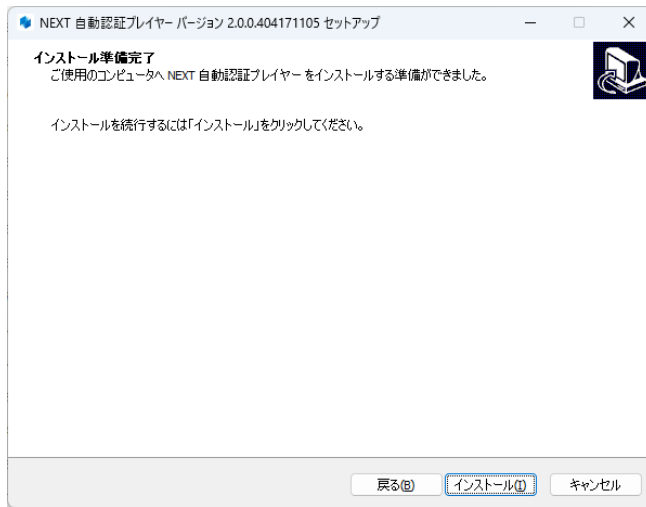


5. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

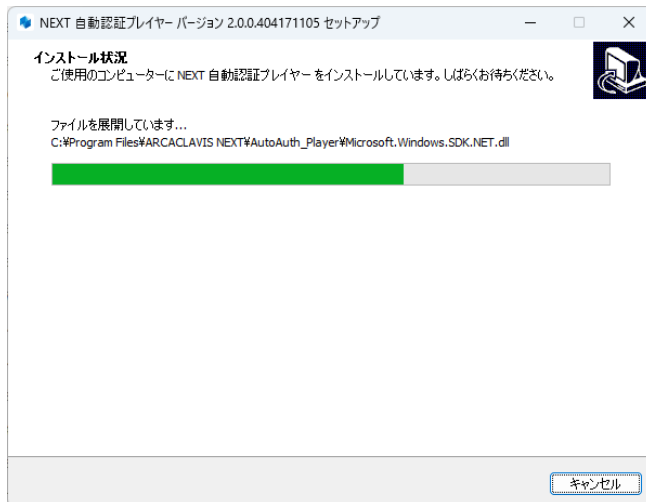


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

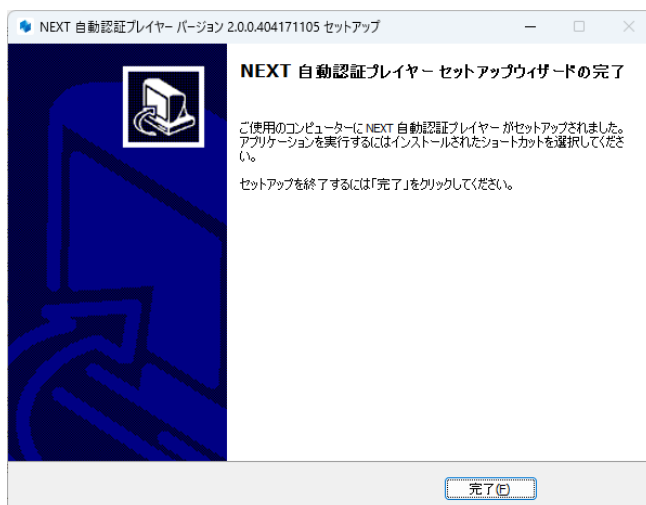
6. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



7. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。



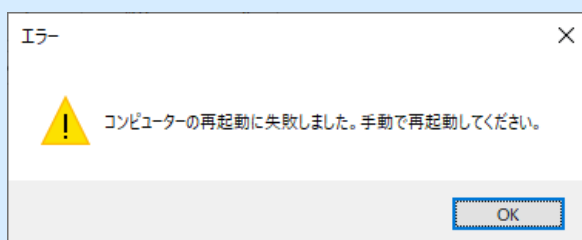
8. インストールが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT 自動認証プレイヤーのインストール後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



8.2. NEXT 自動認証プレイヤーをバージョンアップする

NEXT 自動認証プレイヤーのバージョンアップは、以下の手順で行います。

1. バージョンアップ対象のコンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 自動認証プレイヤーインストーラー「SetupNEXTAutoAuth_Player<バージョン>.exe」をバージョンアップ対象のコンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTAutoAuth_Player<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

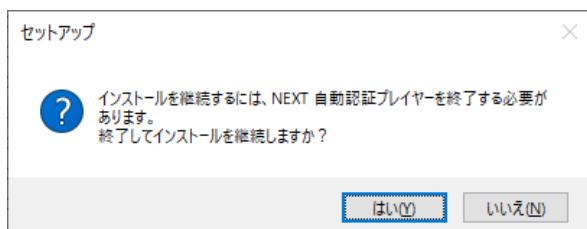


5. 下図が表示されます。NEXT 自動認証プレイヤーのバージョンアップを継続するため、実行中の NEXT 自動認証プレイヤーのプロセス終了を確認する画面です。バージョンアップを継続する場合は、<はい>ボタンをクリックしてください。

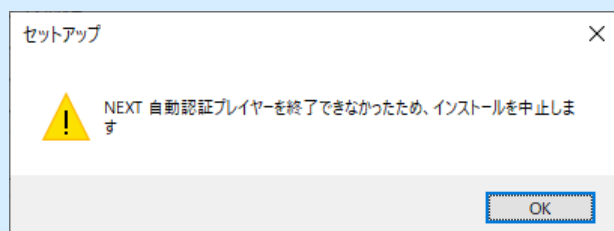
<はい>ボタンをクリックすると、サインイン中の別ユーザーで実行中の NEXT 自動認証プレイヤーも終了されます。

<いいえ>ボタンをクリックすると、NEXT 自動認証プレイヤーのバージョンアップを中止します。

(NEXT 自動認証プレイヤーは終了されません)



Info NEXT 自動認証プレイヤーの終了に失敗した場合は、下図のプロセス終了エラーダイアログが表示され、NEXT 自動認証プレイヤーのバージョンアップを中止します。

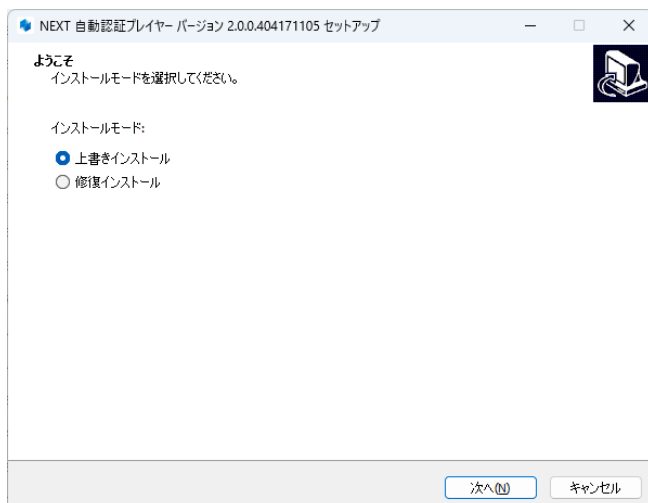


6. 下図が表示されます。「上書きインストール」、または「修復インストール」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

通常は、「上書きインストール」を選択してください。

「修復インストール」を選択した場合は、NEXT 自動認証プレイヤーのモジュールが全て再インストールされます。

NEXT 自動認証プレイヤーの動作が不安定になった場合は、「修復インストール」を選択してください。

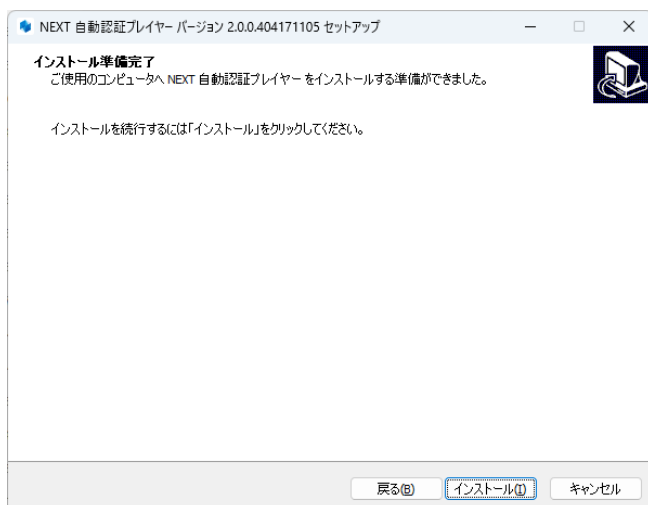


Info インストール済みの NEXT 自動認証プレイヤーのバージョンと実行中の NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーのバージョンが異なる場合は、強制的にインストールモードが選択され、本画面が表示されない場合があります。

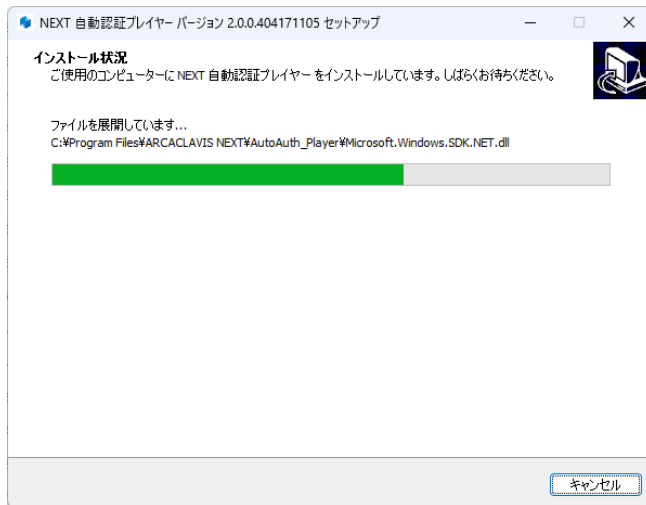
例として、以下のような状態が発生した場合、インストールモードの選択画面は表示されません。

- ・「Microsoft .NET Runtime」のメジャーバージョンアップが発生した場合
- ・製品のバージョンアップ時に不要なモジュールが残存する状態が発生した場合

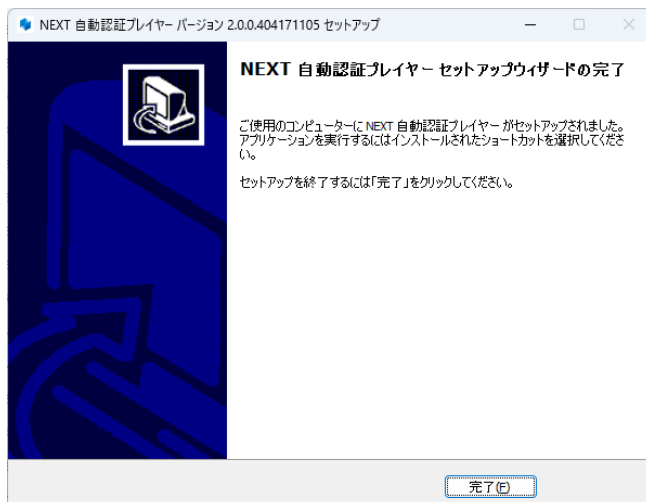
7. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



8. しばらくすると、下図が表示され、バージョンアップが開始されます。少しお待ちください。



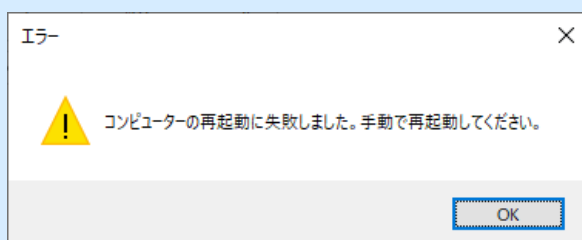
9. バージョンアップが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT 自動認証プレイヤーのインストール後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



8.3. NEXT 自動認証プレイヤーのインストールオプション

インストールオプションを指定して、NEXT 自動認証プレイヤーをインストールすることもできます。

➤ 実行例

```
SetupNEXTAutoAuth_Player<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
```

オプション値	説明
/VERYSILENT	「インストール状況」のウィンドウを表示しない
/NORESTART	インストール完了後に、システムを再起動しない ※指定がない場合、インストール完了後にシステムが再起動を必要と判断した場合は再起動されます。
/SUPPRESSMSGBOXES	メッセージボックスを表示しない（エラー発生時も含む）

Info オプション値 「/NORESTART」を使用する場合、インストール後に再起動が必要な場合でも自動で再起動はされません。
再起動を促された場合は、手動で再起動を行ってください。

Info オプション値 「/SUPPRESSMSGBOXES」を使用する場合、インストール実行時にエラーが発生していてもエラー内容が表示されません。
「echo %errorlevel%」のコマンドを実行して、必ず戻り値を確認するようにしてください。

8.3.1. サイレント新規インストール

Info NEXT 自動認証プレイヤー機能を使用する場合は、NEXT クライアントがインストールされている必要があります。

1. NEXT クライアントがインストールされているコンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 自動認証プレイヤーインストーラー「SetupNEXTAutoAuth_Player<バージョン>.exe」を任意の場所に配置してください。
3. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
4. NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーの配置先のフォルダに移動します。

```
>cd {NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーの配置先}
```

5. インストールオプションを指定して NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行します。

➤ 実行例

```
> SetupNEXTAutoAuth_Player<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
```

※オプション値については、「8.3. NEXT 自動認証プレイヤーのインストールオプション」を参照してください。

6. 上記コマンドの応答後、以下コマンドを実行し、実行の戻り値を確認します。

```
>echo %errorlevel%
```

※戻り値については、以下を確認してください。

戻り値	説明
0	セットアップが正常に終了しました。
1	セットアップを初期化できませんでした。
2	ユーザーがインストール開始前に、ウィザードで[キャンセル]をクリックするか、[これでインストールします...]メッセージボックスを開いて[いいえ]を選択しました。
3	次のインストールフェーズに進む準備中（インストール前のウィザードページの表示から実際のインストールプロセスまで等）に致命的なエラーが発生しました。 ※メモリや Windows リソースが不足するなど、異常な状況を除いて、ほぼ発生しません。
4	実際のインストールプロセス中に致命的なエラーが発生しました。 ※[中止-再試行-無視]ボックスが表示される原因となるエラーは、致命的なエラーではありません。ユーザーがそのようなメッセージボックスで[中止]を選択すると、終了コード 5 が返されます。
5	ユーザーは、実際のインストールプロセス中にキャンセルをクリック、または中止をクリックした。
6	セットアッププロセスはデバッガーによって強制的に終了されました。 (コンパイラ IDE では[実行] [終了]が使用されました)

戻り値	説明
7	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できないと判断されました。
8	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できず、問題を修正するためにシステムを再起動する必要があると判断されました。
10	バージョンアップの際に NEXT 自動認証プレイヤーの終了に失敗しました。 ※新規インストール時は、このエラーは発生しません。
1002	インストールファイルのバックアップに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1003	インストールキャンセルによるロールバックに成功しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1004	インストールキャンセルによるロールバックに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1005	インストール済みの NEXT 自動認証プレイヤーより古いバージョンの NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーが実行されました。
5001	NEXT クライアントがインストールされていないコンピュータで NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーが実行されました。
5002	NEXT クライアントと異なるメジャーバージョンの NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーが実行されました。

7. 戻り値が「0」の場合、コンピューターを再起動してください。
 ※「0」以外の場合は、NEXT 自動認証プレイヤーが正常にインストールできていない為、再度インストールが必要です。

Info 以下のようなインストールバッチファイルを作成して実行することもできます。

例 : Setup.bat

```
@echo off
SetupNEXTAutoAuth_Player<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART
/SUPPRESSMSGBOXES
if %errorlevel%==0 (
    echo NEXTAutoAuth_Player Install OK.
) else (
    echo NEXTAutoAuth_Player Install NG. ErrCode:%errorlevel%
)
pause
```

※上記コマンドの場合、インストールバッチファイルは NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーと同じフォルダに配置してください。

8.3.2. サイレントバージョンアップインストール

手順は、サイレント新規インストール手順と同様です。

「8.3.1. サイレント新規インストール」を参照してください。

Info サイレントインストールでバージョンアップを行う場合は、実行中のNEXT 自動認証プレイヤーを終了してバージョンアップを行います。サインイン中の別ユーザーで実行中のNEXT 自動認証プレイヤーも終了されます。

9. NEXT 自動認証スタンドアロン版

NEXT 自動認証スタンドアロン版は、NEXT クライアントがインストールされていない環境でもインストールが可能です。

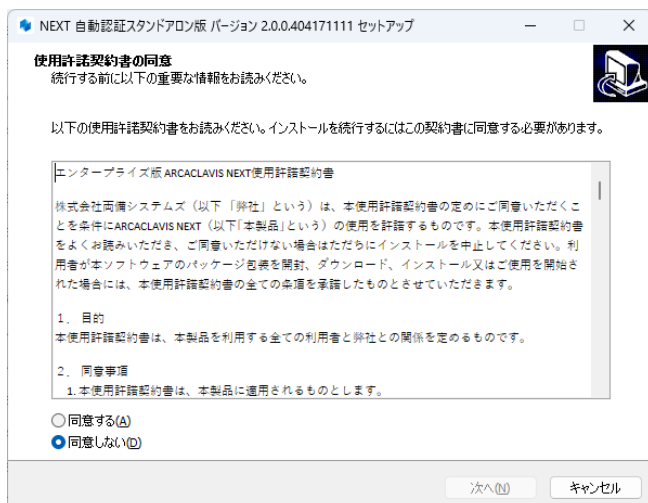
9.1. NEXT 自動認証スタンドアロン版をインストールする

NEXT 自動認証スタンドアロン版のインストールは、以下の手順で行います。

1. NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラー「SetupNEXTAutoAuth_Standalone<バージョン>.exe」を任意の場所に配置してください。
2. 「SetupNEXTAutoAuth_Standalone<バージョン>.exe」を実行してください。
3. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

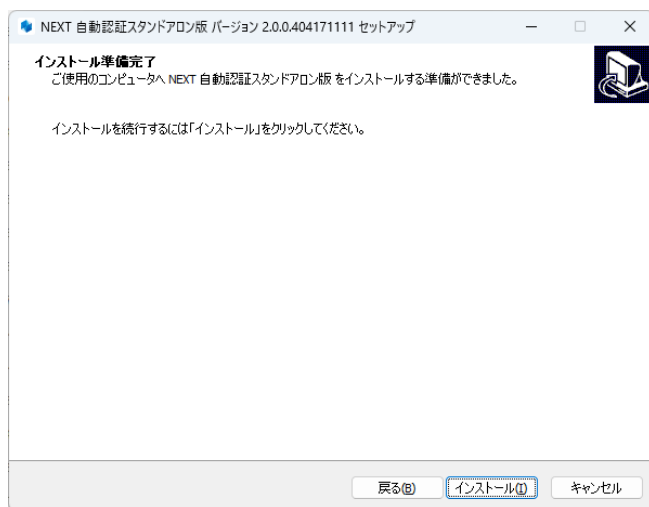


4. 下図が表示されます。使用許諾契約書をお読み頂いて内容に同意して頂ける場合は「同意する」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

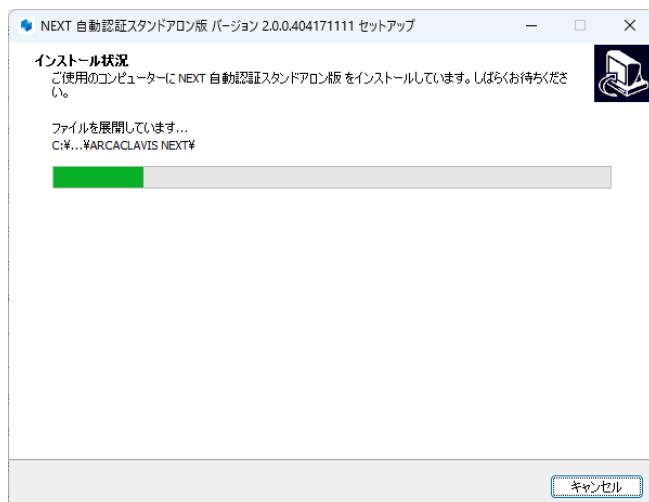


Info 使用許諾契約書の内容に同意して頂けない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

5. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



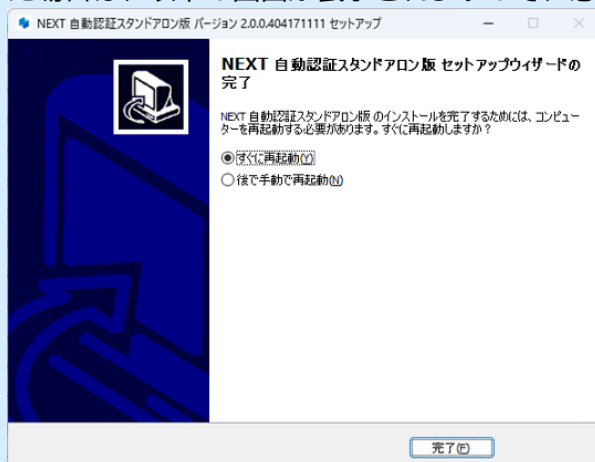
6. しばらくすると、下図が表示され、インストールが開始されます。少しお待ちください。



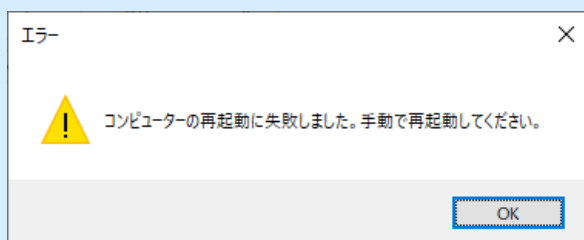
7. インストールが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT 自動認証スタンドアロン版のインストール後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



9.2. NEXT 自動認証スタンドアロン版をバージョンアップする

NEXT 自動認証スタンドアロン版のバージョンアップは、以下の手順で行います。

1. バージョンアップ対象のコンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラー「SetupNEXTAutoAuth_Standalone<バージョン>.exe」をバージョンアップ対象のコンピューターに配置してください。
3. 「SetupNEXTAutoAuth_Standalone<バージョン>.exe」を実行してください。
4. スプラッシュスクリーンが表示されます。インストールの準備をしていますので、少しお待ちください。

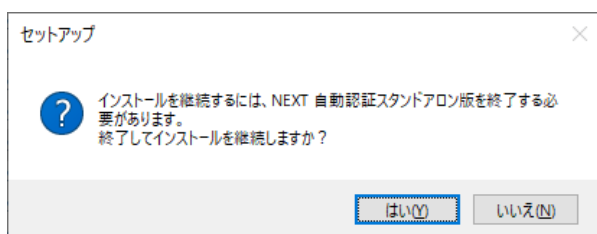


5. 下図が表示されます。NEXT 自動認証スタンドアロン版のバージョンアップを継続するため、実行中の NEXT 自動認証スタンドアロン版のプロセス終了を確認する画面です。バージョンアップを継続する場合は、<はい>ボタンをクリックしてください。

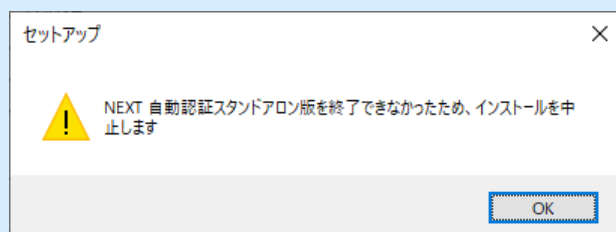
<はい>ボタンをクリックすると、サインイン中の別ユーザーで実行中の NEXT 自動認証スタンドアロン版も終了されます。

<いいえ>ボタンをクリックすると、NEXT 自動認証スタンドアロン版のバージョンアップを中止します。

(NEXT 自動認証スタンドアロン版は終了されません)



Info NEXT 自動認証スタンドアロン版の終了に失敗した場合は、下図のプロセス終了エラーダイアログが表示され、NEXT 自動認証スタンドアロン版のバージョンアップを中止します。

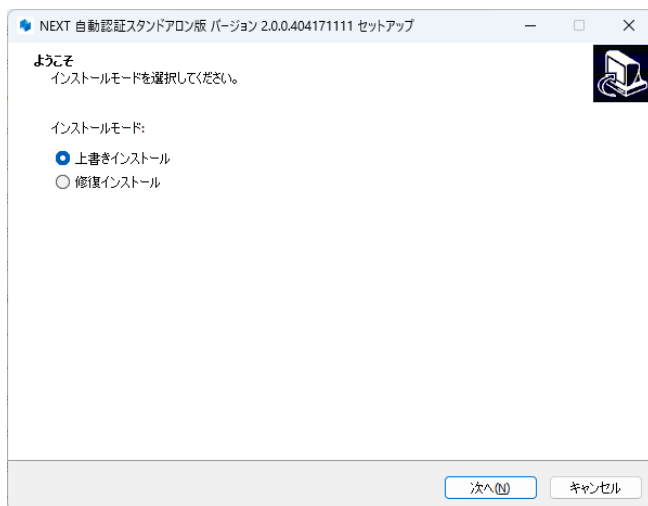


6. 下図が表示されます。「上書きインストール」、または「修復インストール」を選択して<次へ>ボタンをクリックしてください。

通常は、「上書きインストール」を選択してください。

「修復インストール」を選択した場合は、NEXT 自動認証スタンドアロン版のモジュールが全て再インストールされます。

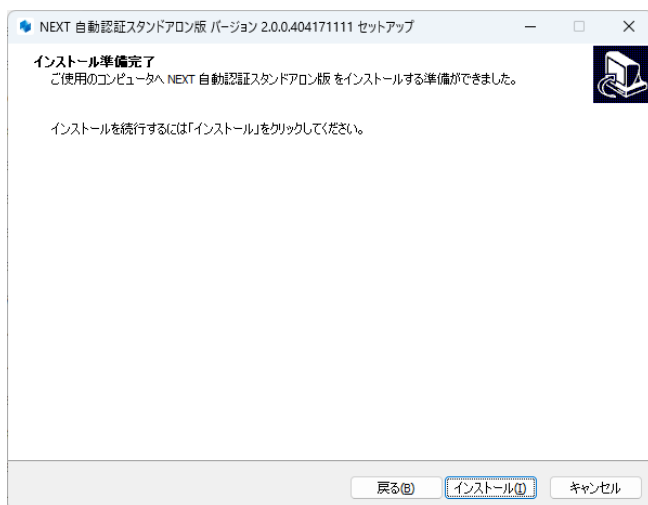
NEXT 自動認証スタンドアロン版の動作が不安定になった場合は、「修復インストール」を選択してください。



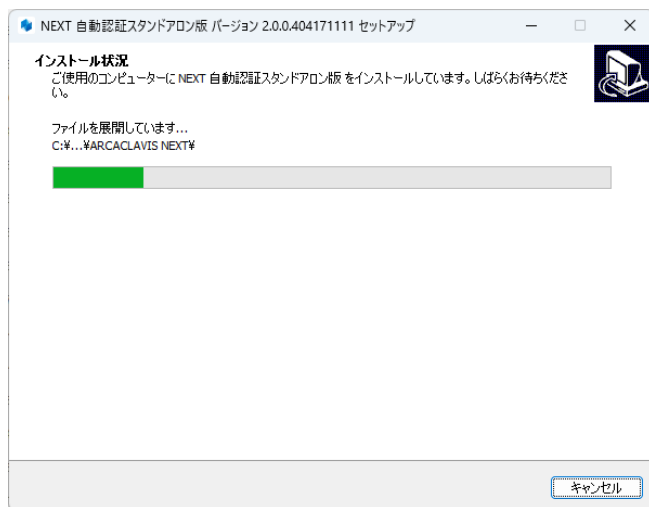
Info インストール済みの NEXT 自動認証スタンドアロン版のバージョンと実行中の NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーのバージョンが異なる場合は、強制的にインストールモードが選択され、本画面が表示されない場合があります。
例として、以下のような状態が発生した場合、インストールモードの選択画面は表示されません。

- ・「Microsoft .NET Runtime」のメジャーバージョンアップが発生した場合
- ・製品のバージョンアップ時に不要なモジュールが残存する状態が発生した場合

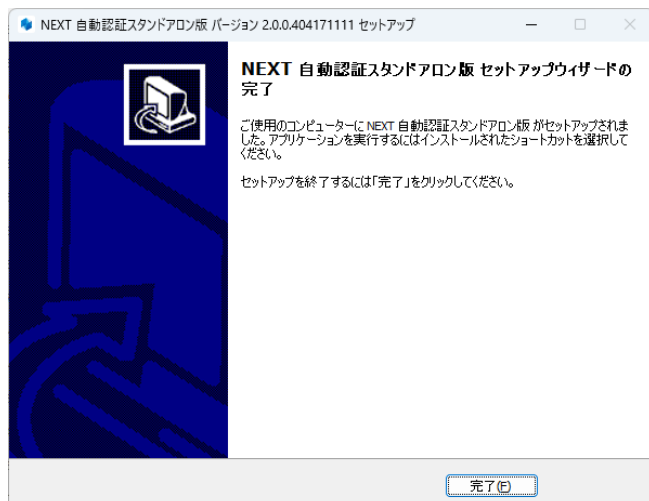
7. 下図が表示されます。<インストール>ボタンをクリックしてください。



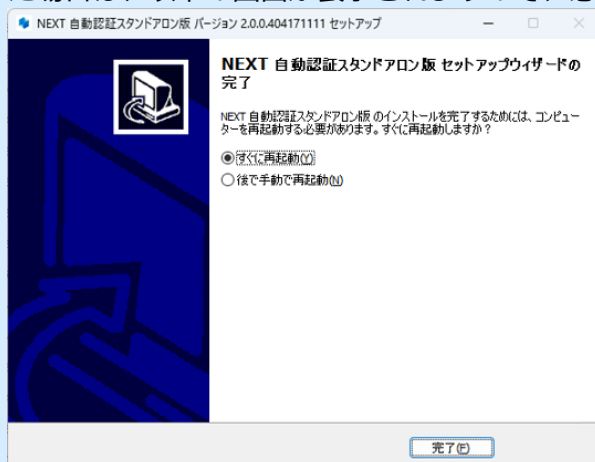
8. しばらくすると、下図が表示され、バージョンアップが開始されます。少しお待ちください。



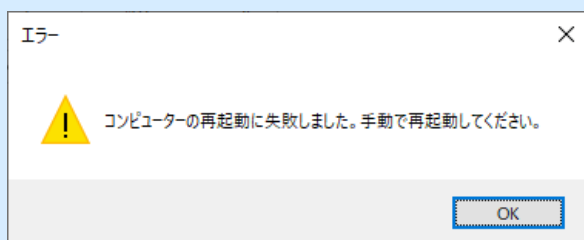
9. バージョンアップが完了すると、下図が表示されますので、<完了>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT 自動認証スタンドアロン版のインストール後、システムが再起動を必要と判断した場合は、以下の画面が表示されますので、必ず再起動を行ってください。



<すぐに再起動>を選択し、<完了>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



9.3. NEXT 自動認証スタンドアロン版のインストールオプション

インストールオプションを指定して、NEXT 自動認証スタンドアロン版をインストールすることもできます。

➤ 実行例

```
SetupNEXTAutoAuth_StandAlone<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART /SUPPRESSMSGBOXES
```

オプション値	説明
/VERYSILENT	「インストール状況」のウィンドウを表示しない
/NORESTART	インストール完了後に、システムを再起動しない ※指定がない場合、インストール完了後にシステムが再起動を必要と判断した場合は再起動されます。
/SUPPRESSMSGBOXES	メッセージボックスを表示しない（エラー発生時も含む）

Info オプション値 「/NORESTART」を使用する場合、インストール後に再起動が必要な場合でも自動で再起動はされません。
再起動を促された場合は、手動で再起動を行ってください。

Info オプション値 「/SUPPRESSMSGBOXES」を使用する場合、インストール実行時にエラーが発生していてもエラー内容が表示されません。
「echo %errorlevel%」のコマンドを実行して、必ず戻り値を確認するようにしてください。

9.3.1. サイレント新規インストール

1. NEXT 自動認証スタンドアロン版用コンピューターに Administrators 権限のユーザーでサインインしてください。
2. 任意のフォルダに NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラー「SetupNEXTAutoAuth_Standalone<バージョン>.exe」を配置してください。
3. コマンドプロンプトを管理者権限で起動してください。
4. NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーの配置先のフォルダに移動します。

```
>cd {NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーの配置先}
```

5. インストールオプションを指定して NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーを実行します。
 - 実行例

```
> SetupNEXTAutoAuth_Standalone<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART  
/SUPPRESSMSGBOXES
```

※オプション値については、「9.3. NEXT 自動認証スタンドアロン版のインストールオプション」を参照してください。

6. 上記コマンドの応答後、以下コマンドを実行し、実行の戻り値を確認します。

```
>echo %errorlevel%
```

※戻り値については、以下を確認してください。

戻り値	説明
0	セットアップが正常に終了しました。
1	セットアップを初期化できませんでした。
2	ユーザーがインストール開始前に、ウィザードで[キャンセル]をクリックするか、[これでインストールします...]メッセージボックスを開いて[いいえ]を選択しました。
3	次のインストールフェーズに進む準備中（インストール前のウィザードページの表示から実際のインストールプロセスまで等）に致命的なエラーが発生しました。 ※メモリや Windows リソースが不足するなど、異常な状況を除いて、ほぼ発生しません。
4	実際のインストールプロセス中に致命的なエラーが発生しました。 ※[中止-再試行-無視]ボックスが表示される原因となるエラーは、致命的なエラーではありません。ユーザーがそのようなメッセージボックスで[中止]を選択すると、終了コード 5 が返されます。
5	ユーザーは、実際のインストールプロセス中にキャンセルをクリック、または中止をクリックした。
6	セットアッププロセスはデバッガーによって強制的に終了されました。 (コンパイラ IDE では[実行] [終了]が使用されました)
7	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できないと判断されました。

戻り値	説明
8	インストールの準備段階で、セットアップはインストールを続行できず、問題を修正するためにシステムを再起動する必要があると判断されました。
10	バージョンアップの際に NEXT 自動認証スタンドアロン版の終了に失敗しました。 ※新規インストール時は、このエラーは発生しません。
1002	インストールファイルのバックアップに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1003	インストールキャンセルによるロールバックに成功しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1004	インストールキャンセルによるロールバックに失敗しました。 ※修復インストール以外時は、このエラーは発生しません。
1005	インストール済みの NEXT 自動認証スタンドアロン版より古いバージョンの NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーが実行されました。

7. 戻り値が「0」の場合、コンピューターを再起動してください。
 ※「0」以外の場合は、NEXT 自動認証スタンドアロン版が正常にインストールできていない為、再度インストールが必要です。

Info 以下のようなインストールバッチファイルを作成して実行することもできます。

例 : Setup.bat

```
@echo off
SetupNEXTAutoAuth_Standalone<バージョン>.exe /VERYSILENT /NORESTART
/SUPPRESSMSGBOXES
if %errorlevel%==0 (
    echo NEXTAutoAuth_Standalone Install OK.
) else (
    echo NEXTAutoAuth_Standalone Install NG. ErrCode:%errorlevel%
)
pause
```

※上記コマンドの場合、インストールバッチファイルは NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーと同じフォルダに配置してください。

9.3.2. サイレントバージョンアップインストール

手順は、サイレント新規インストール手順と同様です。

「9.3.1. サイレント新規インストール」を参照してください。

Info サイレントインストールでバージョンアップを行う場合は、実行中の NEXT 自動認証スタンドアロン版を終了してバージョンアップを行います。サインイン中の別ユーザーで実行中の NEXT 自動認証スタンドアロン版も終了されます。

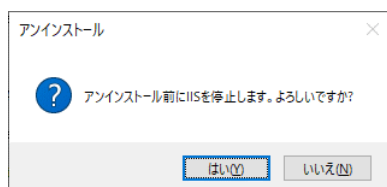
付録

アンインストール方法

NEXT サーバー

Info NEXT オールインワンサーバーをアンインストールする手順を記載していますが、他の構成のNEXT サーバーをアンインストールする場合も同様の手順となります。他の構成のNEXT サーバーをアンインストールする場合は、「4.1. NEXT サーバーのインストーラーの種類」を参照してアンインストールを行ってください。

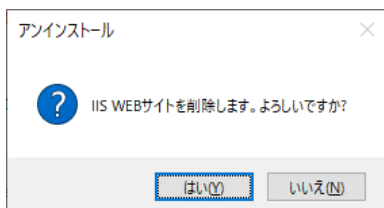
1. [アプリと機能]より「NEXT サーバー タイプ A バージョン N.N」の<アンインストール>をクリックしてください。
※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]より「NEXT サーバー タイプ A バージョン N.N」の<アンインストール>でアンインストールも可能です。
※「N」は数字
2. 下図が表示されます。「IIS 停止確認」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。



Info <いいえ>ボタンをクリックすると、アンインストールを中断します。

Info NEXT オールイン DB サーバーでインストールした場合は、IIS 停止確認ダイアログは表示されません。

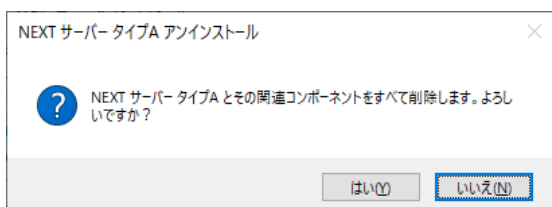
3. 下図が表示されます。「IIS Web サイト削除確認」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。



Info NEXT オールイン DB サーバーでインストールした場合は、IIS 削除確認ダイアログは表示されません。

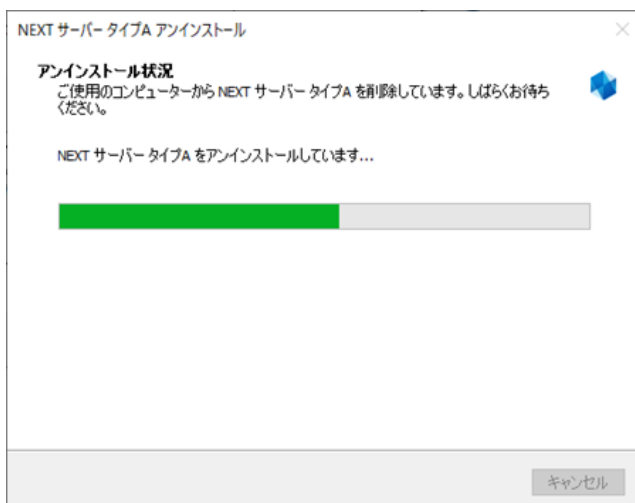
Info <いいえ>をクリックしてもアンインストールは続きます。その場合は IIS Web サイトは削除されずに残ります。

4. 下図が表示されます。「アンインストール確認」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。

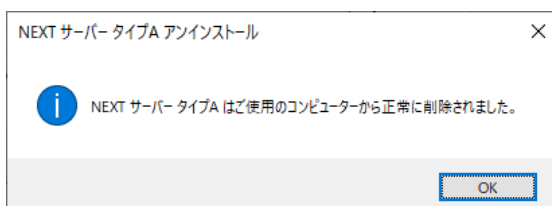


Info <いいえ>ボタンをクリックすると、アンインストールを中断します。

5. しばらくすると、下図が表示され、アンインストールが開始されます。少しお待ちください。



6. 下図が表示されます。「アンインストール完了」ダイアログが表示されるとアンインストール完了です。

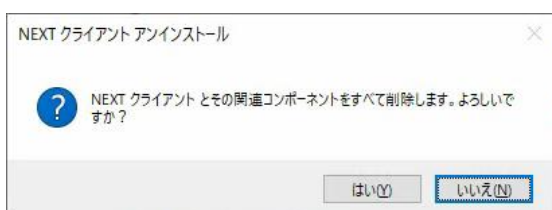


- ◆ NEXT サーバーのアンインストールで削除されないミドルウェアの削除方法について
NEXT サーバーでインストールされたミドルウェアの内、アンインストールで削除されないミドルウェアと削除方法について説明します。

削除されないミドルウェア	削除方法
Microsoft .NET 8.0.3 - Windows Server Hosting	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x64)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x86)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x64)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x86)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86) - 14.25.28508	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
PostgreSQL 13	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。 ※PostgreSQL を削除してもインストーラーで設定した「データベースの配置先」のデータフォルダは残りますので、こちらは手動で削除します。
IIS	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「サーバーマネージャー」で[管理] - [役割と機能の削除]を選択し、役割と機能の削除ウィザードを開きます。 2. 「サーバーの役割」で「Web サーバー(IIS)」のチェックを外します。 3. [次へ]でウィザードを進め、最後に[削除]で削除を実行します。

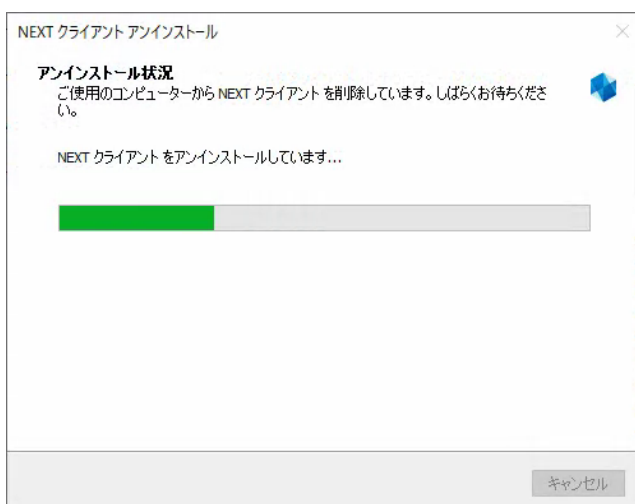
NEXT クライアント

1. [アプリと機能]より「NEXT クライアント バージョン N.N」の<アンインストール>をクリックしてください。
 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]より「NEXT クライアント バージョン N.N」の<アンインストール>でアンインストールも可能です。
 ※「N」は数字
2. 下図が表示されます。「NEXT クライアント アンインストール」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。

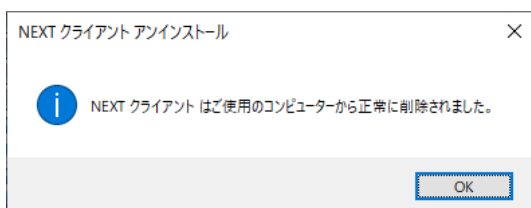


Info <いいえ>ボタンをクリックすると、アンインストールを中断します。

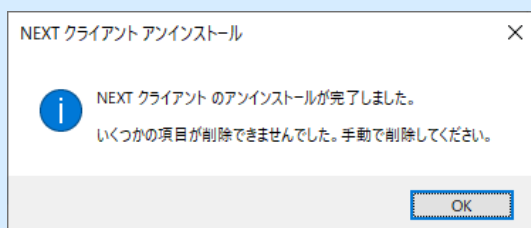
3. しばらくすると、下図が表示され、アンインストールが開始されます。少しお待ちください。



4. 下図が表示されます。「アンインストール完了」ダイアログが表示されるとアンインストール完了です。



Info アンインストール時にファイルが削除できない状態が発生した場合は、以下の画面が表示されます。
その場合は、コンピューターを再起動した後、手動で残存したファイルを削除してください。

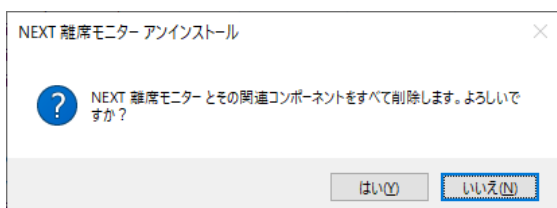


- ◆ NEXT クライアントのアンインストールで削除されないミドルウェアの削除方法について
NEXT クライアントでインストールされたミドルウェアの内、アンインストールで削除されないミドルウェアと削除方法について説明します。

削除されないミドルウェア	削除方法
Microsoft .NET Runtime - 8.0.3 (x64)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft ASP.NET Core 8.0.3 - Shared Framework (x64)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft Windows Desktop Runtime - 8.0.3 (x64)	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。
Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable (x64) - 14.40.33810	[アプリと機能]から<アンインストール>をクリックします。 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]から<アンインストール>も可能です。

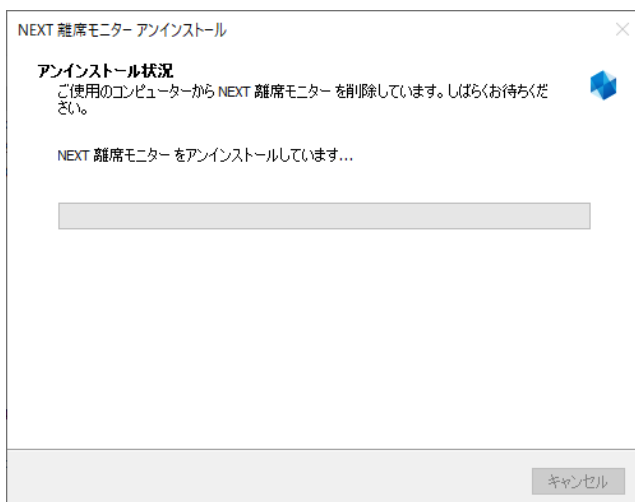
NEXT 離席モニター

1. [アプリと機能]より「NEXT 離席モニター バージョン N.N」の<アンインストール>をクリックしてください。
 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]より「NEXT 離席モニター バージョン N.N」の<アンインストール>でアンインストールも可能です。
 ※「N」は数字
2. 下図が表示されます。「NEXT 離席モニター アンインストール」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。

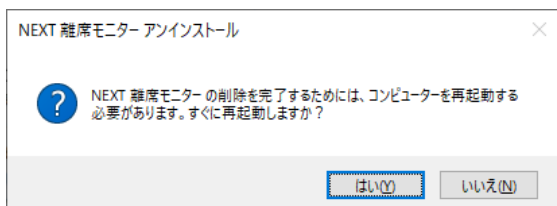


Info <いいえ>ボタンをクリックすると、アンインストールを中断します。

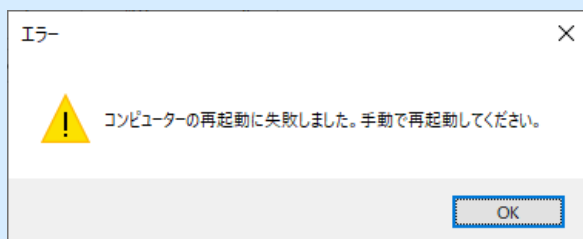
3. しばらくすると、下図が表示され、アンインストールが開始されます。少しお待ちください。



4. 下図が表示されます。アンインストールの完了には再起動が必要です。「アンインストール完了」ダイアログで<はい>ボタンをクリックして再起動してください。

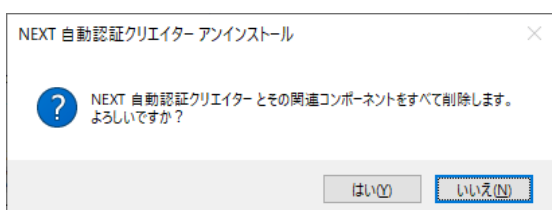


Info <はい>ボタンをクリックした場合に以下の画面が表示された場合は、スタートメニューから[電源]-[再起動]を選択して手動で再起動を行ってください。



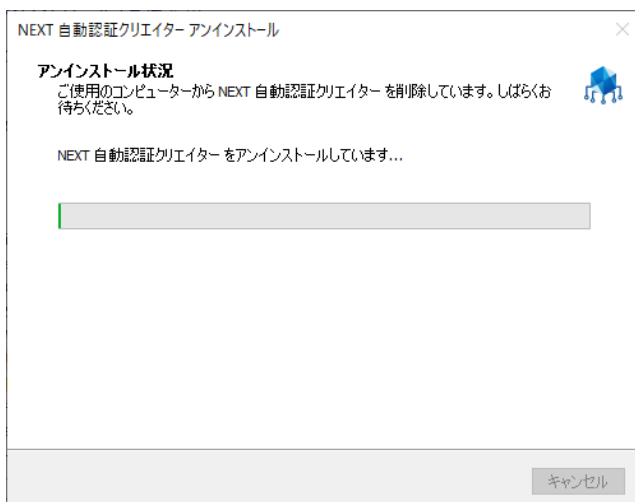
NEXT 自動認証クリエイター

1. [アプリと機能]より「NEXT 自動認証クリエイター バージョン N.N」の<アンインストール>をクリックしてください。
 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]より「NEXT 自動認証クリエイター バージョン N.N」の<アンインストール>でアンインストールも可能です。
 ※「N」は数字
2. 下図が表示されます。「NEXT 自動認証クリエイター アンインストール」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。

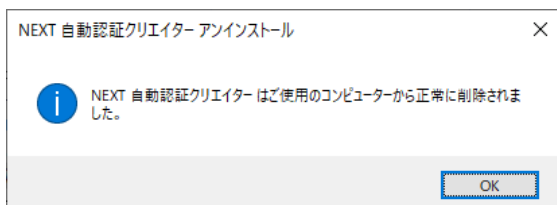


Info <いいえ>ボタンをクリックすると、アンインストールを中断します。

3. しばらくすると、下図が表示され、アンインストールが開始されます。少しお待ちください。

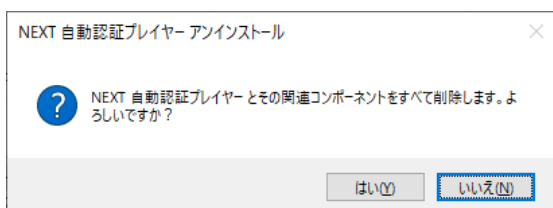


4. 下図が表示されます。「アンインストール完了」ダイアログが表示されるとアンインストール完了です。



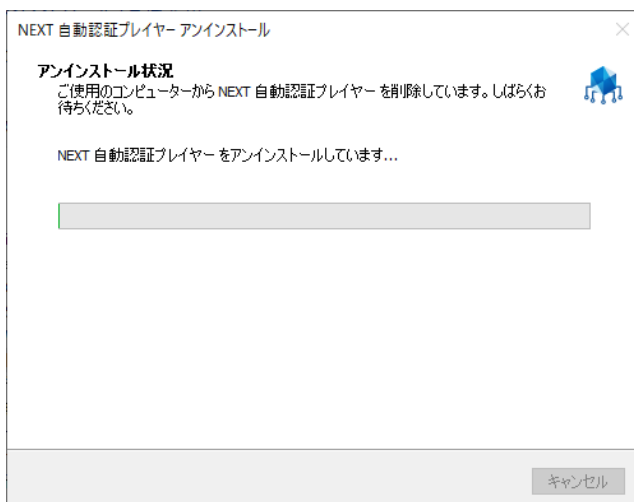
NEXT 自動認証プレイヤー

1. [アプリと機能]より「NEXT 自動認証プレイヤー バージョン N.N」の<アンインストール>をクリックしてください。
 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]より「NEXT 自動認証プレイヤー バージョン N.N」の<アンインストール>でアンインストールも可能です。
 ※「N」は数字
2. 下図が表示されます。「NEXT 自動認証プレイヤー アンインストール」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。

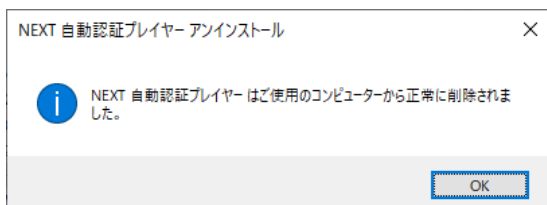


Info <いいえ>ボタンをクリックすると、アンインストールを中断します。

3. しばらくすると、下図が表示され、アンインストールが開始されます。少しお待ちください。

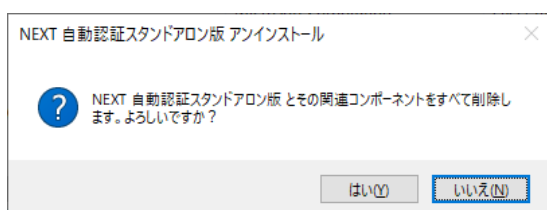


4. 下図が表示されます。「アンインストール完了」ダイアログが表示されるとアンインストール完了です。



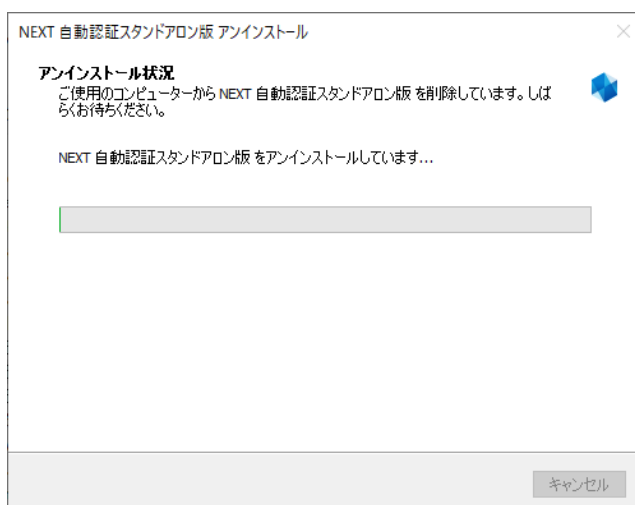
NEXT 自動認証スタンドアロン版

1. [アプリと機能]より「NEXT 自動認証スタンドアロン版 バージョン N.N」の<アンインストール>をクリックしてください。
 ※[コントロールパネル]-[プログラムと機能]より「NEXT 自動認証スタンドアロン版 バージョン N.N」の<アンインストール>でアンインストールも可能です。
 ※「N」は数字
2. 下図が表示されます。「NEXT 自動認証スタンドアロン版 アンインストール」ダイアログの<はい>ボタンをクリックしてください。

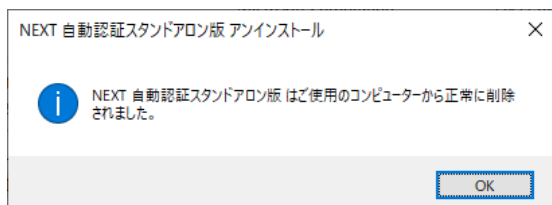


Info <いいえ>ボタンをクリックすると、アンインストールを中断します。

3. しばらくすると、下図が表示され、アンインストールが開始されます。少しお待ちください。



4. 下図が表示されます。「アンインストール完了」ダイアログが表示されるとアンインストール完了です。



NEXT の各種ツール

◆ 顔画像登録ツール

顔情報一括インポートの顔画像の撮影に使用します。

<製品メディアまたはISOファイル>¥Utility¥ArcOlFaceCamera を使用するコンピューターにコピーして、フォルダ内にある ArcOlFaceCamera.exe を実行します。

具体的な使用方法は、「顔情報一括インポートガイド」を参照してください。

◆ 顔情報インポートファイル生成ツール

顔情報一括インポートの撮影した顔画像からインポートファイルの生成に使用します。

<製品メディアまたはISOファイル>¥Utility¥ArcOlFaceInfoGen を使用するコンピューターにコピーして、フォルダ内にある ArcOlFaceInfoGenStart.exe を実行します。

具体的な使用方法は、「顔情報一括インポートガイド」を参照してください。

インストーラーのエラーメッセージ

NEXT サーバーインストーラー

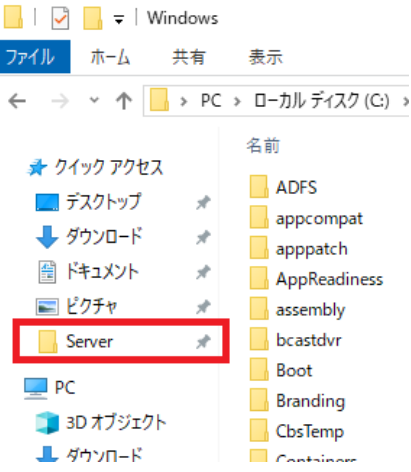
NEXT サーバーのインストール、アンインストールした際に表示されるエラーメッセージです。
エラーメッセージは、タイプ A/タイプ B で共通となります。

出力メッセージ	対応方法
前回のインストールが正常に終了されていません。 NEXT サーバーをアンインストールしてから再実行をして下さい。	NEXT サーバーのインストールが不完全な状態でインストーラーを起動すると表示されるエラーです。 インストール済みの NEXT サーバーをアンインストール後にコンピュータを再起動して、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。
既に NEXT サーバーがインストールされています。 この環境で異なる構成のインストーラーは実行できません。	NEXT サーバー タイプ A がインストールされている環境で NEXT サーバー タイプ B のインストーラーを実行した場合など、インストールされているタイプと異なるインストーラーを実行した場合に表示されるエラーです。 インストール済みの NEXT サーバーをアンインストール後にコンピュータを再起動して、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。
新しいバージョンがインストールされているため、インストールをキャンセルしました	インストール済みの NEXT サーバーより古いバージョンの NEXT サーバーインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。 NEXT サーバーインストーラーが正しいか確認してください。 対象の NEXT サーバーインストーラーを実行する場合は、インストール済みの NEXT サーバーをアンインストールし、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。
パスワードは 8 文字以上入力が必要です	データベースのパスワードを 8 文字未満で入力した際に表示されるエラーです。 8 文字以上のパスワードで再入力してください。
NEXT オールイン DB サーバーのホスト名が入力されていません	NEXT オールイン DB サーバーのホスト名が未入力の際に表示されるエラーです。 NEXT オールイン DB サーバーのホスト名を入力してください。

出力メッセージ	対応方法
無効な文字が入力されています	<p>データベースのパスワード、NEXT オールイン DB サーバーのホスト名に使用できない文字が含まれている際に表示されるエラーです。</p> <p>使用できる以下の文字種を参考にパスワードを再入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数字：0～9、A～Z、a～z ・半角記号：! # % & () * + , - . / ; < = > ? @ [] _ { } ~ ^ " ¥
無効な IP アドレスが入力されています	<p>IP アドレスが未入力か、IP アドレスに使用できない文字が含まれている際に表示されるエラーです。</p> <p>IP アドレスに使用できる以下の文字種を参考に IP アドレスを再入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半角数字：0～9 ・半角記号：ピリオド(.)
IIS の停止に失敗したため、インストールを中止します	<p>インストール実行中に IIS 停止に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>一度コンピューターを再起動して改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合は NEXT サーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>
DB の接続設定に失敗しました	<p>インストール実行中に設定ファイルの書き換え失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>NEXT サーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>

出力メッセージ	対応方法
DBの初期化に失敗しました	<p>データベースのサービスが起動していない、または何らかの理由でデータベースが操作できない場合に表示されるエラーです。</p> <p>まずはNEXT サーバーのインストールに失敗しているため、NEXT サーバーをアンインストールしてください。</p> <p>以下の手順で PostgreSQL のサービスが稼働しているかを確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. WindowsServer のスタートメニュー [Windows 管理ツール] > [サービス]を選択し、サービスを起動します。 2. 一覧から「postgresql-x64-13」を探し、状態が「実行中」であることを確認します。 <p>サービスが実行中では無い場合は右クリックから[開始]を選択し実行した後、改めてNEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p> <p>一覧に「postgresql-x64-13」が存在しない、またはサービスが実行できない場合は PostgreSQL をアンインストールした後、NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合はNEXT サーバーと PostgreSQL をアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>
設定ファイル(pg_hba.conf) の書き換えに失敗しました	<p>データベースの設定ファイルの書き換えに失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>まずはNEXT サーバーのインストールに失敗しているため、NEXT サーバーをアンインストールしてください。</p> <p>データベースの配置先(初期値:C:\ProgramData\ARCACLAVIS\NEXT\data)の配下にある pg_hba.conf が編集できる状態かを確認して、改めてNEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p> <p>上記手順で改善しない場合や原因が不明な場合は PostgreSQL をアンインストールした後にコンピューターを再起動してNEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>
IIS Web サイトの作成に失敗しました	<p>IIS の Web サイト作成に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>一度コンピューターを再起動して改めてNEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合はNEXT サーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>

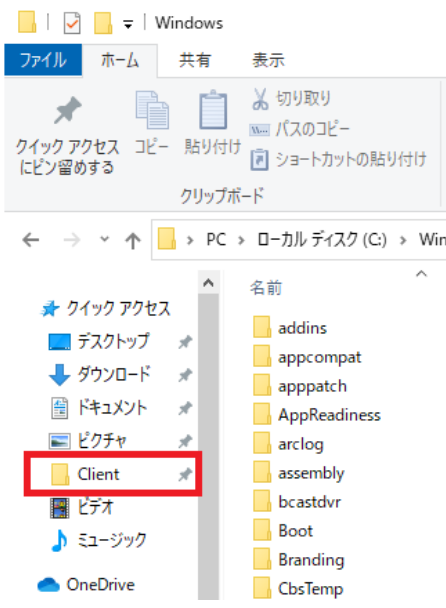
出力メッセージ	対応方法
IIS の開始に失敗しました	<p>IIS の起動に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>一度コンピューターを再起動して改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合は NEXT サーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>
タスクスケジューラの作成に失敗しました	<p>NEXT サーバーのタスクスケジューラ「NEXTServerDeleteLog」の作成に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>再度 NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合は NEXT サーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>
ファイアウォールの追加に失敗しました	<p>ファイアウォール設定の追加に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>再度 NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p> <p>上記対応で改善しない場合は NEXT サーバーをアンインストールしてコンピューターを再起動した後、NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>
データベースの設定に失敗しました	<p>DB 関連のエラーでインストールに失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>当メッセージの前に表示されたエラーメッセージに従い対応してください。</p>
インストールに失敗しました	<p>DB 以外のエラーでインストールに失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>当メッセージの前に表示されたエラーメッセージに従い対応してください。</p>


出カメッセージ	対応方法
<p>インストールファイルのバックアップに失敗したため、インストールを中止します</p>	<p>インストールファイルのバックアップ処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>エクスプローラーを開いている状態、かつクイックアクセスに NEXT サーバーのインストールフォルダ「C:¥Program Files¥ARCACLAVIS NEXT¥Server」が登録されている場合も本エラーが表示されます。</p>  <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT サーバーをバージョンアップする場合は、エクスプローラーを終了させた後、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールを中断しました。インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT サーバーのインストール中にキャンセル処理が行われた際に、正常にロールバック処理が成功しました。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT サーバーをバージョンアップする場合は、再度 NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールに失敗しました。アンインストール後、インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT サーバーのインストール中にキャンセル処理が行われた際に実行されるロールバック処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>インストール済みの NEXT サーバーをアンインストール後にコンピューターを再起動して、改めて NEXT サーバーインストーラーを実行してください。</p>
<p>IIS 停止に失敗しました。アンインストールはキャンセルされました。</p>	<p>IIS 停止に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>以下の手順により手動で IIS を停止した後、改めてアンインストールを実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. WindowsServer のスタートメニュー [Windows 管理ツール] > [サービス]を選択し、サービスを起動します。 2. 一覧から「World Wide Web 発行サービス」を探し、右クリックして[停止]を選択します。

出力メッセージ	対応方法
IIS の開始に失敗しました。アンインストール後、IIS を開始してください。	<p>IIS の起動に失敗した際に表示されるエラーです。 以下の手順により手動で IIS を起動します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="639 371 1410 445">1. WindowsServer のスタートメニュー [Windows 管理ツール] > [サービス]を選択し、サービスを起動します。<li data-bbox="639 456 1430 528">2. 一覧から「World Wide Web 発行サービス」を探し、右クリックして[開始]を選択します。

NEXT クライアントインストーラー

出力メッセージ/エラー状態	対応方法
他のユーザーがサインインしているため、インストールをキャンセルしました	<p>デスクトップセッションが複数起動している状態で NEXT クライアントインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。</p> <p>デスクトップセッションが複数起動している状態は、以下の状態となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のユーザーがサインインしている状態 ・リモートデスクトップ接続状態 <p>デスクトップセッションを 1 つにした状態で、再度 NEXT クライアントインストーラーを実行してください。</p>
クライアント設定ファイルが見つかりません	<p>新規インストール時に NEXT クライアント端末設定ファイル「client.json」が配置されていない状態で NEXT クライアントインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。</p> <p>NEXT クライアントインストーラーと NEXT クライアント端末設定ファイル「client.json」を同フォルダに配置した状態で、再度 NEXT クライアントインストーラーを実行してください。</p>
新しいバージョンがインストールされているため、インストールをキャンセルしました	<p>インストール済みの NEXT クライアントより古いバージョンの NEXT クライアントインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。</p> <p>NEXT クライアントインストーラーが正しいか確認してください。</p> <p>対象の NEXT クライアントインストーラーを実行する場合は、インストール済みの NEXT クライアントをアンインストールし、改めて NEXT クライアントインストーラーを実行してください。</p>
NEXT One クライアントがインストールされているコンピューターにはインストールできません	<p>NEXT クライアント(無料版)がインストールされているコンピューターで NEXT クライアントインストーラーを実行すると表示されるエラーです。</p> <p>NEXT クライアントインストーラーを実行する場合は、インストール済みの NEXT クライアント(無料版)をアンインストールし、改めて NEXT クライアントインストーラーを実行してください。</p>
NEXT クライアントを終了できなかったため、インストールを中止します	<p>NEXT クライアントのバージョンアップ時、NEXT クライアントの終了に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>再度 NEXT クライアントインストーラーを実行してバージョンアップを行ってください。</p>

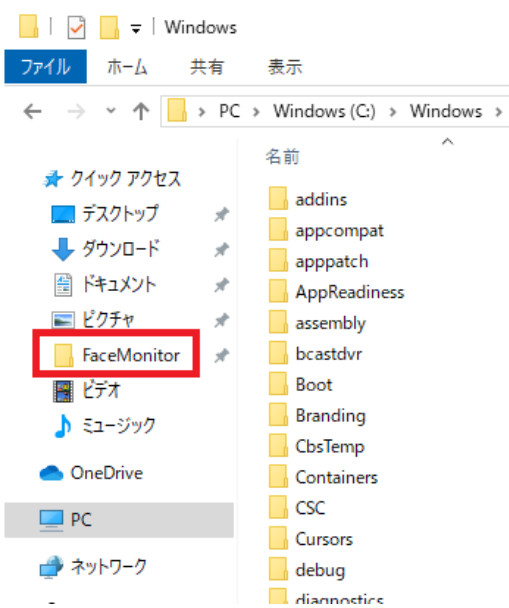
出カメッセージ/エラー状態	対応方法
<p>クライアント設定ファイルの取り込みに失敗しました</p>	<p>NEXT クライアント端末設定ファイル「client.json」の取り込みに失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>管理者の方は NEXT マネージャーのクライアント設定画面から NEXT クライアント端末設定ファイルを取得し直し、利用者に配布する場所に配置してください。利用者に改めて NEXT クライアントインストーラーと NEXT クライアント端末設定ファイル「client.json」を取得の上、NEXT クライアントインストーラーを再実行していただいでください。</p>
<p>タスクスケジューラの作成に失敗しました</p>	<p>NEXT クライアントのタスクスケジューラ「NEXTWebAPIServerServiceMonitor」の作成に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>再度 NEXT クライアントインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストール中にエラーが発生しました</p>	<p>当メッセージの前に表示されたエラーメッセージに従い対応してください。</p>
<p>インストールファイルのバックアップに失敗したため、インストールを中止します</p>	<p>インストールファイルのバックアップ処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>エクスプローラーを開いている状態、かつクイックアクセスに NEXT クライアントのインストールフォルダ「C:¥Program Files¥ARCACLAVIS NEXT¥Client」が登録されている場合も本エラーが表示されます。</p>  <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT クライアントをバージョンアップする場合は、エクスプローラーを終了させた後、改めて NEXT クライアントインストーラーを実行してください。</p>

出カメッセージ/エラー状態	対応方法
<p>インストールを中断しました。 インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT クライアントのインストール中にキャンセル処理が行われた際に、正常にロールバック処理が成功しました。 ※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。 NEXT クライアントをバージョンアップする場合は、再度 NEXT クライアントインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールに失敗しました。 アンインストール後、インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT クライアントのインストール中にキャンセル処理が行われた際に実行されるロールバック処理が失敗した際に表示されるエラーです。 ※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。 インストール済みの NEXT クライアントをアンインストール後にコンピュータを再起動して、改めて NEXT クライアントインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストール中に画面ロックした場合</p>	<p>NEXT クライアントのインストールが途中で中断されるため、NEXT 認証ができない状態となります。 以下手順で NEXT クライアントのインストールを継続してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windows 標準認証、または NEXT セーフモードでの Windows 標準認証で画面ロック解除をして、インストールを継続してください。 ・以下エラーダイアログが表示されている場合は、「再試行」をクリックし、インストールを継続してください。 <div data-bbox="687 1200 1206 1592" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>エラー</p> <p> アクションを選択してください</p> <p>C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\Client\clrjit.dll</p> <p>既存のファイルを置き換え中にエラーが発生しました: DeleteFile エラー: コード 5. アクセスが拒否されました。</p> <p>→ 再試行(R)</p> <p>→ このファイルをスキップ(S) (推奨されません)</p> <p>→ インストールをキャンセル</p> </div> <p>※「このファイルをスキップ」、または「インストールをキャンセル」をクリックした場合は、NEXT クライアントが正常にインストールされないため、再インストールする必要があります。</p>
<p>インストール中にサインアウト、シャットダウンして再起動した場合</p>	<p>NEXT クライアントのインストールが中断されるため、NEXT 認証ができない状態となります。 Windows 標準認証でサインイン後、NEXT クライアントを再インストールしてください。</p>

出力メッセージ/エラー状態	対応方法
NEXT クライアントを終了できなかつたため、アンインストールを中止します	NEXT クライアントのアンインストール時、NEXT クライアントの終了に失敗した際に表示されるエラーです。 再度 NEXT クライアントのアンインストールを行ってください。

NEXT 離席モニターインストーラー

出力メッセージ/エラー状態	対応方法
<p>NEXT クライアント がインストールされていません。 インストール後に再度実行してください。</p>	<p>NEXT クライアントが予めインストールされていない状態でインストーラーを実行すると表示されるエラーです。 NEXT 離席モニターインストーラーを実行する前に NEXT クライアントをインストールしてください。 NEXT クライアントのインストール手順は「5.3. NEXT クライアントをインストールする」を参照してください。</p>
<p>アプリケーションが要求する NEXT クライアントのバージョンは{NEXT クライアントのメジャーバージョン}が必要です。 NEXT クライアントのバージョン { NEXT クライアントのメジャーバージョン}がインストールされている環境で実行してください。</p>	<p>インストール済みの NEXT クライアントのメジャーバージョンと異なるメジャーバージョンの NEXT 離席モニターインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。 NEXT クライアントのメジャーバージョンと NEXT 離席モニターインストーラーのメジャーバージョンが同じバージョンか確認してください。 NEXT クライアントのメジャーバージョンが古い場合は、NEXT クライアントのバージョンアップを行い、改めて NEXT 離席モニターインストーラーを実行してください。</p>
<p>新しいバージョンがインストールされているため、インストールをキャンセルしました</p>	<p>インストール済みの NEXT 離席モニターより古いバージョンの NEXT 離席モニターインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。 NEXT 離席モニターインストーラーが正しいか確認してください。 対象の NEXT 離席モニターインストーラーを実行する場合は、インストール済みの NEXT 離席モニターをアンインストールし、改めて NEXT 離席モニターインストーラーを実行してください。</p>
<p>NEXT 離席モニターを終了できなかったため、インストールを中止します</p>	<p>NEXT 離席モニターのバージョンアップ時、NEXT 離席モニターの終了に失敗した際に表示されるエラーです。 再度 NEXT 離席モニターインストーラーを実行してバージョンアップを行ってください。</p>
<p>インストール中にエラーが発生しました</p>	<p>当メッセージの前に表示されたエラーメッセージに従い対応してください。</p>

出カメッセージ/エラー状態	対応方法
<p>インストールファイルのバックアップに失敗したため、インストールを中止します</p>	<p>インストールファイルのバックアップ処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>エクスプローラーを開いている状態、かつクイックアクセスにNEXT 離席モニターのインストールフォルダ「C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\FaceMonitor」が登録されている場合も本エラーが表示されます。</p>  <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT 離席モニターをバージョンアップする場合は、エクスプローラーを終了させた後、改めてNEXT 離席モニターインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールを中断しました。 インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT 離席モニターのインストール中にキャンセル処理が行われた際に、正常にロールバック処理が成功しました。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT 離席モニターをバージョンアップする場合は、再度NEXT 離席モニターインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールに失敗しました。 アンインストール後、インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT 離席モニターのインストール中にキャンセル処理が行われた際に実行されるロールバック処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>インストール済みのNEXT 離席モニターをアンインストール後にコンピュータを再起動して、改めてNEXT 離席モニターインストーラーを実行してください。</p>
<p>NEXT 離席モニターを終了できなかったため、アンインストールを中止します</p>	<p>NEXT 離席モニターのアンインストール時、NEXT 離席モニターの終了に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>再度NEXT 離席モニターのアンインストールを行ってください。</p>

NEXT 自動認証クリエイターインストーラー

出力メッセージ/エラー状態	対応方法
NEXT クライアント がインストールされていません。 インストール後に再度実行してください。	NEXT クライアントが予めインストールされていない状態でインストーラーを実行すると表示されるエラーです。 NEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行する前に NEXT クライアントをインストールしてください。 NEXT クライアントのインストール手順は「5.3. NEXT クライアントをインストールする」を参照してください。
アプリケーションが要求する NEXT クライアントのバージョンは{NEXT クライアントのメジャーバージョン}が必要です。 NEXT クライアントのバージョン { NEXT クライアントのメジャーバージョン}がインストールされている環境で実行してください。	インストール済みの NEXT クライアントのメジャーバージョンと異なるメジャーバージョンの NEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。 NEXT クライアントのメジャーバージョンと NEXT 自動認証クリエイターインストーラーのメジャーバージョンが同じバージョンか確認してください。 NEXT クライアントのメジャーバージョンが古い場合は、NEXT クライアントのバージョンアップを行い、改めて NEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行してください。
新しいバージョンがインストールされているため、インストールをキャンセルしました	インストール済みの NEXT 自動認証クリエイターより古いバージョンの NEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。 NEXT 自動認証クリエイターインストーラーが正しいか確認してください。 対象の NEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行する場合は、インストール済みの NEXT 自動認証クリエイターをアンインストールし、改めて NEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行してください。
NEXT 自動認証クリエイターを終了できなかったため、インストールを中止します	NEXT 自動認証クリエイターのバージョンアップ時、NEXT 自動認証クリエイターの終了に失敗した際に表示されるエラーです。 再度 NEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行してバージョンアップを行ってください。
インストール中にエラーが発生しました	当メッセージの前に表示されたエラーメッセージに従い対応してください。

出カメッセージ/エラー状態	対応方法
<p>インストールファイルのバックアップに失敗したため、インストールを中止します</p>	<p>インストールファイルのバックアップ処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>エクスプローラーを開いている状態、かつクイックアクセスにNEXT 自動認証クリエイターのインストールフォルダ「C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\AutoAuth_Creator」が登録されている場合も本エラーが表示されます。</p>  <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT 自動認証クリエイターをバージョンアップする場合は、エクスプローラーを終了させた後、改めてNEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールを中断しました。 インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT 自動認証クリエイターのインストール中にキャンセル処理が行われた際に、正常にロールバック処理が成功しました。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT 自動認証クリエイターをバージョンアップする場合は、再度NEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールに失敗しました。 アンインストール後、インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT 自動認証クリエイターのインストール中にキャンセル処理が行われた際に実行されるロールバック処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>インストール済みのNEXT 自動認証クリエイターをアンインストール後にコンピューターを再起動して、改めてNEXT 自動認証クリエイターインストーラーを実行してください。</p>

出力メッセージ/エラー状態	対応方法
NEXT 自動認証クリエイターを終了できなかったため、アンインストールを中止します	NEXT 自動認証クリエイターのアンインストール時、NEXT 自動認証クリエイターの終了に失敗した際に表示されるエラーです。再度 NEXT 自動認証クリエイターのアンインストールを行ってください。

NEXT 自動認証プレイヤーインストーラー

出力メッセージ/エラー状態	対応方法
NEXT クライアント がインストールされていません。 インストール後に再度実行してください。	NEXT クライアントが予めインストールされていない状態でインストーラーを実行すると表示されるエラーです。 NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行する前に NEXT クライアントをインストールしてください。 NEXT クライアントのインストール手順は「5.3. NEXT クライアントをインストールする」を参照してください。
アプリケーションが要求する NEXT クライアントのバージョンは{NEXT クライアントのメジャーバージョン}が必要です。 NEXT クライアントのバージョン { NEXT クライアントのメジャーバージョン}がインストールされている環境で実行してください。	インストール済みの NEXT クライアントのメジャーバージョンと異なるメジャーバージョンの NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。 NEXT クライアントのメジャーバージョンと NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーのメジャーバージョンが同じバージョンか確認してください。 NEXT クライアントのメジャーバージョンが古い場合は、NEXT クライアントのバージョンアップを行い、改めて NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行してください。
新しいバージョンがインストールされているため、インストールをキャンセルしました	インストール済みの NEXT 自動認証プレイヤーより古いバージョンの NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行した際に表示されるエラーです。 NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーが正しいか確認してください。 対象の NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行する場合は、インストール済みの NEXT 自動認証プレイヤーをアンインストールし、改めて NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行してください。
NEXT 自動認証プレイヤーを終了できなかったため、インストールを中止します。	NEXT 自動認証プレイヤーのバージョンアップ時、NEXT 自動認証プレイヤーの終了に失敗した際に表示されるエラーです。 再度 NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行してバージョンアップを行ってください。
インストール中にエラーが発生しました	当メッセージの前に表示されたエラーメッセージに従い対応してください。

出カメッセージ/エラー状態	対応方法
<p>インストールファイルのバックアップに失敗したため、インストールを中止します</p>	<p>インストールファイルのバックアップ処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>エクスプローラーを開いている状態、かつクイックアクセスにNEXT 自動認証プレイヤーのインストールフォルダ「C:\Program Files\ARCACLAVIS NEXT\AutoAuth_Player」が登録されている場合も本エラーが表示されます。</p>  <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT 自動認証プレイヤーをバージョンアップする場合は、エクスプローラーを終了させた後、改めてNEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールを中断しました。 インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT 自動認証プレイヤーのインストール中にキャンセル処理が行われた際に、正常にロールバック処理が成功しました。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>NEXT 自動認証プレイヤーをバージョンアップする場合は、再度NEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールに失敗しました。 アンインストール後、インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT 自動認証プレイヤーのインストール中にキャンセル処理が行われた際に実行されるロールバック処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。</p> <p>インストール済みのNEXT 自動認証プレイヤーをアンインストール後にコンピューターを再起動して、改めてNEXT 自動認証プレイヤーインストーラーを実行してください。</p>
<p>NEXT 自動認証プレイヤーを終了できなかったため、アンインストールを中止します。</p>	<p>NEXT 自動認証プレイヤーのアンインストール時、NEXT 自動認証プレイヤーの終了に失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>再度NEXT 自動認証プレイヤーのアンインストールを行ってください。</p>

NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラー

出力メッセージ/エラー状態	対応方法
<p>新しいバージョンがインストールされているため、インストールをキャンセルしました</p>	<p>インストール済みの NEXT 自動認証スタンドアロン版より古いバージョンの NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーを実行した際に表示されるエラーです。 NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーが正しいか確認してください。 対象の NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーを実行する場合は、インストール済みの NEXT 自動認証スタンドアロン版をアンインストールし、改めて NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーを実行してください。</p>
<p>NEXT 自動認証スタンドアロン版を終了できなかったため、インストールを中止します。</p>	<p>NEXT 自動認証スタンドアロン版のバージョンアップ時、NEXT 自動認証スタンドアロン版の終了に失敗した際に表示されるエラーです。 再度 NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーを実行してバージョンアップを行ってください。</p>
<p>インストール中にエラーが発生しました</p>	<p>当メッセージの前に表示されたエラーメッセージに従い対応してください。</p>

出カメッセージ/エラー状態	対応方法
<p>インストールファイルのバックアップに失敗したため、インストールを中止します</p>	<p>インストールファイルのバックアップ処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>エクスプローラーを開いている状態、かつクイックアクセスにNEXT 自動認証スタンドアロン版のインストールフォルダ「C:¥Program Files¥ARCACLAVIS NEXT¥AutoAuth_Standalone」が登録されている場合も本エラーが表示されます。</p>  <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。 NEXT 自動認証スタンドアロン版をバージョンアップする場合は、エクスプローラーを終了させた後、改めてNEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールを中断しました。 インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT 自動認証スタンドアロン版のインストール中にキャンセル処理が行われた際に、正常にロールバック処理が成功しました。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。 NEXT 自動認証スタンドアロン版をバージョンアップする場合は、再度NEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーを実行してください。</p>
<p>インストールに失敗しました。 アンインストール後、インストーラーを再実行して下さい。</p>	<p>NEXT 自動認証スタンドアロン版のインストール中にキャンセル処理が行われた際に実行されるロールバック処理が失敗した際に表示されるエラーです。</p> <p>※本メッセージは、修復インストール時のみ表示されます。 インストール済みのNEXT 自動認証スタンドアロン版をアンインストール後にコンピューターを再起動して、改めてNEXT 自動認証スタンドアロン版インストーラーを実行してください。</p>

出カメッセージ/エラー状態	対応方法
<p>NEXT 自動認証スタンドアロン版を終了できなかったため、アンインストールを中止します。</p>	<p>NEXT 自動認証スタンドアロン版のアンインストール時、NEXT 自動認証スタンドアロン版の終了に失敗した際に表示されるエラーです。 再度 NEXT 自動認証スタンドアロン版のアンインストールを行ってください。</p>

インストール要件チェック

インストール要件を満たしていない環境で NEXT クライアントインストーラーを実行した場合は、警告ダイアログが表示されます。

ただし、サイレントインストール時は、インストール要件を満たしていない環境で NEXT クライアントインストーラーを実行した場合でも警告ダイアログは表示されません。

警告を無視してインストールを継続することも可能ですが、アプリケーションの動作が遅い、または予期しない問題が発生する可能性があります。

そのため、インストール要件を満たしていない項目を確認し、インストール環境の改善をお勧めします。

インストール要件の確認項目

インストール要件でチェックする項目は下記の通りですが、インストーラーによってチェックする項目数は異なります。

チェックする項目	インストール要件を満たしていないとみなす条件
OS エディション	アプリケーションが動作保証していない OS エディションの場合
OS ビルド番号	ご利用の OS ビルド番号がサポート終了している場合 ※バージョン(22H2 など)ではなく、ビルド番号でチェックします
メモリサイズ	アプリケーションが最低限必要とするサイズのメモリが搭載されていない場合
C ドライブのストレージタイプ	C ドライブが SSD でない場合 ※アプリケーションが SSD 必須としている場合
C ドライブの空き容量	C ドライブにアプリケーションが最低限必要とする空き容量が不足している場合

※インストールの推奨環境の具体値については、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。

※「OS ビルド番号」、および各 OS のサポート状況については、以下の URL を参照してください。

Windows 10 リリース情報

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/release-health/release-information>

Windows 11 リリース情報

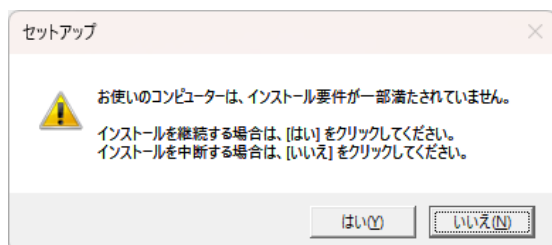
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/release-health/windows11-release-information>

Windows Server のリリース情報

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-server/get-started/windows-server-release-info>

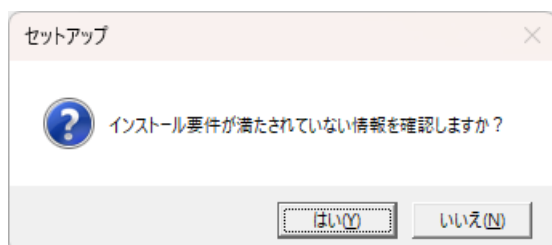
インストール要件を満たしていない場合の詳細確認

インストール要件を満たしていない環境でインストーラーを実行した場合、以下の警告ダイアログが表示されます。



<はい>ボタンを押下した場合は、警告を無視してインストールを続けます。

<いいえ>ボタンを押下した場合は、インストールを中断し、以下の確認ダイアログが表示されます。



<はい>ボタンを押下した場合は、インストール要件の詳細情報をテキストファイルで確認することができます。

<いいえ>ボタンを押下した場合は、インストール要件の詳細情報を確認せず、インストールを終了します。

例) 下記の環境で NEXT クライアントインストーラーを実行した場合

項目	項目値
OS エディション	Microsoft Windows 10 Home
OS ビルド番号	19045 ※22H2
メモリサイズ	4GB
Cドライブのストレージタイプ	HDD
Cドライブの空き容量	1GB

```

インストール要件チェック.txt
----- インストール要件チェック結果 -----
※ インストール要件の詳細については、該当する製品のマニュアルから「動作環境一覧」を参照してください。
無料版の場合
https://ryobi-systems-ipcsec.github.io/webpages/doc/manual/free/latest/ARCACLAVIS_NEXT_SystemRequirementsList_Rev1.pdf
エンタープライズ版（有料）の場合
https://ryobi-systems-ipcsec.github.io/webpages/doc/manual/enterprise/latest/ARCACLAVIS_NEXT_SystemRequirementsList_Rev1.pdf

■ OSチェック結果：NG
お使いのコンピューターのOS情報：OSエディション:Microsoft Windows 10 Home、ビルド番号:19045
※ アプリケーションがサポートしているOS情報については、「ARCACLAVIS NEXT 動作環境一覧」を参照してください。
※ サポート期限が終了しているOSの場合、チェック結果はNGとなります。
各OSのサポート期限については、下記URLを参照してください。
https://learn.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/

■ メモリサイズチェック結果：NG
アプリケーションに必要なメモリ(RAM)サイズ：8GB
実装メモリ(RAM)サイズ：4GB

■ Cドライブのストレージタイプチェック結果：NG
アプリケーションで推奨しているストレージタイプ：SSD
ドライブのストレージタイプ：HDD

■ Cドライブの空き容量チェック結果：NG
ICカード認証/ワンタイムパスワード認証時に必要なストレージサイズ：1.0GB
顔認証時に必要なストレージサイズ：1.5GB
Cドライブの空き容量：1.00GB
    
```

編集・著作 株式会社両備システムズ

ARCACLAVIS は、株式会社両備システムズの登録商標です。

記載されている社名、製品名等は各社の商標または登録商標です。

記載されている内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万が一不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

また、株式会社両備システムズの許可なく、複製・改変などを行うことはできません。